

**平成22年度
環境にやさしい買い物キャンペーン**

実施報告書

平成23年3月

環境省

目 次

はじめに.....	1
第1部 キャンペーン実施概要一覧.....	2
1.1 都道府県別実施概要一覧.....	2
1.2 流通事業者一覧.....	3
第2部 都道府県別実施報告詳細.....	4
2.1 北海道.....	4
2.2 岩手県.....	7
2.3 宮城県.....	11
2.4 秋田県.....	15
2.5 山形県.....	17
2.6 福島県.....	19
2.7 茨城県.....	21
2.8 栃木県.....	22
2.9 群馬県.....	25
2.10 埼玉県.....	27
2.11 千葉県.....	29
2.12 東京都.....	31
2.13 神奈川県.....	49
2.14 新潟県.....	52
2.15 富山県.....	54
2.16 石川県.....	56
2.17 福井県.....	59
2.18 山梨県.....	61
2.19 長野県.....	63
2.20 岐阜県.....	66
2.21 静岡県.....	68
2.22 愛知県.....	69
2.23 京都府.....	71
2.24 大阪府.....	73
2.25 兵庫県.....	74

2. 26	奈良県	77
2. 27	和歌山県	78
2. 28	鳥取県	80
2. 29	島根県	83
2. 30	岡山県	84
2. 31	山口県	85
2. 32	香川県	87
2. 33	愛媛県	89
2. 34	福岡県	91
2. 35	佐賀県	93
2. 36	長崎県	96
2. 37	熊本県	99
2. 38	大分県	100
2. 39	宮崎県	101
2. 40	鹿児島県	102
2. 41	沖縄県	104

第3部	流通事業者等実施報告詳細	106
3. 1	株式会社伊勢丹	106
3. 2	株式会社小田急百貨店	107
3. 3	株式会社近鉄百貨店	108
3. 4	株式会社京急百貨店	109
3. 5	株式会社山陽百貨店	110
3. 6	株式会社下関大丸	111
3. 7	株式会社大丸松坂屋百貨店	112
3. 8	株式会社高松三越	115
3. 9	株式会社東急百貨店	115
3. 10	株式会社東武宇都宮百貨店	116
3. 11	株式会社東武百貨店	117
3. 12	株式会社新潟三越伊勢丹	118
3. 13	(社)日本フランチャイズチェーン協会	120
3. 14	株式会社浜屋百貨店	121
3. 15	株式会社阪急阪神百貨店	121
3. 16	株式会社藤崎	122
3. 17	株式会社水戸京成百貨店	123
3. 18	株式会社ヤマトヤシキ	123

3. 19 株式会社ユニバース	124
3. 20 株式会社良品計画	125

第4部 資料編

4. 1 キャンペーン実施方針	
4. 2 都道府県協力依頼	
4. 3 キャンペーン実施意向回答書(都道府県)	
4. 4 キャンペーン趣旨書	
4. 5 流通事業者協力依頼	
4. 6 キャンペーン参加申込書(流通事業者)	
4. 7 ポスターデザイン	
4. 8 キャンペーン参加団体一覧	
4. 9 都道府県実施報告書提出依頼	
4. 10 流通事業者等実施報告書提出依頼	

はじめに

循環型社会形成推進基本法(平成12年法律第110号)に基づく第2次循環型社会形成推進基本計画(平成20年3月閣議決定。以下「循環基本計画」という。)において、「循環型社会の構築には国民一人一人に循環に配慮した持続可能なライフスタイルへの変革が重要」であり、それを実現するための国の取組として、地方公共団体等の各関係主体と連携を図りながら環境教育等を総合的に推進することとされております。

また、平成22年3月に閣議報告がなされた循環基本計画の進捗状況の第2回点検結果では、循環基本計画の取組指標に関する目標「循環型社会形成に向けた意識・行動の変化」について、ごみ問題への意識については、「ごみ問題に関心がある」との回答率は82.1%と高いレベルにあるものの、「使い捨て製品を買わない」、「リサイクル製品を積極的に購入している」といった具体的行動については低い回答率のものも見られ、国民の高い意識を実際の行動につなげるため、消費の実態をより一層把握した上での行動につながる情報発信も引き続き重要とされたところです。

これらを踏まえ、消費者、事業者(主として流通業)、行政、消費者団体、NPO等の連携による地域活動を推進し、国民に環境に配慮した消費行動を促すことにより、地域レベルでの循環型社会の形成を図るため、本年度も引き続き「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施致しました。

今年度のキャンペーンは、関係各位の甚大なるご協力もありまして、46都道府県および流通事業者53社・45,599店舗においてご参加いただきました。ご参加頂いた都道府県・流通事業者様から、実践された様々な取り組み状況についてのご報告をいただきましたので、『平成22年度環境にやさしい買い物キャンペーン実施報告書』としてとりまとめました。関係各位にあって、今後の活動のご参考として、ご活用いただければ幸いです。最後になりますが、ご報告にご協力いただいた都道府県・流通事業者のご担当者様に対しまして、感謝の意を表したいと思います。

平成23年3月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 企画課循環型社会推進室
経済産業省産業技術環境局 リサイクル推進課

第1部 キャンペーン実施概要一覧

1.1 都道府県別実施概要一覧

都道府県名	キャンペーン名称	担当部課名	TEL
北海道	3R推進キャンペーン	環境生活部 環境局 循環型社会推進課	011-204-5197
青森	レジ袋削減キャンペーン	環境生活部 環境政策課	017-734-9249
岩手	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境生活部 資源循環推進課	019-629-5380
宮城	マイ・バッグ・キャンペーン	環境生活部 資源循環推進課	022-211-2656
秋田	レジ袋削減・マイバッグ推進運動	生活環境文化部 環境エネルギー推進課	018-860-1574
山形	環境にやさしい買い物キャンペーン	文化環境部 循環型社会推進課	023-630-2322
福島	環境にやさしい買い物推進キャンペーン	生活環境部 環境共生課	024-521-7248
茨城	平成 22 年度レジ袋削減運動	生活環境部 廃棄物対策課	029-301-3020
栃木	マイ・バッグ・キャンペーン	環境森林部 地球温暖化対策課	028-623-3187
群馬	ストップ温暖化！県民アクション	環境森林部 環境政策課 温暖化対策室 環境活動推進係	027-226-2821
埼玉	マイバッグ・キャンペーン	環境部 資源循環推進課	048-830-3106
千葉	ちばレジエコキャンペーン	環境生活部 資源循環推進課	043-223-2760
東京	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境局廃棄物対策部 資源循環推進課 資源循環推進係	03-5388-3577
神奈川	マイバッグキャンペーン	環境農政局環境部資源循環課 リサイクルグループ	045-210-4151
新潟	平成 22 年度 3Rキャンペーン	県民生活・環境部 消費者行政課	025-280-5135
富山	環境にやさしい買い物キャンペーン	生活環境文化部 県民生活課	076-444-3129
石川	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境部 地球温暖化対策室	076-225-1462
福井	環境にやさしい買い物キャンペーン	安全環境部 循環社会推進課	0776-20-0317
山梨	環境にやさしい買い物キャンペーン	森林環境部 環境創造課	055-223-1506
長野	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境部 環境政策課	026-235-7022
岐阜	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境生活部 廃棄物対策課	058-272-8214
静岡	環境にやさしい買い物キャンペーン	くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課	054-221-2426
愛知	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境部 環境活動推進課	052-954-6241
滋賀	環境にやさしい買い物キャンペーン	琵琶湖環境部 循環社会推進課	077-528-3472
京都	買い物でエコ！キャンペーン2010	文化環境部 循環型社会推進課	075-414-4719
大阪	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境農林水産部 みどり・都市環境室 地球環境課	06-6944-6710
兵庫	「地球環境時代！新しいライフスタイル 展開キャンペーン」	農政環境部 環境創造局 環境政策課	078-362-3156
奈良	環境にやさしい買い物キャンペーン	くらし創造部 景観・環境局 環境政策課	0742-27-8732
和歌山	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	073-441-2690
鳥取	環境にやさしい買い物キャンペーン」	生活環境部 環境立県推進課 グリーンニューディール推進室	0857-26-7879
島根	しまねレジ袋削減キャンペーン	環境生活部 環境生活総務課 消費生活室	0852-22-5103
岡山	環境にやさしい買い物キャンペーン(岡山県統一ノーレジ袋デー)	生活環境部 循環型社会推進課	086-226-7306
広島	「今すぐecoじゃけん広島」～広島発・ストップ地球温暖化 県民運動～	環境県民局 環境部 環境政策課	082-513-2952
山口	環境にやさしい買い物キャンペーン (マイバッグ持参運動)	環境生活部 廃棄物・リサイクル対策課	083-933-2992

徳島	マイバッグでお買い物キャンペーン	徳島県県民環境部 環境総局 環境首都課分室 (新環境戦略担当)エコみらいとくしま(環境首都とくしま創造センター)	088-664-6015
香川	買い物でエコ！キャンペーン2010	総務部 県民活動・男女共同参画課	087-832-3176
愛媛	環境にやさしい買い物キャンペーン	県民環境部環境局 循環型社会推進課	089-912-2356
高知	マイバッグでお買い物キャンペーン	林業振興・環境部 環境共生課	088-821-4841
福岡	マイバッグキャンペーン(九州統一マイバッグキャンペーン)	環境部 循環型社会推進課	092-643-3371
佐賀	九州統一マイバッグキャンペーン	くらし環境本部 地球温暖化対策課	0952-25-7474
長崎	マイ・バッグ・キャンペーン	環境部 未来環境推進課	095-895-2511
熊本	熊本県マイバッグキャンペーン	環境生活部 廃棄物対策課	096-333-2277
大分	大分県マイバッグキャンペーン(九州統一マイバッグキャンペーン)	生活環境部 地球環境対策課	097-506-3124
宮崎	九州統一マイバッグキャンペーン	環境森林部 循環社会推進課	0985-26-7081
鹿児島	九州統一マイバッグキャンペーン	環境林務部 廃棄物・リサイクル対策課	099-286-2594
沖縄	環境に優しい買い物運動	文化環境部 環境整備課	098-866-2231

1.2 流通事業者一覧

企業名等 参加・賛同企業数(参加店舗数) (一部を除き50音順)	
日本チェーンストア協会 2社(223店舗)	
(株)イトーヨーカ堂	(株)ユニバース
日本百貨店協会 37社(132店舗)	
(株)伊勢丹	(株)大丸松坂屋百貨店
(株)一畑百貨店	(株)高崎高島屋
(株)井上	(株)高島屋
(株)うすい百貨店	(株)高松三越
(株)岡山高島屋	(株)津松菱
(株)沖縄三越	(株)鶴屋百貨店
(株)小田急百貨店	(株)東急百貨店
(株)金沢名鉄丸越百貨店	(株)東武宇都宮百貨店
(株)岐阜高島屋	(株)東武百貨店
(株)近鉄百貨店	(株)ながの東急百貨店
(株)近鉄松下百貨店	(株)新潟三越伊勢丹
(株)京王百貨店	(株)函館丸井今井
(株)京急百貨店	(株)浜屋百貨店
(株)高知大丸	(株)阪急阪神百貨店
(株)さいか屋	(株)藤崎
(株)山陽百貨店	(株)水戸京成百貨店
(株)静岡伊勢丹	(株)ヤマトヤシキ
(株)下関大丸	(株)米子高島屋
(株)ジェイアール西日本伊勢丹	
(社)日本フランチャイズチェーン協会 12社(44,787店舗)	
国分グローサースチェーン(株)	(株)ファミリーマート
(株)ココストア	(株)ファミリーマート ampm事業・統合本部
(株)サークルKサンクス	(株)ポプラ
(株)スリーエフ	ミニストップ(株)
(株)セイコーマート	(株)ローソン
(株)セブンイレブン・ジャパン	(株)九九プラス
(株)デイリーヤマザキ	
その他 2社(457店舗)	
(株)良品計画	(株)マイカル

第2部 都道府県別実施報告詳細

2.1 北海道	【キャンペーン名】3R推進キャンペーン
	【実施主体】北海道等
	【実施期間】平成22年7月4日～11月9日

【目的・趣旨】

3Rの推進を図るため、3Rに関するイベント、パネル展示及び啓発資材配布等の普及啓発活動を実施する。

【協力団体】((総合)振興局別)

- ・ 空知: 岩見沢市消費生活展実行委員会、芦別市生活者会議実行委会
- ・ 後志: 陸上自衛隊倶知安駐屯部
- ・ 胆振: 登別市、白老町、登別市環づくり市民委員会、白老町3R推進協議会、北海道環境財団、NPO法人室蘭地域再生工場、NPO法人河川環境センター(知利別川を愛する会)
- ・ 日高: 浦河町消費者協会、浦河町消費生活センター、新ひだか町消費者協会
- ・ 渡島: 環境フェスティバル実行委員会
- ・ 檜山: 江差町消費者協会、江差町
- ・ 上川: 北海道立総合研究機構林産試験場
- ・ 留萌: 留萌信用金庫
- ・ 宗谷: 稚内市、稚内消費者協会
- ・ 十勝: 帯広まちなか歩行者天国実行委員会、エコシティ帯広実行委員会
- ・ 釧路: 釧路管内市町村自然の番人宣言推進委員会、ねむろ自然の番人宣言推進委員会、eco電化フェアinKUSHIRO実行委員会、北海道環境財団、環境省北海道地方環境事務所
- ・ 根室: 根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町

【主な活動内容】

- (1) エコバッグ、リサイクル認定製品等の普及啓発資材の配布
- (2) 3R関連・温暖化防止パネル展示の実施、啓発用ポスターの掲示
- (3) オリジナルエコバッグ、蜜蝋づくりなどのエコをテーマにした体験コーナー

【各地の取組状況】

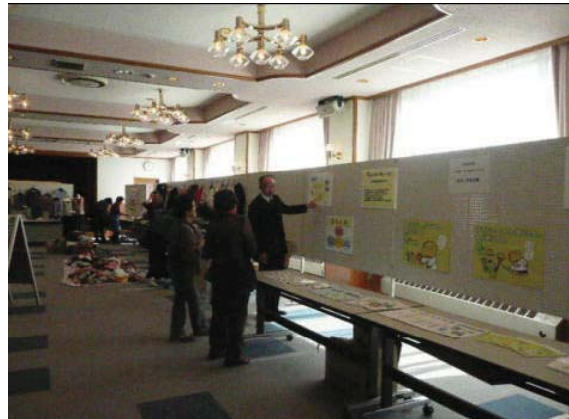
空知	9/19, 10/14-15	・ 消費生活展(岩見沢市及び芦別市)「3Rパネル展」 3R普及啓発用パネル展、3R啓発用ティッシュ及びメモ帳の配布、 3Rパンフレット、そらちエコライフ虎の巻等の冊子配布
後志	7/24	・ エコバッグ推進活動 陸上自衛隊倶知安駐屯部「倶知安駐屯地創立記念行事」に ブースを設け、自らペイントを入れオリジナルエコバッグを作成
胆振	7/4	・ リサイクルまつり「10イン登別・白老」 リサイクル体験コーナー、リサイクル工作、フリーマーケット、

		3R啓発資材配布
	7/5-9	・ いぶりガイアナイト 環境パネル展、3R啓発資材の配布、キャンドルナイト、星空観察会等
	8/3,11/9	・ エコツアー2010 環境関連事業所等見学、3R啓発資材の配布
	9/12	・ 知利別川環境学習体験フェスタ2010 環境パネル展、川の水族館、水の実験教室、環境ゲーム、投網等
日高	10/26	・ うらかわ消費生活展(消費者協会と協力) 3R普及啓発パネルの展示、マイバッグ使用促進の呼びかけ (啓発資材の配布) ※ 消費者協会がフリーマーケットや古新聞によるエコバッグ作りなどの 3R関連プログラムを実施
	10/29	・ 新ひだか町消費生活展(消費者協会と協力) マイバッグ使用促進の呼びかけ(啓発資材の配布)
渡島	9/4	・ はこだて・エコフェスタ2010に参加 (1) 環境学習 NPO法人NATURASと共催で体験学習コーナー「コネコネ木の えんぴつ作り体験」を出展 (2) 再生品普及啓発 レジ袋削減キャンペーンのブースでエコバッグを、再生品愛用 キャンペーンのブースでミズッチ(リサイクル製品)を配布
檜山	9/26	・ 第16回えさし・くらしのフェスティバルに参加 リサイクル展示コーナー(パネル展示)でエコバッグの実演にあわせて、 エコバッグを配布
上川	10/16-17	・ 3R推進フェア 3R商品の展示、体験メニュー(蜜蝋ローソクづくり)、ペレットストーブ 関連展示
留萌	10/3	・ 3R普及啓発事業(留萌まんま市場) 留萌振興局実施の管内の特産物の販売、フリーマーケット、 3Rパネル展
宗谷	10/2	・ 第40回くらしをみなおす消費生活展に参加 エコバッグ配布とオリジナルマイバッグ作り
	10/12-19	・ 3R推進月間パネル展 展示パネル(ペットボトル・空き缶等のリサイクルの仕組み等)、 普及啓発資材の配布
オホーツク	10/4-8	・ 平成22年度再生品利用拡大キャンペーン パネル展示、北海道認定リサイクル製品展示、啓発資材の配布
十勝	8/29	・ もっとエコなとかちづくりinオビヒロホコテン 廃油を使ったキャンドル作り、オリジナルエコバッグ作り等
	10/24	・ もっとエコなとかちづくり2010 エコサイクリングツアー 自転車の普及を進めるためのサイクリングの実施
	10/31	・ もっとエコなとかちづくり2010 とかち・市民「環境交流会」 環境講演会の実施
釧路	10/2-3	・ 根釧地域における環境行動展2010 セミナー「家庭でのエコ・リサイクル」、おやこ工作教室、展示等
根室	10/1-11/5	・ ねむろ3Rパネルリレー 3Rに関するパネル展示等を管内市町村のリレー方式で開催

【写真・チラシ等】



PR ポスター



消費生活展での3R 展示等(空知)



3R 推進フェアでの蜜蝋ローソク作り(上川)



3R 推進フェアでのペレットストーブの展示

【連絡先】

環境生活部環境局循環型社会推進課 主査 飯塚 至

2.2 岩手県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】岩手県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

循環型社会を構築していくためには、県民一人ひとりが日々の暮らしにおいてごみの排出抑制と3Rに取り組み、資源循環型のライフスタイルを実践することが必要です。県内のごみの排出量は、平成17年度をピークに3年連続で減少していますが、依然として県民一人1日当たり約1kgのごみを排出している状況です。現在のごみの排出状況や3Rについて関心を持ち、理解し、それぞれの立場で今できることを確実に実践することが、将来の岩手の持続可能な発展につながります。

県民・小売事業者・市町村・県が相互に連携し、流通・販売や消費（買い物）の段階からごみの発生を抑制すること、また、3Rに基づく資源循環型のライフスタイルの浸透を図ることを目的として本年度も引き続き「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施します。

【協力団体】

県からのキャンペーン参加要請にご賛同いただいた事業者は次のとおりです。

マックスバリュ盛岡津志田店/いわて生活協同組合/株式会社中三盛岡店/株式会社ベルプラス/株式会社丸江/株式会社イトーヨーカ堂花巻店/株式会社薬王堂/株式会社ジョイス/株式会社スーパーマーケットマルイチ/株式会社ユニバース/株式会社川徳/協同組合江釣子ショッピングセンター/協同組合盛岡南ショッピングセンター/さくら野百貨店北上店/JR東日本リテールネット盛岡支店/株式会社ローソン 東北ローソン支社/イオンスーパーセンター金ケ崎店/株式会社JAシンセラサン・フレッシュ都南店/スーパーマーケットサンエー/株式会社神文ストア/株式会社マイヤ/株式会社Aコープ北東北/一戸スーパーマーケット 以上23事業者410店舗（敬称略 順不同）

【主な活動内容】

（1）県民の取組み

- ・ 買い物にはマイバッグやマイバスケット等買い物袋を持参して、レジ袋の使用は辞退する。
- ・ 商品の過剰包装を辞退し、簡易包装に協力する。
- ・ 割り箸やスプーン、フォーク、ストローなど使い捨て商品の受け取りを辞退する。
- ・ 詰め替え可能な商品や再生資源利用製品など環境に配慮した商品を優先的に購入する。
- ・ 量り売りやばら売りの商品を購入する。

（2）小売事業者の取組み

- ・ キャンペーンポスターの掲示や店内放送によりキャンペーンを周知する。
- ・ マイバッグやマイバスケット等買い物袋の持参を呼びかける。
- ・ 消費者に環境に配慮した商品がわかるような表示を行い、販売を促進する。
- ・ 簡易包装を推奨する。

- ・ 量り売りやばら売りによる販売を行う。
- ・ レジ袋、割り箸、スプーン、フォーク等の利用についてレジでの声掛けにより確認する。

(3) 市町村の取組み

- ・ 地域住民に対し広報媒体を通じてキャンペーンの周知を図る。
- ・ 市町村内の小売事業者に対し協力を呼びかける。
- ・ 関係各所にポスターを掲示する。

(4) 県の取組み

- ・ 県民に対し各種広報媒体を通じてキャンペーンの周知を図る。
- ・ 県内の小売事業者に対し、キャンペーンへの協力を依頼し、取りまとめを行う。
- ・ 職員は率先して環境配慮行動に取り組む。
- ・ 「いわて環境王国展 2010」(11 月 13 日～11 月 14 日)の開催に向け、環境に配慮した行動に対する県民意識の高揚を図る。
- ・ 県庁舎 1 階の県民室においてキャンペーン企画展示(10 月 1 日～14 日)を行う。
- ・ 県庁においてふろしき活用術講習会、新聞紙エコバッグ作り講習会を開催する。

(5) 市町村における取組み

県内の市町村における取組み事例は次のとおりです。

市町村名	取組み事例
宮古市	・エコショップいわて認定制度について「宮古市ごみ分別辞典」に記事を掲載し周知した。
大船渡市	・10 月 26 日から 30 日(4 日間)、市内 4 店舗(マイヤ本店、マイヤ大船渡インター店、ジョイス大船渡店、デリーポート新鮮館)で、関係機関・団体等が協力してマイバッグ持参の啓発活動などを実施した。
久慈市	・第 41 回久慈地方産業まつりにおいて、キャンペーンコーナーを設置した。
遠野市	・ケーブルテレビのインフォメーションで周知した。
一関市	・一関市住宅祭に環境ブースを出展し、県からキャンペーン備品を借用、展示し、市民へ意識啓発を図った。
釜石市	・釜石まるごと味覚フェスティバル 2010 開催の際に 2010 かまいし環境フェアを開催し、その中において、10 月 23、24 日の両日に環境にやさしい買い物キャンペーンを実施した。
二戸市	・トリコロールフェスタ(イベント)において、エコバッグの紹介等を行った。
八幡平市	・10/5 と 10/6 に市内のスーパー 3 店舗の協力をいただき、店頭でのマイバッグ啓発運動を実施した。市の公衆衛生組合事業の一環としてチラシと啓発物品(メッセージ手袋)の配布、のぼりや声かけによる啓発運動を実施した。
雫石町	・2010 しずくしい産業まつりにおいて、環境ブースを出展しアンケートを実施。エコライフアンケート協力者へ紙ひも進呈・環境クイズの最後に町の環境施策に関する意見や自分で環境を守り育てるために取り組んでいることなどを記入していただいた。 ・環境を考える会を開催し、雫石町婦人団体連絡協議会他と役場環境対策課による「ごみ減量化やマイバッグ運動等」に関する意見交換を行った。
葛巻町	・庁舎前に啓発用ののぼり旗と横断幕を掲示したりエコハッチャんのエコバッグを展示した。
紫波町	・10/16 と 10/17 開催の紫波町産業まつりにおいて、ブースを設けてパネルを展示し、3R活動をPRした。
矢巾町	・自治会ごとに行っているごみ分別説明会において、レジ袋の削減のためのマイバッグ運動等の3R運動について説明した。
一戸町	・10/30 と 10/31 開催した、一戸町産業まつりにおいて、リサイクルコーナーを開設し、そのブースにてポスターの掲示及びマイバッグ持参呼びかけを町衛生班連合会の協力で行った。

【トピックス/写真】

キャンペーン一環として下記の講習会を開催した。

「ふろしき活用術講習会」・「新聞紙エコバッグ作り講習会」

〔開催日〕10月26日(火)、28日(木)11:00～15:00

〔会場〕岩手県庁 11 階 P1 会議室

〔参加者〕「ふろしき活用術講習会」17 名

「新聞紙エコバッグ作り講習会」26 名 計 43 名



(製作した新聞紙エコバッグ)

(1)10/26「ふろしき活用術講習会」及び「新聞紙エコバッグ作り講習会」の様子



(2)10/1～10/14「環境にやさしい暮らし展 2010」における展示の様子



(3)10/5 八幡平市店頭PRの様子



(4)10/16・17 紫波町産業まつりの展示の様子



【連絡先】

岩手県 環境生活部 資源循環推進課 リサイクル対策専門員 平船千佳子

2.3 宮城県

【キャンペーン名】マイバッグ・キャンペーン

【実施主体】宮城県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

宮城県における、ごみの排出量は、近年の3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用))の取組の広がりにより、平成12年度以降減少傾向にあるものの、平成20年度における家庭ごみの総排出量は年間約820千トン、1人1日当たりの排出量は960グラムとなっており、引き続きごみ減量化へ向けた取組を推進する必要があります。

このような中、改正容器包装リサイクル法施行3年を経て、全国的にレジ袋の使用削減に向けた取組が行われており、本県においてもレジ袋使用削減取組協定が県内全域で締結されるなど、県民の間でも、その必要性についての認識が広まりつつあります。

県では、ごみの減量化を進めるためには「事業者」、「県民」、「行政」の三者が連携してそれぞれの立場で具体的な取組を行うことが必要と考えています。

このことから、暮らしの中で身近な行動である「買い物」において、「レジ袋をもらわない・渡さない」等の行動を促進し、県民の「もったいない」精神の高揚とごみ減量化を図ることを目的に「マイ・バッグ・キャンペーン」を実施します。

【主な活動内容】

(1) ラジオスポットCMの放送

イ 時期 10月1日から10月31日まで

ロ 内容 マイバッグ持参を呼びかける内容他2種類のラジオCM(20秒)をAMラジオ(東北放送)及びFMラジオ(エフエム仙台)で、それぞれで31回ずつ放送

※ラジオCMの内容は県ホームページに掲載中：<http://www.pref.miyagi.jp/sigen/radio/>

(2) 広報チラシによる普及啓発

イ 時期 10月1日から10月31日まで

ロ 内容 マイバッグ持参を呼びかける内容の広報チラシを、県のホームページに掲載するほか、キャンペーン協力団体に対し、電子データを提供

(3) メールマガジン「循環通信」の発行

イ 時期 10月初め

ロ 内容 毎月1回資源循環推進課で発行しているメールマガジン「循環通信」に「3R推進月間特集記事」を掲載

※循環通信：http://www.pref.miyagi.jp/sigen/recycle_report/recycle_report.htm

(4) エコプロダクツ東北2010への出展

イ 時期 10月14日から10月16日まで

ロ 場所 夢メッセみやぎ(仙台市宮城野区港3丁目1-7)

ハ 内容 毎年、NPO法人環境会議所東北が主催となって実施する環境展「エコプロダクツ東北2010」に、宮城県グリーン製品と紹介パネルに併せ、マイバッグ持参を呼びかける内容のパネルを出展 ※エコプロダクツ東北2010(入場無料): <http://www.e-products.jp/2010/>

(5) 3Rラジオドラマコンテストでの普及啓発

イ 時期 10月17日

ロ 場所 イズミティ21 小ホール(仙台市泉区泉中央2-18-1)

ハ 内容 3Rの普及啓発を目的としたラジオドラマを県内の学生が作成し、コンテスト形式で実演する、「3Rラジオドラマコンテスト」の会場において、3R関連のパネルと併せ、マイバッグ持参を呼びかける内容のパネルを展示

※みやぎの3R普及啓発事業「3Rラジオドラマコンテスト」13時～(入場無料)

(6) その他

・県ホームページ等で随時広報を実施予定

＜参考:期待される各主体の取組例＞

(1) 消費者

- ・買い物の際はマイバッグ(買い物袋)の持参に努める。
- ・過剰包装を辞退する。

(2) 事業者

- ・消費者にレジ袋の使用確認やマイバッグ(買い物袋)の持参を呼びかける。
- ・簡易包装に努める。

(3) 行政

- ・各種広報媒体を利用し、レジ袋削減やマイバッグ(買い物袋)持参への積極的な取組を呼びかける。

【写真】

【エコプロダクツ東北への出展】



【県庁でのパネル展示】



【3Rラジオドラマコンテストでの普及啓発】



【マイバッグキャンペーン実施状況(市町村)】

	行事の名称	実施日	実施場所	実施内容	対象	問い合わせ先
石巻市	ごみ減量推進キャンペーン	10月1日(金)	駅前	のぼり、ポケットティッシュ配布による啓発	市民(通勤、通学者)	石巻市環境課 0225-95-1111
気仙沼市	市公式ウェブサイトへの掲載	10月	市ホームページ	マイバッグキャンペーン関連の記事掲載	市民ほか	気仙沼市廃棄物対策課 0226-22-9680
多賀城市	市広報誌への記事掲載	11月	市広報誌	広報11月号においてマイバッグ持参の記事掲載	市民	多賀城市生活環境課 022-368-1141
岩沼市	せいかいにひとつのマイバッグイベント	11月6日(土)	岩沼市勤労者活動センター	無地のバッグにペイントを行い「せいかいにひとつのマイバッグ」を制作	市民(中学生以下)	岩沼市生活環境課 0223-22-1111
七ヶ宿町	広報チラシによる普及啓発	10月	役場庁舎内、バス停留所	役場庁舎やバス停留所に広報チラシを掲示	町民ほか	七ヶ宿町保健福祉課 0224-37-2114
大河原町	オータムフェスティバル「環境フェア」	10月24日(日)	役場駐車場	家庭用生ゴミ処理機展示、使用、補助制度の紹介 ごみ分別クイズ 3Rパネル展 エコドライブ実施方法の紹介、ステッカー配布による普及啓発 エコマイバッグ手作り教室 環境学習キットコーナー レジ袋削減のPR マイバッグ持参を呼びかける旗の掲示	町民ほか 約700名	大河原町町民生活課 0224-53-2114
村田町	村田町公衆衛生組合連合会定期総会	6月24日(木)	中央公民館	エコバックの配布 生活に身近なレジ袋の削減についての普及啓発	公衆衛生組合員等 約100名	村田町町民生活課 環境衛生班 0224-83-6401
柴田町	柴田町環境フェア	10月24日(日)	船岡公民館	環境保護に取り組む町内企業、団体のパネル展示、紹介 レジ袋削減量等のパネル展示による普及啓発	約500名	柴田町町民環境課 0224-55-2113
川崎町	ゴミ有料化懇談会 行政区視察研修 町広報誌への記事掲載	7月9月～12月11月	公民会等 町内各行政区 町広報誌	エコバック、関連チラシの配布による普及啓発 広報11月号において、レジ袋の削減の記事掲載	町民 約350名	川崎町役場町民生活課 0224-84-2111
丸森町	買い物時マイバッグ持参	10月	町ホームページ	マイバッグ持参の取組について掲載	町民ほか	丸森町町民税務課 0224-72-3012
亘理町	町広報誌への記事掲載	11月	町広報誌	3Rの推進とマイバッグ持参に関する記事掲載	町民	亘理町町民生活課 0223-34-1113
山元町	第34回山元町町民文化祭 町民のひろば「公衛連のひろば」	11月3日(水)	中央公民館	マイバッグへの絵入れ 環境教育資料使用した普及啓発	町民ほか 約300名	山元町町民生活課 0223-37-1112
七ヶ浜町	しちがはま環境フェスタ	11月7日(日)	スパーク七ヶ浜	オリジナルマイバッグの作成 環境クイズ等 関連チラシを配布しての普及啓発	町民ほか	七ヶ浜町環境生活課 022-357-7454
利府町	りふ環境まるごとフェア2010	10月10日(日)	十符の里	家庭で出来る3RのPRブース等による普及啓発	町民ほか 約3,000名	利府町生活環境課 022-767-2119
大和町	町広報誌への記事掲載	10月	町広報	広報10月号において循環型社会の推進に関する記事掲載	町民	大和町環境生活課 022-345-1118
大衡村	大衡ふるさとまつり等	10月	町広報 老人福祉センター	広報10月号においてマイバッグ持参の記事掲載 老人福祉センターにおいて、マイバッグキャンペーンチラシの展示、配布による普及啓発	村民ほか	大衡村保健福祉課 022-345-0253
南三陸町	マイバッグキャンペーンほか (イベント会場での3Rの啓蒙)	6月10月	小売店 魚市場	チラシ、ティッシュの配布による普及啓発 広報において、レジ袋削減推進活動に関する記事の掲載 イベント会場において、マイバッグ作りの体験コーナーの	町民ほか	南三陸町環境対策課 0226-46-5528

【マイバッグキャンペーン実施状況(その他団体)】

実施団体名	実施期間	実施場所	行事等名称	実施内容	参加人数
(株)栗っこライフサービス	通年		マイバッグキャンペーン 「マイバッグ持参運動」	レジ袋辞退者に対し、ポイントの付与 店内において、アナウンスによる普及啓発	
栗原市築館生活学校	10月8日 (金)	参道	マイバッグキャンペーン 「マイバッグ持参運動」	会員に対し、チラシの配布による普及啓発 「築館生活学校だより」にマイバッグ持参運動の記事を掲載し、 5,199世帯に配布	160名
栗原市食生活改善推進員連絡協議会	10月16日 (土)	この花さくや姫ブ ラザ	マイバッグキャンペーン 「買い物袋を持参しま しょう」	イベント会場でのチラシ配布、呼びかけ	約130名
栗っこ農業協同組合女性部	10月30日 (土)	彩葉ハウス (産直所)	マイバッグ持参呼びか け	産直所の周年祭でのチラシ配布	
ワニカラットウーマンの会	7月 10月	公民館 運動公園	マイバッグ作り教室 町民文化祭	マイバッグ作り教室 イベントにおいて、パネルを用いた普及啓発	
南三陸町生活研究グループ連絡協議会	6月 10月	小売店 魚市場	マイバッグキャンペーン	店頭、イベント会場において、チラシ、ティッシュを配布しての普及 啓発	
さわやかAグループ	6月 10月	小売店 魚市場	マイバッグキャンペーン	店頭、イベント会場において、チラシ、ティッシュを配布しての普及 啓発	
南三陸町婦人団体連絡協議会	6月 10月	小売店 魚市場	マイバッグキャンペーン	店頭、イベント会場において、チラシ、ティッシュを配布しての普及 啓発	
角田市生活学校	8月14日 (土)	市内歩行者天 国	ごみ減量とマイバッグ持 参啓発キャンペーン	のぼり旗の掲示、ティッシュ、エコバックの配布による普及啓発	19名
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	10月29日 (金)	大崎市古川保 健福祉プラザ	健康増進プロジェクト 事業	講話の実施 「3Rの推進とマイバッグの普及啓発について」	41名
(株)ヨークベニマル	通年	全店		レジ袋の有料販売 有線放送に「レジ袋持参運動」のアナウンスの導入	43店舗
登米市食生活改善推進員協議会	10月23日 ～24日	登米市迫町中 江中央公園	マイバッグキャンペーン	イベント会場でのチラシ配布、呼びかけ	約100名
JAみやぎ亘理 女性部	11月13日 (土)	中央公民館前 広場	JAまつり	新聞紙、米袋を利用したエコバックの配布、呼びかけ	
気仙沼市消費者の会	7月	気仙沼市総合 福祉センター	気仙沼市エコフェスタ	イベント等において古傘を用いマイバッグの作成、展示等を通じた 普及啓発	
エコライフ利府	6月 10月 11日	イベント会場	いつでもどこでもマイバ ッグ持参	イベント会場でのチラシ配布、クイズ等による普及啓発	
山元町・山元町公衆衛生組合連合会	11月3日 (水)	中央公民館前 広場	公衛連のひろば マイ バッグお絵かきコーナー	イベント会場において、マイバックの絵入れコーナーを設け、合わせ て口頭により普及啓発を行った	
エコライフ推進事業	10月24日 (日)	公民館	柴田町環境フェア	町内の環境保護活動に取り組む企業、レジ袋使用削減等のパネ ルを掲示	約500名

【連絡先】

環境生活部資源循環推進課 企画指導班 三浦雄一

2.4 秋田県

【キャンペーン名】レジ袋削減・マイバッグ推進運動

【実施主体】秋田県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

(レジ袋削減・マイバッグ推進運動として通年実施)

【目的・趣旨】

循環型社会の形成と地球温暖化対策を推進するため、県民総参加でレジ袋の削減など環境にやさしい買い物に取り組むとともに、環境保全意識の向上を図る。

【協力団体】ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議／レジ袋削減・マイバッグ推進運動参加事業者

【主な活動内容】

【事業者】・キャンペーンポスターの掲示、広告、店内放送による呼びかけ等の啓発活動を実施

・簡易包装に努める

・環境配慮型商品（環境にやさしい商品等）であることを表示し、販売する

【行政】・キャンペーンポスター及びのぼりの配布

・関係団体等への働きかけ

【トピックス】

①レジ袋削減・マイバッグ推進運動協定締結式（平成22年8月9日）

県内に店舗を持つ事業者とレジ袋削減に向け、「レジ袋削減・マイバッグ推進運動」に関する自主協定を締結した。参加協定締結事業者：20事業者425店舗

②レジ袋削減目標達成店ステッカー交付式（平成22年9月4日）

「第10回あきたエコ&リサイクルフェスティバル」において、レジ袋削減・マイバッグ推進運動協定締結事業者のうち、レジ袋削減目標（マイバッグ持参率）50%達成店を表彰するとともに、レジ袋削減目標達成店ステッカーを交付した。

【写真等】



レジ袋削減・マイバッグ推進運動協定締結式
(平成22年8月9日)



レジ袋削減目標達成店ステッカー



レジ袋削減・マイバッグ推進宣言ポスター



レジ袋削減・マイバッグ推進宣言のぼり

【連絡先】

秋田県 生活環境部 温暖化対策課 調整・省エネルギー班 技師 佐々木典子

秋田県 生活環境部 環境整備課 調整・循環型社会推進班 主事 中西真菜美

2.5 山形県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】ごみゼロやまがた推進県民会議

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

県内では、昨年度レジ袋の有料化とマイバッグの推進で90%程度のマイバッグ持参率となっており、県民に既に定着している。今年度は「使い捨て製品を買わない」に重点を置き、リデュース(再使用)を推進するキャンペーンとした。

【協力団体】各市町村、各一部事務組合、エコショップやまがた協力店

【主な活動内容】

- ・10月の3R推進月間期間中、買い物の際に「再使用できる容器」や、「詰め替え製品」を選ぶよう働きかけるポスターをエコショップやまがた協力店(約200店舗)で掲示。
- ・ごみゼロやまがた実現を目指し、3Rを中心とした環境意識の普及啓発を目的に「もったいないやまがた780大会」を開催(10月2,3日)。大会では、ごみゼロ推進功労者表彰式、環境科学体験コーナー、おもちゃの交換会かえっこバザールを実施した。

【トピックス】

- ・県内35市町村のうち、レジ袋有料化を実施する市町村が24市町(398店舗)であり、レジ袋有料化には至らないがマイバッグ持参運動に取り組む市町村が9町村となっている。また、未実施の市町村についても今後マイバッグ持参運動を展開する予定であり、山形県全域でマイバッグ持参の取り組みが進んでいる。
- ・「もったいないやまがた780大会」では、おもちゃの交換会かえっこバザールに多数の児童が参加し、おもちゃの交換を通して身近なリユースを体験し、環境にやさしい取り組みをPRできた。

【写真、ポスター等】



おもちゃの交換会 かえっこバザール



環境にやさしい買い物キャンペーンポスター



もったいないやまがた 780 大会ポスター

【連絡先】

山形県生活環境部循環型社会推進課 主査 本間 曜子

2.6 福島県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物推進キャンペーン

【実施主体】主催 福島県

共催 地球にやさしい“ふくしま”県民会議

後援 福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

持続可能で恵み豊かな環境を将来の世代に引き継いでいくために、県では、環境の保全を最優先し、環境への影響を未然に防止するとの基本的な考え方の下、豊かな自然をはじめとする本県の特性を生かした循環型社会の形成を目指しています。

特に、本県が目指す循環型社会の3つのビジョンのうち、「適正な資源循環が確保された社会」の実現に向けては、ごみの発生を抑制し(リデュース)、ものを再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)する、いわゆる3R(スリーアール)を推進するとともに、循環型社会の形成を需要の面から促進するため、環境にやさしい商品の購入、いわゆる「グリーン購入」の普及啓発に取り組んでいます。

このため、今年度においても、国が実施する「環境にやさしい買い物キャンペーン」と連携し、消費者へ環境にやさしい買い物について普及啓発を図り、もって循環型社会の形成に資することを目的に「環境にやさしい買い物推進キャンペーン」を実施します。

【協力団体】ストップ・ザ・レジ袋実施店／うつくしま、エコ・ショップ認定店

【主な活動内容/写真】

(1) 消費者への普及啓発

県の地球環境保全のキャラクター「エコたん」を用いたポスターを、レジ袋の無料配付中止を行っている「ストップ・ザ・レジ袋実施店」や環境にやさしい取組みを行っている「うつくしま、エコ・ショップ認定店」で掲示し、消費者へ環境にやさしい買い物について普及啓発を図るとともに、引き続き平成21年6月1日から開始したレジ袋削減の取組みについて協力を呼びかけた。

また、県のホームページにおいて、環境にやさしい買い物の取組みを県民に呼びかけた。



福島県の地球環境保全のキャラクター「エコたん」によるキャンペーンポスター

(2) アンケート

キャンペーン期間中である10月2日、3日に行われた「ふくしま環境・エネルギーフェア 2010」(会場:ビッグパレットふくしま)の会場内において、来場者に「環境にやさしい買い物」に関するアンケートを実施するとともに、回答者には県が認定している「うつくしま、エコ・リサイクル製品(※)」などの環境にやさしい製品を進呈し、環境にやさしい買い物やレジ袋削減の取組みについての普及啓発を図った。

※うつくしま、エコ・リサイクル製品・・・廃棄物等の有効利用とリサイクル産業の育成を図るため、主として県内で生じた廃棄物等を利用して製造された優良な製品で、県が認定し、利用を推進している。



ふくしま環境・エネルギーフェア 2010 における
アンケート実施

【連絡先】

(担当)福島県生活環境部環境共生課 菅野

2.7 茨城県

【キャンペーン名】平成22年度レジ袋削減運動

【実施主体】茨城県、環境保全茨城県民会議

【実施期間】通年 特に6月・10月を重点実施月間とした。

【目的・趣旨】

日常生活の中でできる環境にやさしい行動の一つとして、買い物袋(マイバッグ)の持参による不要なレジ袋の削減があげられるが、マイバッグ持参の定着のためには、販売店、消費者、行政など地域社会全体が一体となって取り組む必要があるため、これらあらゆる主体が一体となって県内全域の食品スーパー及びクリーニング店で一斉に「レジ袋の無料配布中止」を推進する。

【参加団体】

県内市町村	44団体
環境保全茨城県民会議に所属する企業・団体等	104団体
県域団体	3団体

【参加企業(※)】

スーパーマーケット	27社	262店舗
クリーニング店	15社	295店舗

※ 参加企業は、本県及び県域4団体と「レジ袋無料配布中止についての協定」を締結している。スーパーマーケットとは平成21年3月27日に、クリーニング店とは平成22年9月1日に協定を締結した。

【主な活動内容】

啓発ポスター、チラシ、のぼり、啓発物品(手ぬぐい)を作成し、参加団体等に配布し下記の取り組みに活用した。

(1) 各店舗での取り組み

啓発ポスターの展示、のぼり旗の設置、チラシの配布、レジでの声かけの実施等。

(2) イベント等でのキャンペーンの実施

県、市町村、消費者団体、生活学校等各種団体が主体となって、各地のイベントに参加し、レジ袋の削減を呼びかける。

県・市町村による各種イベントにおける啓発活動(主なもの)

イベント名	開催場所	実施日
STOP! 地球温暖化県民大会	水戸市	6月28日
夏の省エネキャンペーン	県内各地	6月
環境展	土浦市	10月15日
つくば環境フェスティバル 2010	つくば市	10月30日・31日
地球温暖化防止キャンペーン	結城市	10月中

【連絡先】

担当: 茨城県生活環境部廃棄物対策課 減量化・リサイクルグループ 澤田

2.8 栃木県

【キャンペーン名】「マイ・バッグ・キャンペーン」

【実施主体】栃木県

【実施期間】通年（※強化期間：平成22年10月1日～10月31日〔3R推進月間〕）

【目的・趣旨】

「マイ・バッグの持参」など、身近な生活の中でできる具体的な行動として「環境にやさしい買い物」を実践することにより、ごみの減量化をはじめとした環境問題に関する県民の意識の高揚を図るとともに、環境への負荷の低減に資することを目的とする。

【協力団体】

県内全域で取組を推進するため、以下の団体等から協力を得た。

・ 消費者団体等

栃木県地域婦人連絡協議会、栃木県生活学校連絡協議会、栃木県市町村消費者団体連絡協議会、栃木県農村生活研究グループ協議会、新日本婦人の会栃木県本部、連合栃木、エコライフネットワーク「とちぎ」、とちの環県民会議

・ 事業者

栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、栃木県経済同友会、栃木県スーパーマーケット協会、宇都宮地域商業振興協議会、栃木県生活協同組合連合会、栃木県職員生活協同組合、スーパーマーケット 他

・ 行政

市町、一部事務組合、県関係機関

【主な活動内容】

（1）栃木県

① 具体的行動実践の呼びかけ

「環境にやさしい買い物をしましょう」をサブテーマに、ポスター及びちらしを作成し、消費者団体、事業者、行政機関、県民に具体的行動の実践を呼びかけた。

○ ポスター 2,800 枚 、 ちらし 5,000 枚 作成

② 県職員への呼びかけ

本県では、「栃木県庁環境保全率先実行計画」に基づき、職員一人ひとりが廃棄物の減量化を推進するため率先的な行動を実践していることから、県職員に対してもマイバッグの持参等を呼びかけた。

③ 各種媒体による広報

県ホームページ、広報媒体等による普及啓発

④ 「とちぎレジ袋減らし隊」によるレジ袋削減キャンペーンの実施

平成 22 年 8 月に県内各地でレジ袋削減を呼びかける「とちぎレジ袋減らし隊」を結成。特に 10 月

は強化月間として、「エコもりフェア 2010」(10/9～10)などの各種イベントに出展し、アンケートの実施や普及啓発活動（マイバッグを配布）を行った。

開催場所: わくわくグランディ科学ランド

実施内容: ・ポスター、パネル展示、チラシの配布

- ・アンケート回答者にマイバッグをプレゼント、
- ・こどもを対象としたマイバッグデザイン(マイバッグにお絵かきをしてもらい、そのバッグをこどもにプレゼントする)会の実施
- ・着ぐるみを活用した普及活動



(2) 消費者団体等

- 店頭におけるマイ・バッグ・キャンペーンの実施(普及啓発ティッシュ、マイバッグの配布)
- 地球温暖化対策をテーマに、マイバッグに関する内容も含めて学習会を開催。

(3) 事業者

- ポスターを掲示し、レジでの声かけ(「袋は必要ですか?」等)を実施
- 購入点数が1, 2点の際には、買上げテープでよいか確認し、買上げテープを貼付
- 定期的にマイバッグ・買い物袋持参の協力を店内放送にて実施
- マイバッグ使用のポイントプレゼントキャンペーン

(4) 商工団体

- ポスターの掲示、キャンペーンチラシの配布
- 団体名入りエコバッグを作成し、自ら会員が使用するとともに催事での一般配布の検討を実施
- 会誌による普及啓発

(5) 行 政（県内27市町、7 一部事務組合）

- 公共施設へのポスター・ちらしの掲示による普及啓発
 - 広報誌・ホームページによる普及啓発
 - ポスターコンクールの実施。
 - 市町主催イベントにおける「とちぎレジ袋減らし隊」を活用した、レジ袋削減キャンペーン実施
 - マイバッグ持参運動推進事業の実施
 - 管内店舗と協力し、普及啓発物資を配布。マイバッグ作り講座を開催。
 - 啓発用チラシを作成し、自治会内における回覧を実施
 - 保健環境委員を通じての全戸回覧によるマイバッグ斡旋
-

【事業者、消費者団体、行政の協定方式によるレジ袋無料配布中止の取組推進】

- 県では、「地球と人にやさしい“エコとちぎ”づくり」に向け、一層のレジ袋削減を図るため、平成 22 年 2 月 1 日から事業者、消費者団体、市町、県の 4 者協定による「レジ袋無料配布中止」の取組を開始。(H22.12.15 現在 34 事業者 69 店舗で実施)
- 協定参加事業者の拡大とレジ袋無料配布中止取組事業者の支援、県民への普及啓発活動を展開。
- 併せて、地域の実情に即したレジ袋削減の取組を推進するのに有効と考えられる「地域(市町)単位でのレジ袋削減に関する協議会の設置」を推進。平成 22 年 11 月に 1 町において、町内主要事業者が参加し、平成 22 年 3 月 1 日からレジ袋の無料配布を中止する協定が締結された。

【連絡先】

環境森林部 地球温暖化対策課

2.9 群馬県

【キャンペーン名】 ストップ温暖化！県民アクション

【実施主体】 群馬県

【実施期間】 平成22年8月1日～平成23年2月28日

【目的・趣旨】

地球温暖化防止には、社会全体およびひとりひとりの理解と行動力が不可欠である。地球温暖化のしくみや現状についての理解は一般にもかなり浸透してきたところであり、今後は「知っている」から「している」へと行動に変えていく必要がある。特に、CO₂増加傾向が止まらない家庭部門での取組として、日常生活における地球温暖化防止につながる具体的な行動を、県民にわかりやすく伝えていく事を目的とし、取り組みの一環として、環境にやさしい買い物(3R、地産地消)を呼びかけている。

【協力団体】 群馬県地球温暖化防止活動推進センター、市町村、県内各団体・事業者等

【主な活動内容】

(1) 取組概要

暮らしの中でできる、地球温暖化防止につながる代表的な取り組み(3R、地産地消等)をまとめたワークブックを作成・配布する。具体的な行動をすることで削減できたCO₂量により、成果を実感してもらう。

- ① 日常の場面で、具体的にどんな行動をすればよいかを、ワークブックで知る。
- ② まずは短期間(3日間)、それらを意識して実際に行動し、自分にできることを実感する。
- ③ 3日間の取組結果を報告する。

(2) 啓発活動

- ・ワークブックの作成及び配布
- ・県広報番組(テレビ・ラジオ)、県広報誌及び県ホームページでの広報
- ・イベント等での普及啓発
- ・県内各団体、市町村窓口、協力スーパー等での周知、及びワークブックの配布

【トピックス】

県民センター(群馬県庁2階)情報発信コーナーにおいて、ワークブック及びパネル等の展示を行い、周知啓発を行った(右写真:展示の様子)。展示期間:平成22年11月19日(金)～平成22年12月16日(金)



【その他 写真、チラシ、ポスターなどの画像と説明】



ストップ温暖化！県民アクション
ワークブック(表紙・裏表紙)



ストップ温暖化！県民アクション
ワークブック(取り組み例)



取り組み例(3R)
拡大



取り組み例(地産地消)
拡大

【連絡先】

群馬県環境森林部環境政策課温暖化対策室環境活動推進係 牧田

2.10 埼玉県

【キャンペーン名】マイバッグ・キャンペーン

【実施主体】埼玉県、各市町村

【実施期間】通年(平成21年10月から毎月第2週を「マイバッグ・ウィーク」として重点的に実施)

【目的・趣旨】

地球に優しい身近な取組として、マイバッグの利用によるレジ袋削減を推進し、循環型社会の構築と地球温暖化防止を図る。

【主な活動内容】

市民団体、小売事業者、行政等が協働し、3R推進月間(10月)を中心に各地域でマイバッグ・キャンペーンを実施した。

(1) 広報による啓発

- 毎月のマイバッグ・ウィーク(第2週)に店内放送を実施。マイバッグの利用促進・ごみ減量化への啓発
- 3R推進月間(10月)を中心に、県ホームページや市町村広報紙での啓発
- 協定事業者店舗でのポスター掲示や新聞折り込みチラシ
 - ・ポスター(3つの「マイバッグ・マナー」の呼びかけ)

- ① 買い物中はマイバッグを折りたたんだままにしましょう。
- ② 商品はお店に備え付けの買い物カゴに入れましょう。
- ③ マイバッグはレジが済んでから使いましょう。

・チラシ(県との協定により、環境負荷低減に取り組んでいることをPR)

- 公共施設に懸垂幕を掲出(通年)

(2) イベントにおける啓発

環境関連のイベント会場等に出展し、来場者にマイバッグの利用を呼びかけた。

(例)・イオン上里ショッピングセンター環境フェア 2010(4月24日～5月5日)

・埼玉サイクリングフェスティバル(10月17日)

(3) 講座の実施

- オフィス3R推進講座

県内事業所において、3R促進講座を実施する事業を実施し、マイバッグ利用をはじめとするオフィスでの3Rの実践を啓発した。

啓発懸垂幕

【通年】

【10月】



《環境フェア2010（4月24日）》



《埼玉サイクリングフェスティバル（10月17日）》

オフィス3R推進講座
～事業所にお伺いして出前講座を開催します。～

天然資源の消費削減と環境負荷低減を推進し、持続可能な社会への貢献が、今、求められています。

埼玉県では、オフィスでの3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進するため、県内の事業所等において3R実践講座を開催しています。事業所や地域の集まるご集まりを開催しております。

●開催時期 9月から12月の間でご希望の日
●場 所 貴事業所
★電話による産業物減量化実証調査をご希望の場合は、

・講座は、食生活改善推進員会が主催です。
・講座の終了後には、事業所のごみ査察を行います。

●主催：埼玉県
●協力：財団法人環境省研究財団
お問い合わせ：国中 中村 俊樹
023-893-8710

リユース

3R推進宣言

当事業所は、将来の世代により良い環境を引き継ぐため、持続可能な循環型社会の実現を目指して、3R（リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再活用）、リサイクル（再生利用））の推進に努めます。

平成22年 月 日

事業所長
担当者氏名

《オフィス3R推進講座チラシと
受講企業の宣言書》

【連絡先】

埼玉県環境部資源循環推進課 一般廃棄物・リサイクル担当

2.11 千葉県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】千葉県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

「平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施方針」に基づき環境省が主体となって全国一斉に実施する「環境にやさしい買い物キャンペーン」について、本県も実施することにより、本県の資源循環型社会づくりの促進を図る。

【呼びかけ団体】

(社)千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、千葉県商店街連合会、各生活協同組合(19 団体)、各消費者団体(60 団体)、各市町村廃棄物・リサイクル担当課等

【主な活動内容】

- (1)・キャンペーン実施を文書で呼びかけ、希望のあった関係団体、市町村に、啓発資材(ポスターの電子データ)を配付。(12 団体に配付)
- ・全県的なレジ袋削減の取組みである「ちばレジ袋削減エコスタイル(通称:ちばレジエコ)」、「ちば食べきりエコスタイル(通称:ちば食べエコ)」及び、3R推進月間の普及啓発。



「ちばレジエコ」リーフレット



「ちば食べエコ」リーフレット

(2)「3R推進月間」及び「ちばレジエコ」のリーフレット、チラシ、ポスターを配布し、レジ袋や食べ残し削減の取組について周知を図った。

- ・3R チラシ 20,000 枚、3R ポスター1,000 枚

- ・ちばレジエコリーフレット 20,000 枚

- ・ちば食べエコリーフレット 20,000 枚

* 関係団体、市町村、大学等に配布したほか、市町村主催イベントでの啓発。

(右図:3R推進月間ポスター)



【連絡先】

千葉県環境生活部資源循環推進課事業推進室

2. 12 東京都

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】東京都環境局

【実施期間】平成22年10月15日(土)～10月16日(日)

【目的・趣旨】

携帯電話やペットボトルなどの都民に身近な製品を通して、天然資源の使用状況やリサイクルへの取組に関する情報を都民に提供することにより、都民の環境意識及び消費者意識の向上を図ることを目的とする。

【協力団体】東京都消費者月間実行委員会(東京都及び消費者団体で構成)

【主な活動内容】

東京都では、10月を消費者月間と定め、東京都、消費者団体、事業者が、消費者に身近な問題をテーマにしたパネル展示やセミナー等を通じて、都民に対して様々な「暮らしに関する情報」を提供し、都民の消費者意識の向上を図るため、東京都消費者月間事業「くらしフェスタ東京」を毎年実施している。

今回、「くらしフェスタ東京」の一環として、JR新宿駅西口広場イベントコーナーで開催された「2010 年度交流フェスタ」に、東京都環境局がブースを出展し、マイボトルの使用促進、容器包装の簡素化促進などの九都県市の取組をポスターで紹介するとともに、再生素材でできたグッズの配布を通じて、都民に対して環境に配慮した消費者行動を促した。

また、デジタルカメラの分解展示模型を用いて、昨今注目を集めているレアメタルの利用状況やそのリサイクルの重要性を説明するとともに、アンケートを通じて、レアメタルが多く使用されている小型家電のリサイクルに対する都民の意識の把握に努めた。

【トピックス】

- ・交流フェスタへの来場者数 約 26,000 人(2 日間の延人数)
- ・東京都環境局以外にも、市民団体や事業者などの 13 団体が、消費者に身近な様々な問題を環境の観点から捉え、ポスターやセミナーにより都民に対する意識啓発を実施。



会場の様子



ポスター掲示

墨田区

1. すみだ環境フェア・すみだまつり・消費生活展

【実施主体】 墨田区

【実施期間】

【環境フェア】 平成 22 年 6 月 23 日(水)～27 日(日)

【すみだまつり】 平成 22 年 10 月 2 日(土)、3 日(日)

【消費生活展】 平成 22 年 10 月 23 日(土)、24 日(日)

【目的・趣旨】

ごみ減量、再生資源について展示をし、より多くの区民にごみ減量・リサイクルについて理解、実践していただくことを目的とする。

【主な活動内容】

区主催のイベント事業にて、パネル展示やチラシの配布を行い、レジ袋削減、マイバッグの使用を推奨する。

**レジ袋を作るのに
原油をどれくらい使ってるの？**

1枚のレジ袋を作るためには、原油が約18.3ml必要です。

レジ袋は石油から出来ています。1枚のレジ袋を作るためには、LLサイズ(45cm×55cm)の袋を作る場合、製造段階で約18.3mlのエネルギーを必要としています。

※ もちろん、実際には石油のほかに、生産過程での電力を含め、さまざまなコストがかかっていますが、ここでは計算に入れないことにします。

墨田区の年間使用枚数を作るには、25㎡で、約2.9杯分！！

墨田区民の年間使用枚数を作るには、原油換算で
6,000万枚×18.3ml = 1,098,000,000ml
と 1,098,000L
が必要となります。これは25㎡プール(横15m×縦16m)に注ぐと、
約2.9杯分の量になります。



**ストップレジ袋！
スタートマイバッグ！**

レジ袋は年間どのくらい捨てられている？

買い物した時に、店頭に入れるために渡されるレジ袋。レジ袋は軽くて丈夫で、とても便利ですが、しかし、無気味な目撃者が多く、大量のゴミとして捨てられています。皆さんはどれくらい捨てられているのでしょうか？

○日本中で
年間 約300億枚、重量で 約60万トン

○墨田区内で
年間 約6,000万枚(一人あたり約240枚)
重量で 約1,200トン

数字で考えるレジ袋

墨田区で1年間に使用されるレジ袋は、墨田区約13.75km²の土地に置いて考えてみましょう！
レジ袋の面積は上野の約6,000万枚、大きさはコンビニで使用するLLサイズ(45cm×55cm)とします。
2.475cm²×6,000万枚÷13.75km² = 1.08
なんと、区全体の面積にほぼ同じ、つまり、全区を埋め尽くしてしまおうことになります。

一人ひとりがマイバッグを持ち、レジ袋を年間100枚減らすと、墨田区で年間約2,500万枚、墨田区として約500トンものゴミ減らすことができます。

急にマイバッグを持ち歩くのは大変かもしれませんが、しかし、日本生活でよくある「スーパーやコンビニで買いに行く」という習慣、そこでちょっと考えて、「ストップレジ袋！スタートマイバッグ！」
ご協力をお願いします。



2. リサイクル清掃展

【実施主体】 墨田区

【実施期間】 平成 22 年 8 月 7 日(土)～16 日(月)

【目的・趣旨】

ごみ減量、再生資源について展示をし、より多くの区民にごみ減量・リサイクルについて理解、実践していただくことを目的とする。

【協力団体】 すみだリサイクルの会

【主な活動内容】

マイバッグの使用の推奨のほかに、レジ袋削減方法の一つとして、「ふろしき」の利用を PR するためパネルと見本展示、チラシ配布を行った。

また同時に墨田区リサイクルの会による作品展示を「生活の知恵」として行った。

3. エコライフ講座「古着であづま袋づくり」

【実施主体】 墨田区

【実施期間】 平成 22 年 10 月 29 日(金)

【目的・趣旨】

不用品の有効利用とマイバッグ利用の普及啓発を目的とする。

【協力団体】 すみだリサイクルの会

【主な活動内容】

区内在住・在勤の方を対象に、家庭で不用になった古着・古布を再利用して、「あづま袋」を作成する講習会を実施。

【トピックス】

「あづま袋」は風呂敷から派生したもので、モノを入れやすく包みやすいため、現在マイバッグとしても活用できる。



品川区 マイバッグ運動推進月間

【実施主体】 品川区

【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～10 月 31 日(日)

【目的・趣旨】

不用品の有効利用とマイバッグ利用の普及啓発を目的とする。

【協力団体】 品川区商店街連合会(区補助金でエココイン事業を実施)

【主な活動内容】

- ・区内5ヶ所でマイバッグ運動の懸垂幕を掲出。
- ・区広報紙および統合ポスターに「マイバッグ運動推進月間」記事を掲載。
- ・マイバッグ運動協力店でレジ袋を断るとコインを配布。

コイン 250 枚で 500 円分の商品券と交換。(通年で実施)

三つの「R」で 循環型社会へ 10月は「3R推進月間」です

「もったいない」の精神を大切に、使い捨て社会を循環型社会に変えていくことが求められています。

ごみを出さない【Reduceリデュース】、繰り返し使う【Reuseリユース】、資源として再利用する【Recycleリサイクル】の3Rを身近な行動の中で推進していきましょう。

Reduce リデュース

何が必要がよく考えて、無駄になるものを減らしたり、もったいないようにしましょう。

ごみになるものを減らしましょう

- 買い物に「マイバッグ」はもう常識！これからは、お気に入りの「マイはし」や「マイボトル」を持って出かけましょう。
- 洗剤やシャンプーなどは詰め替え品を選び、ごみとなるボトルを減らしましょう。
- 使い捨てのものは極力使わないようにしましょう。

10月はマイバッグ運動推進月間です

マイバッグ運動に参加している区内商店街では、レジ袋を断った方にコインを渡し、集めたコインを商品券と交換しています。

品川区清掃担当
☎5742-6843



Reuse リユース

いらなくなったものもごみとして捨てる前に「何かに使えないか」、「だれが必要としていないか」を考えてみましょう。

使えるものは繰り返し使しましょう

リサイクルショップやフリーマーケットを活用しましょう。

リサイクルショップ「リボン」

旗の台店 (旗の台5-13-9 ☎5498-7803)

大井町店 * (東品川2-3-2 ☎5460-2730)

* 10月24日まで東品川で営業し、第三庁舎へ移転します。6ページをご覧ください。

おもちゃの病院

日土曜 午後1時～3時30分

品川区消費センター(大井1-14-1 ☎5718-7181)



フリーマーケット

Recycle リサイクル

リデュースやリユースしても残ったものは、分別し資源としてリサイクルしましょう。

資源として再生利用しましょう

資源回収に積極的に取り組みましょう。

- 牛乳パック (6枚程度) をリサイクルすると、トイレットペーパーが1巻できます。
- 資源から新しく生まれかわった再利用品 (トイレットペーパー、文具など) を積極的に使うことで、資源循環の輪が広がります。



資源回収

問い合わせ/品川区清掃事務所リサイクル推進係
☎3490-7098

※本紙21日号では、毎月リサイクルやごみに関する情報を掲載しています。

こんな工夫もできます



Rちゃん
品川区在住のOL。「地球に優しいエコライフ」を実践中です。

私のリユースアイデア

- 発泡スチロールトレイは軽くて丈夫です。料理の際、材料を計ったり、下ごしらえしたものを置いたりするのに便利です。
- 牛乳パックをきれいに洗い、裏に厚紙をはり補強するとホワイトボード代わりになります。水性のフェルトペンで記入し、ぬれた布で消すとくり返し使うことができます。

私のエコクッキング

茶がらと野菜の皮のかき揚げ



- ① あり合わせの野菜や野菜の皮 (ニンジン、レンコン、ダイコンなど) を千切りにします。
- ② 緑茶の茶がらは電子レンジで乾燥させ、食べやすい大きさに切ったエビと小麦粉をまぶします。
- ③ 天ぷらの衣に①と②を入れ、サクリと混ぜ合わせ、一口大にして揚げます。

※茶がらは入れすぎると苦くなるので、お好みで量を加減してください。

目黒区

簡易包装・スマートショッピングキャンペーン

【実施主体】 目黒区

【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～10 月 31 日(日)

【目的・趣旨】

区民、事業者と区が連携して、環境に配慮した商品やサービスの積極的な選択や提供、購入を呼びかけることにより、循環型社会に向けたライフスタイルへの転換を推進する。

【協力団体】 エコライフめぐろ推進協会

【主な活動内容】

- ① 懸垂幕の掲出(総合庁舎、清掃事業所、東急ストア中目黒店、ダイエー碑文谷店)
- ② 総合庁舎西ロビーでのパネル展示
- ③ 消費生活展でパネルの展示と買い物クイズ
- ④ めぐろ区報・ホームページへの掲載
- ⑤ マイバッグコンテスト(エコライフめぐろ推進協会との共催)応募作品を総合庁舎西ロビーで展示
- ⑥ 環境広報誌「エコロめぐろ」への掲載



総合庁舎西ロビーパネル展示



マイバッグコンテスト入賞作品を総合庁舎西ロビーで展示

豊島区

3R推進キャンペーン ～環境にやさしい買い物～

【実施主体】 豊島区

【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～10 月 31 日(日)

【目的・趣旨】

区民への3R意識の啓発を促進して、ごみ減量、資源循環活動の推進を図る。

【協力団体】

- ① (株)サンシャインシティ、(株)そごう・西武、(株)東武百貨店、(株)ビックカメラ、
(株)ファミリーマート、(株)丸井グループ
- ② 池袋協和会、池袋本町中央通り商店会、池袋本町通り商店会、ふれあいロード北池

【主な活動内容】

- ① 区役所本庁舎ロビー展示(3R 推進キャンペーン～環境にやさしい買い物～)
 - i) マイバッグコンテスト
区民から公募したマイバッグの展示・投票
 - ii) 3R 推進パネル展示
区内企業の環境への配慮および3Rへの広範な取り組みをパネルで紹介
 - iii) 身近にできる3R の紹介など
- ② 地域キャンペーン 10 月 1 日～31 日
 - i) 商店会の協力を得て、期間中レジ袋削減の呼びかけ
 - ii) 地域まつり(10 月 10～11 日)会場に展示啓発コーナーを設けて、区民に3R、レジ袋削減を呼びかける。3R 啓発講座開催、3R 啓発リーフレット配布



区役所ロビー展示



地域キャンペーン

荒川区 地域こどもまつり

【実施主体】 環境清掃部清掃リサイクル課・荒川清掃事務所

【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～10 月 31 日(日)

【目的・趣旨】

地域の方々と子どもたちの交流の場において、清掃リサイクル事業への理解と3Rの普及啓発を行い、循環型社会に向けた生活スタイルへの転換を促す。

【主な活動内容】

子どもから大人まで楽しみながら学んでもらうため、リサイクルクイズや正しいごみの分け方・出し方、清掃スクルトン車への積込体験等を実施し、3Rの推進に向けた普及啓発を図った。

併せて、出典ブースに環境にやさしい買い物キャンペーンとマイバッグキャンペーンの啓発ポスターを掲示し、ブース来店者へ環境にやさしい消費者行動への呼び掛けを実施した。

その他、区内小学 4 年生を対象とした出前環境学習においても、ごみ減量(発生抑制・再使用・再生利用)の実践に向けた啓発活動を行っている。



練馬区 環境・リサイクルフェア地域こどもまつり

【実施主体】 環境・リサイクルフェア実行委員会

【実施期間】 平成 22 年 10 月 17 日(日)

【目的・趣旨】

環境やごみの減量・リサイクルにつて、多くの方に理解していただくためのイベント

【協力団体】

26 団体(行政・環境団体等) ※ 実行委員会に登録した団体等

【主な活動内容】

「分ければ資源」のテーマに沿ったパネル展示や資源とごみの分別クイズを区民の方に答えてもらい、参加

者にエコバッグを提供した。

【トピックス/写真】

・クイズ参加者 約 1500 人



江戸川区

1. 江戸川区マイバッグキャンペーン

【実施主体】 江戸川区	【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～10 月 31 日(日)
-------------	---

【目的・趣旨】

買い物の際にマイバッグを利用し、レジ袋をもらわない習慣を定着させることで、レジ袋の削減を契機とした、リデュースの行動を促進する。

【協力団体】

区内マイバッグキャンペーン協力店 92 店舗／江戸川区商店街連合会／区内各町会・自治会

【主な活動内容】

① 内容

キャンペーン協力店で買い物する時、レジ袋を辞退し、レジ袋を辞退したことがわかるレシートもしくは応募券を 5 枚集めて応募し、抽選により 300 名に記念品を贈る。

② 周知方法

- ・区広報紙、清掃広報紙および江戸川区ホームページに記事を掲載
- ・区内広報掲示板、町会・自治会掲示板、区内マイバッグキャンペーン協力店および区内施設でポスターを掲出
- ・区内マイバッグキャンペーン協力店および区内施設で応募用紙、ちらしを配布
- ・区内町会・自治会で応募用紙、ちらしを回覧



マイバッグキャンペーンポスター

【トピックス】 キャンペーン応募数 1,540 通

2. マイバッグコンテスト

【実施主体】 江戸川区

【実施期間】 平成 22 年 10 月 10 日（日） ※実施当日雨天のため、平成 23 年 3 月 5 日（土）に延期

【目的・趣旨】

マイバッグを奨励し、区民のごみ減量やリサイクルに対する意識の向上や理解を深める。

手作りのマイバッグ作品を募集し、区民まつり会場において、マイバッグコンテストを実施する。買い物の際にマイバッグを利用し、レジ袋をもらわない習慣を定着させることで、レジ袋の削減を契機とした、リデュースの行動を促進する。

【協力団体】

江戸川区商店街連合会／江戸川区マイバッグ運動推進店／区内各町会・自治会

【主な活動内容】

平成 23 年 3 月 5 日(土)に行われる「もったいない運動えどがわ区民大会」でマイバッグコンテストを実施予定している。来場者の投票により、入賞作品 3 点を決定する。作品および開催の様子をホームページに掲載する。

【作品募集】

① 作品募集期間

平成 22 年 8 月 10 日(火)～9 月 22 日(水)

② 周知方法

- ・区広報紙、清掃広報紙および江戸川区ホームページに募集記事を掲載
- ・区内町会・自治会掲示板および江戸川区商店街連合会加入店でポスターを掲出
- ・区内施設、広報スタンドおよびマイバッグ運動推進店でポスターの掲出、ちらしの配布



【トピックス】 マイバッグコンテスト応募作品数 60 点

武蔵野市

平成 22 年度 マイバッグからはじまるプチエコキャンペーン

【実施主体】 武蔵野市

【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～10 月 31 日(日) ※一部 12 月 31 日(金)まで

【目的・趣旨】

大半が使い捨てになるレジ袋を削減することをきっかけに、市民自ら「不要な物はもらわない、買わない」という意識を持ち環境に配慮した行動をとるようライフスタイルそのものが変化することで、ごみ全体の減量につなげる。

【協力団体】 武蔵野市ごみ減量協議会、武蔵野市消費者運動連絡会、クリーンむさしのを推進する会、武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会、吉祥寺活性化協議会、武蔵野市薬剤師会、小田急バス、関東バス

【主な活動内容】

① ポスター等掲示による周知啓発活動

- ・告知ポスター(図1): 関東バス、小田急バスの武蔵野市内を通る路線に掲示。公共施設、薬剤師会加盟店、スーパー等に配布、掲示を依頼。
- ・啓発ポスター(図2): 吉祥寺活性化協議会を通じ、吉祥寺駅周辺の各商店会に配布、掲示を依頼。
- ・啓発ポスター中央地区用(図3): 中央地区商店連合会を通じ、中央地区の各商店会に配布、掲示を依頼。
- ・啓発ポスター境地区用(図4): 武蔵境商店会連合会を通じて境地区の各商店会に配布・掲示を依

頼。

② 横断幕の掲示

市内3駅(吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅)ロータリー、駅構内、及び武蔵境すきっぷ通りにレジ袋削減啓発横断幕を設置(図5)

③ 商店会連合会独自の取組

・中央地区商店連合会…ノーレジ袋で地域通貨「むチュー」をもらおうキャンペーン(平成22年10月～12月実施)。レジ袋を断った方にスタンプカードにハンコを1個、20個たまると地域通貨50むチュー(50円相当)と交換する。

※中央地区商店連合会加盟店30店が参加

・武蔵境商店会連合会…エコキャンペーン。キャンペーン期間中レジ袋を断った方にファミリースタンプを進呈

④ スーパー店頭キャンペーン

市内スーパー各社の店頭にてレジ袋削減のキャンペーンを行った。キャンペーン実施内容及び参加人数については表1の通り。

**マイバッグからはじめる
プチ 2010年10月
エコキャンペーン**

買い物にはマイバッグを持参して
レジ袋をもらわないようにする
たったそれだけで…

ごみが減る！
CO2が減る！
いらぬものは
もらわない！
ライフスタイルを
かえていこう！

**ノーレジ袋で
地域通貨「むチュー」を
もらおうキャンペーン
中央地区商連**
レジ袋をこことわった方
にハンコを1コ。20コで
地域通貨50むチューと
交換！10月～12月

プチエコ抽選会
レジ袋をこことわった方にお買い物券、
エコ商品などが当たります。

**キャンペーン
期間中
グリーン
スタンプ2倍**

**境商連
エコキャンペーン**
キャンペーン期間中
レジ袋をこことわった方に
ファミリースタンプを
進呈します。

店頭キャンペーン実施予定店

マルエツプチ(吉祥寺北町) 10月4日(月) 午後3時～5時	ビッグ・エー(吉祥寺南町) 10月18日(月) 午後3時～5時
東急ストア(中町) 10月5日(火) 午後3時～6時	紀ノ国屋(吉祥寺本町) 10月19日(火) 午前10時～12時
エコスタいらいや(境) 10月6日(水) 午後3時～5時	コープとうきょう(中町) 10月19日(火) 午後3時～5時
ライフ(吉祥寺南町) 10月12日(火) 午後3時～5時	キッチンコート(中町) 10月21日(木) 午後3時～5時
いなげや武蔵野西久保店(西久保) 10月13日(水) 午後3時～5時	サミットストア(緑町) 10月25日(月) 午後3時～5時
いなげや武蔵野関前店(関前) 10月14日(木) 午後3時～5時	アトレ(吉祥寺南町) 10月26日(火) 午後3時～5時
ina21武蔵野桜塚店(境) 10月15日(金) 午後3時～5時	西友吉祥寺店(吉祥寺本町) 10月27日(水) 午後1時～4時
	イトーヨーカドー(境南町) 10月28日(木) 午後3時～5時

武蔵野市ごみ減量協議会
武蔵野市消費者運動連絡会
クリーンむさしの会推進する会
武蔵野農工会事務所
武蔵野市商店会連合会
吉祥寺活性化協議会
武蔵野市
協力 小田急バス 関東バス

「もらわない」という「エコ」
MuSashino

図1 告知ポスター



図2 啓発ポスター



図3 啓発ポスター中央地区用



図4 啓発ポスター境地区用



図5 三鷹駅ロータリー
プチエコキャンペーン啓発横断幕

表1 スーパー店頭キャンペーン実施状況

場所	日時	キャンペーン内容	参加者
マルエツプチ(北町)	4日(月)3～5時	パネルアンケート	64名
東急ストア(中町)	5日(火)3～5時	パネルアンケート	105名
エコス(境)	6日(水)3～5時	パネルアンケート	67名
グルメシティ(境南町)	8日(金)10～6時	プチエコ抽選会	318名
ライフ(吉祥寺南町)	12日(火)3～5時	パネルアンケート	105名
いなげや西久保店	13日(水)3～5時	パネルアンケート	109名
いなげや関前店	14日(木)3～5時	パネルアンケート	95名
ina21 桜堤店	15日(金)3～5時	パネルアンケート	152名
ビッグエー(吉祥寺南町)	18日(月)3～5時	パネルアンケート	83名
紀ノ国屋(吉祥寺本町)	19日(火)10～12時	パネルアンケート	26名
コープとうきょう(中町)	19日(火)3～5時	パネルアンケート	76名
京王ストア(緑町)	20日(水)10～6時	プチエコ抽選会	689名
キッチンコート(中町)	21日(木)3～5時	パネルアンケート	102名
サミット(緑町)	25日(月)3～5時	パネルアンケート	180名
アトレ(吉祥寺南町)	26日(火)3～5時	パネルアンケート	169名
西友(吉祥寺本町)	27日(水)1～4時	マイバッグをつくろう	295名
イトーヨーカドー(境南町)	28日(木)3～5時	パネルアンケート	88名
パネルアンケート 参加者合計(1店舗あたり参加者平均)			1,421名(101.5名)
抽選会・マイバッグをつくろう 参加者合計(1店舗あたり参加者平均)			1,302名(434名)
参加者 総合計(1店舗あたり参加者平均)			2,723名(160.1名)

町田市 「すきだ・まちだ・りゅーすだ」キャンペーン

【実施主体】

・びん再使用ネットワーク

(パルシステム生活協同組合連合会、東都生活協同組合、生活クラブ生活協同組合・東京)

・「すきだ・まちだ・りゅーすだ」キャンペーン実行委員会

(町田市商店会連合会、まちだ R びんの普及・拡大を進める会、びん再使用ネットワーク、他、町田 市内の大学生、市民の皆様)

【実施期間】 平成 22 年 10 月 3 日(日)～10 月 31 日(日)

【目的・趣旨】

リユースの大切さを、私たちの街、町田でもっと広めたいという願いを込めて、キャンペーンを開催しました。キャンペーン期間中に市内の商店街 100 店舗でリデュースやリユースを実践していただける楽しい「仕掛け」

に参加いただき、物の命を大切にする暮らしのヒントを紹介しました。

【協力団体】

社団法人全国清涼飲料工業会、日本ガラスびん協会、ガラスびんリサイクル促進協議会、東京包装容器リサイクル協同組合、東京コカ・コーラボトリング株式会社、ブックオフコーポレーション株式会社、東京都生活会議連絡協議会、上海公司、FC 町田ゼルビア、町田酒販協同組合、株式会社高原書店、リサイクル運動推進事業協会、商店街の皆さん、町田市(後援)

【主な活動内容】

○10月3日(日) 町田ごみフェスタ

- ・キャンペーンスタート PR
- ・リユースびん入り清涼飲料水の試飲会

○10月5日(火) ぽっぽ町田・リユースイベント

- ・レジ袋減らし隊の PR
- ・リユースびん入り清涼飲料水の試飲会
- ・リユース食器による食品販売
- ・FC 町田ゼルビアとブックオフのエコパートナー活動紹介

○10月24日(日) ターミナルプラザ・リユースイベント

- ・町田市商店会連合会による「エコ宣言」
 - ・古本市
 - ・フリーマーケット
-

【トピックス】

11月7日(日) 町田市民フォーラム・リユースイベント

- ・リユースの取り組み報告会
- ・リユース漫才
- ・ピン笛コンサート



キャンペーンポスター・チラシ・のぼりを各商店街、小中学校、公共施設に設置

日野市

容器包装お返し大作戦 ～容器包装 断る・返すでごみ減量～

【実施主体】 日野市

【実施期間】 平成22年4月から(回収回数減の開始)

【目的・趣旨】

ペットボトル・トレイ等の資源物を、買ったお店の回収ボックスに返すことによって、拡大生産者責任を機能させ、容器包装の削減を目指す。

【協力団体】 市民団体・市内スーパーマーケット

【主な活動内容】

- ① 広報誌、ごみ情報誌、スーパー店頭等での啓発活動
- ② 市・市民団体・事業者3者による共同会議の開催



国立市

「レジ袋NOデー」キャンペーン

【実施主体】 国立市生活環境部ごみ減量課

【実施期間】 10 月を強化月間として呼びかけ、キャンペーン自体は 10 月 5 日の 1 日のみ実施

【目的・趣旨】 マイバッグ持参を呼びかけ、レジ袋の使用量を減少させる。

【協力団体】 国立市廃棄物減量等推進員、国立市商工会、国立市消費者団体連絡会

【主な活動内容】

- ① 「レジ袋NOデー」キャンペーン実施を市報に掲載。
- ② 市内スーパー、商工会加盟店、ごみ減量協力店にポスターの掲示を依頼。
- ③ 自治会等へキャンペーン実施の回覧文書を送付。
- ④ ごみ収集車両でのテープ広報及び車両の前面に「レジ袋NOデーキャンペーン」マスクを設置。
- ⑤ 市内スーパーの店内放送で広報。
- ⑥ キャンペーン当日は市内スーパー9ヶ所の店頭で協力団体と啓発グッズ(ポケットティッシュ)を配布し、マイバッグ持参を呼びかける。

【トピックス】

イベントに一橋大学の学生が参加し、マイバッグ持参の呼びかけを一緒に行った他、マイバッグ持参率の調査等も行った。

清瀬市

環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】 清瀬市清瀬商工会

【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～30 日(土)

【目的・趣旨】

マイバッグを持参する、過剰包装を避ける、詰め替え商品を選ぶ等の行動が、ごみの減量化につながるように、日常の買い物と環境問題は密接に関係しています。

このため、市では3R(リデュース・リユース・リサイクル)月間の10月に「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施し、買い物における3R行動の実践を呼びかけます。

【協力団体】 清瀬商工会

【主な活動内容】

清瀬商工会の会員の方々が、市民の皆さまに対して次のような呼びかけ等を実施しました。

① ノーレジ袋・マイバッグ推進運動月間

ごみの減量対策の一環として「マイバッグ」を持参することにより、レジ袋や包装の抑制を図るとともに、市民の環境意識の高揚を図ることを目的とする。

② 「マイバッグ持参運動」から始める3R推進宣言事業所

消費者にマイバッグの持参を促すなどライフスタイルの転換の契機を作り、ごみとなる物を作らない、売らないようにする事業所です。

※ 各事業所にポスターを掲示しています。

【トピックス】

○ ポスターについて

商工会の会員にポスター作成を依頼し、「キャンペーン」に対して理解と協力を求め、連携して市民への普及啓発に取り組みを実施する事が出来ました。

武蔵村山市

マイバッグキャンペーン 環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】 武蔵村山市

【実施期間】 平成 22 年 10 月 1 日(金)～31 日(日)

【目的・趣旨】

環境省では、10 月をリデュース・リユース・リサイクル推進月間(略称:3R 推進月間)と定めており、期間中、環境省を含む3R 関係各府省、地方公共団体、関係団体で3R 活動に関する様々な取組、行事が行われる。

当市もこの3R 推進月間に「マイバッグキャンペーン」を実施し、レジ袋削減及び買物時のマイバッグの持参に対する市民意識の啓発及び高揚を図ることを目的とする。

【協力団体】 市内協力店舗、公共施設

【主な活動内容】

- ① 市内の協力店舗(47 店舗)、公共施設(8 施設)にポスターの掲示依頼をした。また、市民まつり会場にポスターを掲示した。
 - ② 10 月 31 日の市民まつりにて、買物時のマイバッグ持参を来場者に呼びかけ、啓発用ティッシュペーパーを配布した。配布個数 1,500 個
 - ③ マイバッグキャンペーンの目的及び実施について、事前に市報、ホームページにより市民に周知した。
-

2.13 神奈川県

【キャンペーン名】マイバッグ・キャンペーン

【実施主体】神奈川県

【実施期間】通年

【目的・趣旨】

日常生活の中で誰もが簡単にできるレジ袋の削減を実践することにより、CO2 や廃棄物を削減するとともに、「環境にやさしい生活スタイル」の実現を図るため、マイバッグ持参等によるレジ袋の削減を広く県民の皆さんに呼びかける。

【協力団体】

神奈川県レジ袋削減実行委員会

（「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」への賛同者
平成 22 年 12 月 1 日現在、158 社・団体 958 店舗の事業者、消費者団体、企業、大学、市町村）

【主な活動内容】

（1）広報啓発活動・マスコミ取材等状況

- ・ 県庁新庁舎前 電光掲示板による呼びかけ
- ・ 海外向け英文広報サイト「カナガワ・アップデート」掲載（4月）
- ・ 神奈川新聞掲載「県宣言に基づくレジ袋削減推進モデル地域の指定」（5月）
- ・ 日本経済新聞掲載「県内におけるレジ袋削減の取組」（5月）
- ・ 読売新聞「レジ袋削減にかかる県民意識調査の結果」（5月）
- ・ 神奈川新聞掲載「エコをテーマにしたイベント‘秋じゃないけど収穫祭’」（6月）
- ・ (株)サークルKサンクスの県内全店舗で「レジ袋削減ポスター」を掲出（6月）
- ・ かながわの環境出前講座「藤沢市明治地区生活環境協議会」（6月）
- ・ 県新庁舎1階ロビー展示コーナーに「レジ袋削減等の3R推進」パネル展示（6月）
- ・ 県第二分庁舎1階展示コーナーに「レジ袋削減の取組み」パネル展示（7月）
- ・ 県環境保全協議会（会員企業約 400）の会員向け広報誌「しんかんきょう7月号」に掲載
- ・ 神奈川新聞/東京新聞/読売新聞/日本経済新聞掲載「09 年度レジ袋削減の活動実績・効果データ」（7月）
- ・ 「3R環境学習・家電製品リサイクル施設見学会」参加者の親子へ呼びかけ（8月）
- ・ 各世帯に配布される「県のたより10月号」に掲載（10月）
- ・ ラジオFMヨコハマ「KANAGAWA Muffin」で放送（10月）
- ・ 県老人クラブ連合会（発行部数 11 万部）の会員向け広報誌「ゆめクラブ情報ファイル10月号」に掲載
- ・ 県新庁舎1階ロビー展示コーナーに「レジ袋削減の取組み」パネル展示（10月）
- ・ 県第二分庁舎1階展示コーナーに「レジ袋削減等の3R推進」パネル展示（10月）

(2) イベント等における啓発活動

レジ袋削減の必要性などの認知度向上、マイバッグを持参する県民の増加及びレジ袋使用枚数の削減へ向け、「PRキャラバン隊(6人一組を2チーム)」を結成し、約6ヶ月間にわたり「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」に賛同された県内のスーパー等の店頭や県内各地の人通りが多い場所 320 カ所で、マイバッグ持参、マイバッグを利用したお買い物マナーの呼びかけ、県民アンケート等を実施。



キャラバン隊による啓発活動(店頭)



アンケート実施(イベント会場)



ステッカー

【21年度のレジ袋削減効果】

「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」賛同者のうち、スーパーなどレジ

袋を配布している 39 社 685 店舗の最終報告データを基に算定。

- ・ レジ袋辞退率: 35.9% (推計値)
- ・ レジ袋削減枚数: 220,009,721 枚 (推計値)
- ・ CO2削減量: 13,200.6 トン (推計値)
- ・ 廃棄物削減量: 2,200.1 トン (推計値)
- ・ 原油削減量: 3,029.6 キロリットル (推計値)

【連絡先】

神奈川県環境農政局環境部資源循環課リサイクルグループ 有吉

2.14 新潟県	【キャンペーン名】平成22年度 3Rキャンペーン
	【実施主体】新潟県・環境にやさしい買い物運動実行委員会
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日(※一部地域は、11月も実施)

【目的・趣旨】

ごみ減量化を推進し、環境負荷を軽減するため、消費者・消費者団体・事業者・マスコミ・行政が一体となり、一人一人が「買い物」段階から生活を見直し、環境にやさしいライフスタイルの定着を図る。

【協力団体】（街頭アンケート実施団体）38 団体

消費者協会(25)、生活学校(6)、環境・まちづくり系市民団体等(7)

【主な活動内容】

- (1) 対面調査によるマイバッグ持参についての街頭アンケート
- (2) 出口調査でのマイバッグ持参率の確認
- (3) PRイベントの開催によるキャンペーン月間のアピール

(1) ○ アンケート数の年推移

年度	実施団体数	実施箇所数	アンケート数
H14	23	50	6,765
H15	30	61	7,566
H16	25	52	4,300
H17	50	100	10,142
H18	48	85	9,012
H19	52	110	9,380
H20	49	101	8,978
H21	40	73	6,743
H22	38	60	5,527

○ マイバッグ持参率の年推移

平成22年度分は集計中

- * 啓発を兼ねた対面調査のアンケートのため、回答に協力する人もマイバッグ持参の意識が高い人が多く、持参率が高くなる傾向がある。

○ 出口調査による持参率(声をかけずに、外見から判断したもの。)

平成22年度分は集計中

- * 従来の対面調査のアンケートでは、レジ袋利用者が回答を避け、マイバッグ持参率結果と実感が合わないため、20年度から出口調査による持参率も調査している。

(2) PRイベントの開催

日 時 平成 22 年 10 月 30 日(土) 午後1時～午後2時 30 分

会 場 新潟ふるさと村 (新潟市西区)

主な内容 ・ 出前講座講師による環境にやさしい取組の紹介・啓発、
「3Rクイズ」参加者に地元テレビ局との共催で実施した「第3回マイバッグデザインコンテスト」の入賞作品をデザインしたマイバッグをプレゼント。

(参加者 190 人)

・ 運動の取組を紹介したパネル展示・啓発資料の配付

※ 同時に、県廃棄物対策課が実施する「レジ袋削減県民運動」の個人宣言の受付を行った。



PRイベント



対面アンケート

【まとめ】

21年度の対面調査でのマイバッグ持参率では、「いつも持参する」人が50%を超え、出口調査による持参率も20年度から10%近く向上して40.4%となり、マイバッグを持参しての買い物は着実に定着している。

【連絡先】

環境にやさしい買い物運動実行委員会事務局

(新潟県県民生活・環境部消費者行政課内) 鈴木(聡)

2.15 富山県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】富山県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

消費者、事業者、行政等が連携を深め、消費者一人ひとりが環境とのかかわりを深く認識し、環境に配慮した生活・経済活動を実践する契機とするため。

【主な活動内容】

- ① 県のHPに「環境にやさしい買い物キャンペーン」について記載し、県民へ環境にやさしい買い物を呼びかけた。（別紙1）
- ② 県の広報誌「くらしの情報とやま 10・11月号」に「環境にやさしい買い物キャンペーン」について記載し、県民へ環境にやさしい買い物を呼びかけた。（別紙2）

（別紙1）

富山県
English | 中文 | 韓国 | Русский | Portugues

ホーム 富山県の魅力・観光 くらし・健康・教育 産業・しごと 県土づくり 県政の情報 組織から探す

キーワード検索 検索 富山県のウェブサイト ウェブ全体 Google+ サイトマップ よくある質問

ホーム > 経済部内 > 生活環境文化部 県民生活課 > 環境にやさしい買い物キャンペーンについて

環境にやさしい買い物キャンペーンについて

最終更新日: 2010年10月22日

マイバッグを持参する、過剰包装を避ける、詰め替え商品を選ぶ等の行動がごみの減量化につながるように、日常の買い物と環境問題と密接に関連しています。このため、環境に配慮した生活・経済活動の促進を目的として、10月の3R（リデュース・リユース・リサイクル）月間に、環境省、経済産業省、3R活動推進フォーラムと全国の都道府県が共同で「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施し、「買い物」における3R行動の実践を呼びかけています。

環境に配慮したライフスタイルの実践として、私たち一人ひとりが日常の買い物に際し、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の購入など、身近なことから始めてみましょう。

コマメに買い物袋を持ち歩きましょう。

包装はできるだけ少ないものを選びましょう。

長く使えるものを選びましょう。

容器は再使用できるものを選びましょう。

資源やエネルギーを浪費しないものを選びましょう。

再生品を選びましょう。

【情報発信元】
生活環境文化部 県民生活課 消費生活班 電話: 076-444-3129 【お問い合わせフォーム】

くらしの情報



とやま

2010.10.1
10・11
月号
No.143

トピックス P2 10月は富山県消費者月間です！

発行／富山県生活環境文化部県民生活課・富山県消費生活センター http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1711/index.html

環境にやさしい買い物キャンペーン 平成22年10月1日～10月31日

「環境にやさしい買い物キャンペーン」は、私たち一人ひとりが日常の買い物をとおして、環境に配慮したライフスタイルを実践していくことを目的としています。マイバックの持参、環境に配慮した商品の購入など、身近なことからはじめてみませんか？



コマメに買い物袋を持ち歩きましょう。



容器は再使用できるものを選びましょう。



資源やエネルギーを浪費しないものを選びましょう。

【連絡先】

富山県生活環境文化部県民生活課 林

2. 16 石川県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】石川県、市町

【実施期間】平成22年6月1日～30日/10月1日～31日

【目的・趣旨】

マイバッグ持参の呼びかけをはじめとして、環境配慮型商品の購入、簡易包装等を心がけることによって、「買い物」という身近なところから環境に配慮した生活・経済活動を促進し、廃棄物等の排出抑制や省資源・省エネルギーの意識を啓発する。

【協力団体】

(社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議
石川県婦人団体連合会、石川県くらしと環境を考える会、
石川県新生活運動協議会、石川県生活学校連絡会

【主な活動内容】

①マイバッグ持参推進に関する活動

10月1日に、県内全市町において、県、市町、関係団体の連携により、マイバッグ持参推進の街頭キャンペーン等を実施

②主な地域イベントの開催

＜金沢市＞

- ・店頭イベント(6月、10月)計4回 市内ショッピングセンター
風呂敷の包み方講座、買い物クイズ、環境情報の提供など
- ・かなざわエコフェスタ(10月) 金沢市民芸術村
パネル展示、アンケートの実施など

③広報活動の実施

＜加賀市＞

環境啓発イベントにおいて、かが市民環境会議と連携、のぼり旗の掲示や啓発用ティッシュを配布

＜能美市＞

能美市民ボランティアフェスティバル会場において、能美市民環境ネットワーク及び能美市社会福祉協議会と連携し、マイバッグ持参を周知

＜金沢市＞

- ・市内店舗等において、金沢市校下婦人会連絡協議会と連携し、買い物マナーの呼びかけや啓発用ポスターを掲示
- ・環境にやさしい買い物の仕方に関するパネルを市役所に掲示

＜輪島市＞

シルバーフェア会場において、マイバッグ持参の取組を説明

＜珠洲市＞

すず農林漁業まつり会場において、保育所園児とともに啓発チラシや啓発用ティッシュを配布

【トピックス】

3R推進月間の初日である10月1日に、県、市町、関係団体の連携のもと、県内全19市町においてマイバッグ持参推進のため、街頭キャンペーン等を実施した。

県、市町名	会 場
石川県	金沢駅東広場
金沢市	コープたまぼこ
七尾市	ベイモール
小松市	古紙リサイクルステーション
輪島市	ふらっと訪夢
珠洲市	珠洲市総合病院
加賀市	加賀市役所ロビー
羽咋市	羽咋市役所正面玄関前
かほく市	イオンかほくショッピングセンター
白山市	アピタ松任店、ジャスコ松任店
能美市	チューリップ辰口店
川北町	川北町役場
野々市町	JR野々市町駅、北鉄太平寺バス停、 野々市中央バス停
津幡町	クスリのアオキ津幡店
内灘町	東京ストア内灘店、チューリップ内灘店
志賀町	志賀町役場玄関ホール
宝達志水町	Aコープしお
中能登町	アルプラザ鹿島店、どんたくエブリイ鳥屋店
穴水町	どんたく穴水店
能登町	かくたストア

【写真】



かなざわエコフェスタ(金沢市)



風呂敷の包み方教室(金沢市)



マイバッグキャンペーン(白山市)



マイバッグキャンペーン(珠洲市)



マイバッグキャンペーン（石川県）

【連絡先】

石川県環境部地球温暖化対策室 井上 晃宏

2.17 福井県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】福井県、環境ふくい推進協議会

【実施期間】平成22年10月17日(日)

【目的・趣旨】

3R推進に関する理解と協力を求め、循環型社会の形成に向けた取組を推進するため、「3R推進メッセージ」の表彰・展示および「古本市」を行い、県民の3R・ごみ減量化・リサイクル促進等に関する意識の向上を図る。

【主な活動内容】

① 3R推進メッセージ優秀作品表彰式

6月から9月にかけて募集したごみ減量・リサイクルに関する絵葉書および標語の優秀作品について表彰。

② 3R推進メッセージ優秀作品の展示

上記「3R推進メッセージ」の優秀作品を展示(食べ残しの減量・ものを大切にする等)。

③ 古本市」の開催

県民一人ひとりが「ものを大切にする」意識をもち、大切な資源を有効に活用するライフスタイルに結びつくよう、大切にしてきた「本」を「欲しい人に譲る」ため「古本市」を開催。

【写真等】



「3R推進メッセージ」優秀作品表彰式



「3R 推進メッセージ」優秀作品の展示



「古本市」の開催

【連絡先】

福井県安全環境部循環社会推進課 資源循環グループ 三好

2.18 山梨県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】山梨県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

循環型社会を形成するためには、県民一人ひとりが循環型社会の担い手であることを自覚し、環境に配慮した生活・経済活動の促進を目的として、資源の有効利用に配慮した商品選択や過剰包装を避ける等の行動を実践することが重要である。

このため、消費者、事業者、行政等が連携して「環境にやさしい買い物」を推進し、環境に配慮した消費行動を促すことにより循環型社会の形成を図る。

【協力団体】山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会

【主な活動内容】

■重点項目 マイバッグ利用推進キャンペーン(買い物袋持参運動)

消費者、事業者、行政等が連携し重点項目を中心に「環境にやさしい買い物」の啓発を行った。

- (1)小瀬スポーツ公園において、ヴァンフォーレ甲府の試合前にマイバッグ利用推進キャンペーンを実施し、来場者に携帯用マイバッグと啓発用チラシを配付してマイバッグ持参等を呼びかけた。
- (2)テレビ、ラジオでの広報により、消費者に対してマイバッグ持参等を呼びかけた。
- (3)事業者及び市町村に対する啓発用チラシ配布等により、キャンペーンへの協力を依頼した。
- (4)職員に対してマイバッグ持参等を呼びかけた。

■参加要請店舗等 595箇所 ※(5)(6)は、環境省からの参加要請

- (1)やまなしエコライフ県民運動マイバッグ推進店(456)
- (2)その他小売店舗(99)
- (3)消費者団体、商工団体(13)
- (4)各市町村(27)
- (5)日本百貨店協会加盟店
- (6)(社)日本フランチャイズチェーン協会加盟店

■ 啓発用チラシ



■ マイバッグ利用推進キャンペーンの様子



【連絡先】

山梨県森林環境部環境創造課地球温暖化対策担当 畑山ゆかり

2. 19 長野県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】信州豊かな環境づくり県民会議・長野県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築を目指し、県民一人ひとりの環境配慮意識の向上と実践活動を促進するため、環境にやさしい買い物の普及啓発を図る。

【協力団体】

参加事業者 1, 350店舗

消費者団体等 30団体

【主な活動内容】

ア 懸賞の実施

消費者の関心を高め実践行動を促進するため、環境ラベルを集めて応募すると抽選で賞品が当たる懸賞を実施。

イ アンケート調査の実施

消費者の環境配慮意識を把握し今後の展開に活かすため、キャンペーン参加店舗の店頭等において全県統一のアンケート調査を実施。

ウ 「スーパー エコ探検」の実施

次世代を担う子ども達が日常生活と環境問題とのつながりに気づき、環境のことを考えて自ら行動する力を育むため、参加店舗内において環境配慮型商品や店舗の環境配慮の取り組み等について学習する「スーパー エコ探検」を実施。



＜啓発活動＞

ア 参加事業者及び消費者団体等

- 参加事業者
 - ① キャンペーンポスターの掲示及びチラシの設置
 - ② 各店舗の創意工夫による消費者への呼びかけ
- 消費者団体等
 - ① 全県統一アンケート調査の実施
 - ② 各団体の創意工夫による啓発活動
 - ③ 「スーパー エコ探検」の実施

イ 広報

- ホームページへの掲載 <http://www.pref.nagano.jp/kankyo/kansei/kaimono/>
- ラジオ番組放送(SBC、FM長野、有線放送)
- 市町村広報誌、地域情報誌等への掲載
- 県内市町村の消費生活展等でのチラシ等の配布



＜懸賞の実施結果について＞

【応募方法】 指定の環境ラベルの付いた商品を購入して当該ラベルを切り取り、

応募はがきまたは官製はがきに5点貼付し、必要事項を記入して応募する。

【賞品】 「MOTTAINAI マイボトル」80本

【当選者の決定】 パソコンを使用して当選番号を無作為に選択することにより抽選

【発表】 当選者に直接、当選通知及び賞品を送付

【応募総数】 285通



<スーパー エコ探検の実施結果について>

(1) 目的

子ども達を中心に、キャンペーン参加店舗において環境配慮型商品や店舗の環境保全への取り組みについて学習することにより、「買い物」という身近な消費活動が環境保全活動につながることに気づき、環境のことを考えて自ら行動する力を育む。

(2) 実施方法

主催者が用意したプログラムにより、キャンペーン参加消費者団体、こどもエコクラブ等が企画し実施。(内容:環境ラベル商品やゴミの出ない工夫をしている商品探し、野菜等の生産地調べ、お店のマイバッグの取組調べ、資源回収ボックス調べ、お客さんへのインタビュー等)



(3) 実施団体

団体名	実施日時	参加人数	実施場所
こどもエコクラブ めだかの学校	10月16日	11名	ツルヤ長野南店
ガールスカウト長野県第1団	10月17日	7名	マツヤ須坂西店
長野市立昭和小学校4年生	11月2日	137名	Aコープ稲里店

その他「こどもエコクラブ安曇野キッズ」「こどもエコクラブみんなの地球クラブ」なども実施



(4) 参加者の感想(主なもの)

- ・色々な食べ物がゴミの出ない工夫をされていることがわかった。
- ・エコマークにもいろいろなものがあることがわかった。
- ・世界にもエコマークがあることがわかった。
- ・エコを目指して自分にもできることを考えた。



<統一アンケート調査の結果について>

(1) 調査の趣旨

環境にやさしい買い物キャンペーンの一環として、消費者の買い物行動における環境配慮の状況や意識を把握し今後の展開に生かすため、消費者団体のご協力のもと、全県統一項目によりアンケート調査を実施する。

(2) 調査実施方法

ア 調査対象 期間中にキャンペーン参加店等に来店した県民(1,724名)

イ 調査方法 インタビュー方式

ウ 調査内容 買い物袋持参、環境ラベル、配慮していること

(3) 調査結果の概要

ア 買い物袋の持参状況

買い物袋を持参した者は72%で、年々増加している。もらったレジ袋も、次回の買い物への利用やその他再利用など有効利用が目立つ。

イ レジ袋の有料化について

「環境のために必要なことだと思う」という回答が75%を占める一方、「有料化までは必要ない」とい

う回答 15%で、前年度(12%)より増加した。

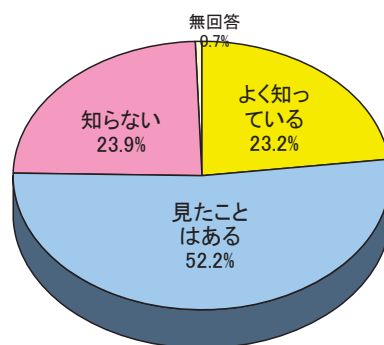
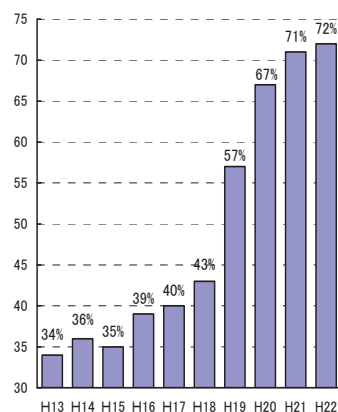
ウ 環境ラベル(マーク)の認識度

環境ラベルを知っていると回答した人は 75%で、前年度より 3%増加した。

エ 環境ラベル(マーク)付き商品の購入状況

環境ラベルを知っていると回答した人のうち、積極的に環境ラベル付き商品を購入している人は 42%で、前年度より 2%増加した。

%
買い物袋持参者の推移



【連絡先】

長野県 環境部 環境政策課 温暖化防止係 丸山佳枝

2. 20 岐阜県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【主な活動内容】

■3R推進中部地方大会

・目的・趣旨

3Rの普及・啓発するためにイベント等を開催し、参加者一人ひとりが自らのライフスタイルを見直す機会を提供することを通じ、3Rの推進に関する理解を深め、循環型社会の形成に向けた取組をより一層推進することを目的とする。

・主催者：環境省中部地方環境事務所 連携協力：岐阜県

・実施期間

平成22年10月2～3日

・主な活動内容

岐阜市内の複合商業施設において、3Rについて学んでいただくための講座・クイズや、FC岐阜の選手を招いてのトークショー、エコキャラショー、各種団体の活動展示等を行った。

またFC岐阜のホームゲームが行われる長良川競技メドウで、FC岐阜とタイアップしてリユースカップの配布による、3R啓発活動を行った。



■地球いきものEXPO in モリコロパーク ブース出展

・目的・趣旨

参加者にグリーン購入を普及・啓発する目的で、楽しみながら環境に配慮した買い物を実践できる企画等を盛り込んだブースを出展した。

・出展者

東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会
(愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市)



・実施期間

平成22年10月9, 10, 16, 17, 23, 24日

・主な活動内容

グリーン購入に関する買い物クイズ、東海三県一市グリーン購入キャンペーンの取組紹介、企業ロゴの展示を行い、グリーン購入、環境ラベルの普及・啓発等、環境にやさしい買い物の普及・啓発するブースを出展した。

■今後の事業予定

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

実施期間:平成23年 1月15日～2月14日

《取組内容》

・協力店舗内における啓発物品の掲示

ポスターやPOPを店内に掲示していただく形での普及・啓発を実施する。引き続き、「詰め替え商品」「環境ラベル商品」のPRと、それらを含めた「環境に配慮して作られた商品（「地元のもの、旬のもの」、「リサイクル商品」、「くり返し使える商品」等）を購入することが、「グリーン購入～あなたにも！地球にも！やさしいお買い物～」であることをPRする。

・その他、グリーン購入説明会の開催等。

【連絡先】

岐阜県廃棄物対策課 企画調査担当

2.21 静岡県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会
(事務局:静岡県くらし・環境部廃棄物リサイクル課)

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

県民、事業者、行政が一体となって、「環境にやさしい買い物」を推進することによって、限りある資源を有効利用し、もって循環型社会の形成を推進することを目的とする。

【協力団体】

静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会構成団体(消費者団体、事業者団体、行政等)、各市町、その他事業者等(参加店舗等の数:2,840)

【主な活動内容】

下表の取組内容について、各参加者等が取組を行う。また、キャンペーンに参加する事業者は、実施期間中、キャンペーン用ポスターを店頭など県民が見やすい場所に掲示を行う。

区 分	取 組 内 容
容器・包装使用の抑制	① 買い物袋(マイバッグ)の持参及び「お買い物ルール(※)」の徹底
	② 包装の簡素化
環境配慮型商品の普及拡大	③ 詰め替え品(シャンプー、リンス、洗剤等)
	④ エコマーク、グリーンマークなどの環境ラベルのついた商品
	⑤ はかり売りによる商品

(※)マイバッグはレジを通すまで開かない等、マイバッグを使用する上で守るべきルール

<H22 年度配布ポスター>



【取組内容の例】

○県広報ラジオ番組「こんにちは県庁です」

放映日:10月4日(木)

テーマ:3R推進月間

○しずおか環境・森林フェアでのマイボトル展示

開催期間:10月30日(土)～31日(日)

展示内容:オシャレにマイボトルをテーマに、メーカーから提供された断熱性ステンレスボトル56本を展示

【連絡先】

くらし・環境部 環境局

廃棄物リサイクル課 資源循環班

2.22 愛知県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【主な活動内容】

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

身近で日常的な「買い物」において、マイバッグの持参、環境配慮型商品の購入等を実践することで、環境に配慮したライフスタイルの確立と持続可能な社会経済システムの構築を目指す。

■ 実施主体 愛知県

■ 実施期間 平成 22 年 10 月 1 日(金)から 10 月 31 日(日)まで

■ 主な活動内容

- ・ 消費者団体及び市町村へポスターの掲示を依頼
- ・ 愛知県環境部ホームページでの広報(取組例の紹介等)
- ・ 愛知県環境情報紙「環境かわら版」(平成 22 年 10 月号)での広報

「地球いきもの EXPO in モリコロパーク」(※)ブース出展

■ 目的・趣旨

環境負荷ができる限り少ない商品やサービスを優先して購入する「グリーン購入」と生物多様性を関連づけながら紹介し、クイズを通して身近な取組として体験することで、環境に配慮した消費生活の定着を図る。

■ 実施主体

東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会

〔 愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、日本チェーンストア協会中部支部、グリーン購入ネットワーク(GPN)、財団法人日本環境協会エコマーク事務局 〕

■ 実施期間

平成 22 年 10 月 9 日(土)、10 日(日)、16 日(土)、17 日(日)、23 日(土)、24 日(日) (計 6 日間)

■ 協力団体

東海三県一市グリーン購入キャンペーン参加企業、団体等

■ 主な展示内容

- ・ 協賛企業、団体による環境配慮型商品及び取組の紹介、協力企業等のロゴの紹介
- ・ リサイクルされた商品、詰替商品、環境ラベル商品の選択、地産地消をテーマとしたクイズ形式の買い物ゲームの実施
- ・ 参加者へ環境配慮型商品サンプルの配布
- ・ 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」の活動紹介



ブースの様子(写真左・下)



ブースへの来場者には、1人1枚シールを貼っていただき、6日間で2,000名を超える方が参加、3本の木が完成しました。



※ 「地球いきもの EXPO in モリコロパーク」とは

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催に併せて、楽しみながら生物多様性の大切さを体感し、行動につなげるため、ステージイベント、ブース出展、ナチュラスロン(ジョギング大会)など様々なプログラムを実施。

日程:平成22年10月9日(土)から29日(金)までの土、日曜日(計6日間)

場所:愛・地球博記念公園(モリコロパーク)

主催:生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)支援実行委員会

～今後の予定～

平成22年度東海三県一市グリーン購入キャンペーン

■ 実施主体

東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会

■ 実施期間

平成23年1月15日(土)から2月14日(月)まで

■ 主な活動内容

- ・ 参加店舗におけるポスター等啓発物品の掲示
- ・ 環境ラベル商品又は詰替商品を購入した方を対象とする懸賞応募
- ・ 環境学習会等参加店舗のオリジナル企画

【連絡先】

愛知県環境部環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ

2.23 京都府

【キャンペーン名】 買い物でエコ！キャンペーン2010

【実施主体】 京都府、京都グリーン購入ネットワーク等自治体、事業者、NPO等により実施

【実施期間】 平成22年10月1日～12月31日

【目的・趣旨】

京都府民・事業者に、買い物袋の持参やごみの発生の少ない製品の選択を呼びかけることによる、ごみの減量やグリーン購入の普及に向けた啓発を実施し、持続可能な循環型社会の形成をめざす。

【主な活動内容】

(1) キャンペーンの実施

グリーン購入の普及に向けた啓発キャンペーンの実施

(2) 研修等の開催

自治体等の担当者がグリーン購入の取組事例等を通じて実践方法を学ぶことのできる研修の開催

■取組事例

京都市内スーパーや京都環境フェスティバルにおいて、「買い物でエコ！キャンペーン」の呼びかけを行い、「マイバッグの持参」などエコな買い物のコツを照会するとともに、来場者へのアンケートを実施した。

・市内スーパーでキャンペーン

「コープにしがも」 11月5日(金) 「イズミヤ白梅町店」 11月6日(土)

・京都環境フェスティバル

京都パルスプラザ 12月11日(土)・12日(日)

【写真等】

●京都環境フェスティバル



●京都市内スーパーでのキャンペーン



●啓発チラシ・アンケート

京都にグリーン市場をつくろう！
グリーン購入キャンペーン
[10/1(金) ▶ 12/31(金)]
京都市内一斉実施！

買い物でエコ！宣言

「買い物でエコ！宣言」

☐ にチェック ☒ を入れて、これからの取り組みに対する宣言を、キャンペーン事務局に FAX またはメールにてお送りください。ウェブサイトからも送れます。皆さんから送られた宣言を集め、二酸化炭素の削減効果を計算します。(昨年度の実績：ペットボトル約 7,222 万本に相当する年間約 67 トンを削減)

アクション 1 これからはごみの発生が少ない商品を選ぶ
(つめかえ容器、何度も使うリターナブル容器)

☐ 1. いつもそうする
☐ 2. なるべくそうする
☐ 3. 時々する

アクション 2 これからは地元産・旬の食材を選んでエネルギーを節約

☐ 1. いつもそうする
☐ 2. なるべくそうする
☐ 3. 時々する

アクション 3 これからは省エネ製品を選ぶ
(電球、家電製品、自動車など)

☐ 1. いつもそうする
☐ 2. なるべくそうする
☐ 3. 時々する

アクション 4 これからは買い物袋を持参しレジ袋をもらわない

☐ 1. いつもそうする
☐ 2. なるべくそうする
☐ 3. 時々する

エコ宣言を送っていただくと、希望される方には、エコな商品を抽選で差し上げます。

A (4人)	B (2人)	C (10人)	D (5人)	E (5人)
京都府産のお米 5kg 協賛：京都中央農業協同組合	サントリー プレミアム・モルツ 中びん1ケース 協賛：サントリー酒造株式会社 京都ビール工場	本物の地みでつくった 高山産米 100% グリーン宇治茶(煎茶) 1袋 協賛：NPO法人南山城村 茶 ECO プロジェクト	トイレトペーパー KYOTO ODOOR 85g10ロール入り 8ロール入り 協賛：京都生活協同組合	LED 電球 60w 相当 1個 協賛：パナソニック (株)

●上記のプレゼントを希望する方は以下にもご記入ください。抽籤結果は希望者への抽籤の場面にのみ使用します。

姓 氏 名 _____ ふりがな _____ お名前 _____

TEL () _____ FAX () _____ E-mail _____

宛 先 TEL/FAX 075-241-4664 E-mail kaimonodeeco@k-gpn.org
(明立社) 郵送 京都グリーン購入ネットワーク事務局 〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下る民家ビル3階 NPO 法人環境市民内

GPN  主催：京都グリーン購入ネットワーク 共催：京都市ごみ減量推進会議
京都グリーン購入ネットワークは、京都市内に環境配慮型の市場をつくることを目的とした、企業、自治体、NPO、個人からなるネットワーク組織です。

【連絡先】

京都府文化環境部循環型社会推進課 循環・リサイクル担当 芝田

2. 24 大阪府

【キャンペーン名】平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」及び「NO！！レジ袋デー(マイバッグキャンペーン)」

【実施主体】豊かな環境づくり大阪府民会議・大阪府リサイクル社会推進会議・大阪府

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日(!!NO!!レジ袋デーは10月5日)

【目的・趣旨】

「環境にやさしい買い物キャンペーン」については、普段よりグリーン購入に関する取り組みを実施されている場合もありますが、特にこのキャンペーン期間において、皆様のご協力により環境に配慮した商品やサービスの普及、消費者への啓発を図り、府民の環境に配慮したライフスタイルの実践を促すものです。

また、「NO！！レジ袋デー(マイバッグキャンペーン)」においては、府内のスーパーや百貨店などの事業者に対し、「レジ袋の削減」と「買い物袋持参の奨励」などの取り組みを働きかけるとともに、参加店舗の協力を得て消費者に対し、「簡易包装への協力」「買い物袋の持参」などを呼びかけるものです。

【協力団体】

大阪府内のスーパー、百貨店、生活協同組合、商店街、コンビニ等の協力を得て「環境にやさしい買い物キャンペーン」(3,817店舗の協力が得られた)及び「NO！！レジ袋デー(マイバッグキャンペーン)」(572店舗の協力が得られた)を実施した。

【主な活動内容】

- ・ キャンペーンの参加協力店舗に対し、ポスターの掲示や店内放送等による消費者への啓発依頼や、環境配慮型商品の販売やはかり売りの取り組み促進の依頼を行った。
- ・ NO!!レジ袋デーでは、東大阪ブロック・京阪奈北レジ袋削減推進会議と協働で行った啓発キャンペーンにおいて、駅前やスーパー等の前で市民の皆様に啓発物品の配布やアンケート調査を行い、レジ袋の削減を呼びかけた。

【連絡先】

大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課
リサイクル事業支援グループ 池田琢磨

2.25 兵庫県

【キャンペーン名】平成22年度『地球環境時代！新しいライフスタイル展開キャンペーン』

【実施主体】地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会、兵庫県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

地球温暖化や廃棄物問題など地球規模の環境問題の解決に向け、県民・事業者・行政が協働して環境への負荷の少ない持続型の社会経済システムとライフスタイルを築いていく必要がある。

そこで、新しいライフスタイル委員会及び兵庫県が、県内外の団体の参画のもと、10月を強化月間として「地球環境時代！新しいライフスタイル展開キャンペーン」を実施することにより、環境に配慮した消費行動や事業活動を促進する。

【参加団体・事業者】

		参考(平成21年度)
(1) 活動団体	30 団体	24 団体
(2) 店舗	44 事業者 1,948 店	48 事業者 2052 店
百貨店・スーパーマーケット	32 事業者 277 店	33 事業者 407 店
コンビニエンスストア	11 事業者 1,521 店	12 事業者 1,498 店
生活協同組合	1 事業者 150 店	3 事業者 152 店
(3) 市町	17 団体	19 団体
(4) 協力事業者	4 事業者	4 事業者

【主な活動内容】

(1) 活動団体の取組

- ・ 学習会、環境関連イベントの開催
- ・ 街頭・店頭キャンペーンの実施
- ・ パネルの展示、ポスターの掲示、ちらし・グッズの配布
- ・ 広報紙等への掲載

【活動団体】

① 県域団体

地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会、(社)日本自動車連盟兵庫支部、(財)ひょうご環境創造協会、兵庫県環境保全管理者協会、(社)兵庫県建設業協会、兵庫県商工会連合会、兵庫県青少年団体連絡協議会、兵庫県消費者団体連絡協議会、(社)兵庫県トラック協会、兵庫県連合婦人会

② 地域団体

赤穂市消費者協会、尼崎消費者協会、淡路市消費者協会東浦支部、伊丹消費者協会、加西市連合婦人会、加東市消費者協会、神河町消費者の会、香住区消費者の会、香住区婦人会、神戸市消費者協会、神戸連合婦人会、三田市消費者協会、宍粟市消費者協会、宍粟市連合婦人会、NPO 法人消費者協会宝塚、宝塚市婦人会、但馬地区消費者団体連絡協議会、たつの市連合婦人会、丹波消費者団体連絡協議会、西宮消費者協会

(2) 店舗の取組

- ・ マイバッグ持参の PR、包装の簡易化、はかり売りの推進、地産地消の推進
- ・ ポスターの掲示、ちらしの配布

【店舗】()内は店舗数

①百貨店・スーパーマーケット

イオンリテール(株)ジャスコ (4)、(株)イトーヨーカ堂(4)、(株)関西都市居住サービスエコーナじお(1)、くらしの百貨おくも(1)、(株)神戸新聞会館(ミント神戸)(1)、(株)神戸物産業務スーパー(63)、サキランドショッピングセンター(1)、(株)さくら(1)、サンデパート(1)、(株)山陽百貨店(1)、(株)シマブンコーポレーション(2)、シャンティかんだ(1)、(株)神鉄エンプライズ(9)、(株)大丸松阪屋百貨店(4)、立花ジョイタウン商店街振興組合(30)、(株)トヨタ(28)、ニッケパークタウン(1)、日生中央サピエ(1)、(株)阪急商業開発モザイクボックス(1)、(株)阪急阪神百貨店(8)、(株)阪食(13)、(株)肥野ストア(4)、フードショップ日足(1)、(株)ぶっちゃー(4)、(株)マイカル(12)、(株)マルアイ(51)、(株)まるそうストア(2)、三ツ丸ストアプラザ市島店(1)、(株)ヤマトヤシキ(2)、(株)ライフコーポレーション(10)、ららぽーとマネジメント(株)(1)、(株)良品計画(13)

②コンビニエンスストア

(株)九十九(35)、国分グローサースチェーン(株)(2)、(株)ココストア(2)、(株)サークルKサンクス(173)、(株)セブンイレブン・ジャパン(382)、(株)デイリーヤマザキ(45)、(株)ファミリーマート(294)、(株)ファミリーマート ampm 事業・統合本部(17)、(株)ポプラ(21)、ミニストップ(株)(36)、(株)ローソン(514)

③生活協同組合

生活協同組合コープこうべ[150]

(3) 市町の取組

- ・ 関連イベントの開催(マイバッグ、ごみ減量、環境美化等)
- ・ 出前教室、セミナーの実施
- ・ ポスターの掲示、ちらしの配布
- ・ ホームページ・広報紙等への掲載、ケーブルテレビ文字放送による啓発

【市町】

赤穂市、朝来市、尼崎市、伊丹市、加西市、加東市、川西市、篠山市、粟粟市、高砂市、宝塚市、たつの市、丹波市、西脇市、姫路市、養父市、佐用町

(4) 協力事業者の取組

- ・ 電鉄会社に協力を依頼し、駅掲示板等にポスターを掲示

【協力事業者】(4 事業者)

神戸市交通局、神戸電鉄(株)、山陽電気鉄道(株)、阪急電鉄(株)

【写真等】



普及啓発ポスター・ちらし(表)



普及啓発ちらし(裏)



店舗前での啓発活動
(豊岡市)



店舗前での啓発活動
(加東市)



イベントでの啓発活動
(姫路市)



ケーブルテレビでの文字放送
(佐用町)

【連絡先】

兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課 エコライフ係 田中

2. 26 奈良県

【キャンペーン名】マイバッグキャンペーン

【実施主体】奈良県、奈良県環境県民フォーラム

【実施期間】平成22年11月2日

【目的・趣旨】

レジ袋削減、マイバッグ持参の啓発

【協力団体】

奈良県地球温暖化防止活動センター

【主な活動内容】

奈良ファミリー入り口前にて、マイバッグキャンペーン啓発運動を実施。マイバッグの啓発のため、来店者にチラシ・啓発物品（エコバッグ等）の配布を行った。

【トピックス】

エコバッグ配布にあたり、マイバッグ持参者が多く、受け取りを辞退される方が多かった。

【写真等】



○配布物品（エコバッグ）
収納袋付きのビニール製エコバッグ
中央部にな～らちゃんプリント



○啓発キャラクター
奈良県ストップ温暖化県民運動キャラクター
「な～らちゃん」

【連絡先】

奈良県くらし創造部景観・環境局 環境政策課地球環境係 主査 辻 勝式（ツジ カツノリ）

2.27 和歌山県

【キャンペーン名】 平成22年度環境にやさしい買い物
キャンペーン

【実施主体】 和歌山県

【実施期間】 平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

消費者に身近な買い物から環境にやさしいライフスタイルを実践するため、事業者のご協力のもと、環境に配慮した商品・サービスの普及を図り、「簡易包装」「環境に配慮した商品の購入」「マイバッグの持参」等の呼びかけにより、環境に配慮した生活・経済活動を促進します。

【協力団体】 和歌山県商工会議所連合会 和歌山県商工会連合会
和歌山県商店街振興組合連合会 和歌山県中小企業団体中央会
和歌山県くらしの研究会 和歌山県生活学校連絡協議会
和歌山県婦人団体連絡協議会

【主な活動内容】

和歌山県内のスーパーマーケット・ホームセンター・百貨店・コンビニ等、26事業所411店舗に御協力いただきました。

○イオンリテール(株) ○イズミヤ(株) ○Vショップチェーン協同組合
○(株)オークワ ○(株)岸商店 ○(株)グルメシティ近畿
○(株)ココストア ○(株)ゴトウ本店 ○(株)サークルKサンクス
○(株)ジュンテンドー ○(株)スーパーサンワ ○(株)セブン-イレブンジャパン
○(株)ダイエー ○太地町漁業協同組合漁協スーパー
○(株)高島屋 ○(株)たかす ○(株)デイリーヤマザキ
○(株)ヒダカヤ ○(株)ファミリーマート ○(株)プラス
○吉野ストア(株) ○(株)良品計画 ○(株)ローソン
○和歌山県Aコープチェーン本部 ○(株)近鉄百貨店
○わかやま市民生活協同組合

県が配付するキャンペーンポスター(環境省作成キャンペーン統一デザイン)を店内に掲示し、『環境にやさしい商品の購入』、『買い物袋の持参(マイバッグ)』などを消費者に呼びかけを行いました。消費者への具体的な呼びかけ方法は、各店舗の取組方法により実施しました。

○『買い物袋持参』の呼びかけ

取組例: 店内放送やレジでの声かけを行う。買い物袋を販売する。など

○『環境に配慮した商品の購入』の呼びかけ

取組例: 環境にやさしい商品を表示する。チラシ広告でPRする。

対象商品の特売セールを行う。対象商品のコーナーを設ける。 など
対象商品:再生紙を使用したトイレトーパー
詰替商品(シャンプー、リンス、台所用液体洗剤等)
エコマークなどの環境ラベルのついた商品
その他リサイクル製品や省エネ製品などの環境配慮型商品

【トピックス】

『愛車にいつもマイバッグ』キャンペーンを実施

不意の買い物にも対応できるよう、「愛車にいつもマイバッグ！」を合い言葉に下記のとおりキャンペーンを実施しました。

＜キャンペーン内容＞

【共催】

社団法人和歌山県自動車整備振興会
和歌山県自動車販売協会
わかやまノーレジ袋推進協議会

【実施期間】

平成22年10月1日(金)～平成22年10月31日(日)

【実施内容】

- 社団法人和歌山県自動車整備振興会及び
和歌山県自動車販売協会と県による街頭啓発
(マイバッグ、ティッシュペーパー配布)
- 県作成啓発ポスター(右図)の店内への掲示



【連絡先】

和歌山県庁 環境生活部環境政策局 環境生活総務課
温暖化対策推進班 丸野 綾紗

2. 28 鳥取県

【キャンペーン名】 平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」

【実施主体】 鳥取県

【実施期間】 平成22年10月1日～11月30日(2ヶ月間)

【目的・趣旨】

レジ袋の削減を通じて、県民一人ひとりのライフスタイルを見直すきっかけを作ることとする。

【協力団体】

ノーレジ袋推進協議会(県内のスーパー、コンビニ、百貨店、ホームセンター、ドラッグストア、クリーニング業者、消費者団体、商工会議所、市町村等から構成される任意の協議会)

【主な活動内容】

(1) 花と緑のフェア

- ①日時 10月16日(土)～17日(日)
- ②場所 湖山池公園休養ゾーン
- ③内容 5人家族が一年間もらうレジ袋(約1,150枚)のモデルケース・マイバッグ(鳥取市主催「小学生オリジナルマイバッグコンテスト」の受賞作品・パネルの展示

(2) とっとりエコフェスタ

- ①日時 10月24日(日) 10時から16時
- ②場所 米子市東山公園内補助グラウンド
- ③内容 5人家族が一年間もらうレジ袋(約1,150枚)のモデルケース・マイバッグ(鳥取市主催「小学生オリジナルマイバッグコンテスト」の受賞作品・パネルの展示、風呂敷包み講習会、環境劇

(3) いわみフレッシュフェスティバル

- ①日時 11月3日(水)
- ②場所 岩美中央公民館
- ③内容 5人家族が一年間もらうレジ袋(約1,150枚)のモデルケース、パネル・マイバッグの展示、風呂敷包みの実演講習会

(4) 中部地域ノーレジ袋デー2周年記念イベント

- ①日時 11月7日(日)
- ②場所 パープルタウン
- ③内容 園児によるオリジナルマイバッグソング発表、5人家族が一年間にももらうレジ袋(約1,150枚)のモデルケースの展示、古新聞を活用したマイバッグ・パネル展示、風呂敷包み実演講習会、レジ袋削減に係るアンケート調査。その他、11月10日JR 倉吉駅前キャンペーン実施。

(5) ノーレジ袋デー(通年・毎月10日を中心)キャンペーンの実施

- ①実施日毎月10日ノーレジ袋デーを中心とした日
- ②場所スーパーマーケット、ドラッグストア等
- ③内容店頭キャンペーン等により、オリジナルマイバッグソングを流しながら、ポケットティッシュ・レジ袋削減ステッカーの配布、各店舗毎の特典制度(ポイント付与、スタンプ押印、キャッシュバック)のPRを通じたレジ袋削減の呼びかけ

(6) とっとり県政だより10月号での特集掲載

- ①実施日10月号
- ②場所県内全戸等への配布
- ③内容県HP>><http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=149084>

【写真等】

①花と緑のフェア



②とっとりエコフェスタ



③いわみフレッシュフェスティバル



④中部地域ノーレジ袋デー2周年記念イベント



⑤ノーレジ袋デーキャンペーンの実施



【連絡先】

鳥取県生活環境部環境立県推進課グリーンニューデール推進室 佐々木明仁

2. 29 島根県

【キャンペーン名】しまねレジ袋削減キャンペーン

【実施主体】島根県、しまね自然と環境財団、島根県地球温暖化対策推進協議会

【実施期間】平成22年10月1日～12月31日

【目的・趣旨】

県民のみなさんに、マイバッグ持参による買い物で、レジ袋の使用を減らし、ごみの発生を減らす社会づくりに向けて、自ら行動してもらうことを目的とする。

レジ袋は、一般家庭から出るごみの約1%であるが、環境にやさしい生活スタイルをすすめる身近で象徴的な取組として、このキャンペーンを行う。

【協力団体】しまねエコショップ認定店

【主な活動内容】

10月・12月 雑誌広告掲載

10月～11月 新聞広告掲載

11月～ キャンペーンポスター掲示(JR駅・エコショップ等)

10月・11月 事業者(エコショップ)意識アンケート

【写真等】



【連絡先】

島根県環境生活部環境政策課 低炭素・循環型社会推進スタッフ 寺本英司

2. 30 岡山県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン(岡山県統一ノーレジ袋デー)

【実施主体】岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

【実施期間】平成22年10月～11月

【目的・趣旨】

岡山県では、家庭ごみを少しでも削減するため、また、レジ袋の削減を通して環境にやさしいエコ・ライフスタイルを広めるため、スーパーマーケットやドラッグストア、ホームセンターなどの事業者、消費者・環境団体、市町村と協働して、平成22年6月から毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、買い物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開している。

10月～11月には、ノーレジ袋デーをはじめとする買い物における「3R」の実践を広く県民に呼びかけた。

【協力団体】事業者、環境・消費者団体、市町村

【主な活動内容】

- 啓発用資材(のぼり旗、ポスター、ステッカー)の掲示及びレジ精算時の呼びかけ(県内550店舗)
- 啓発チラシの配布(店頭、各種イベント会場)
- ラジオ、広報紙、ホームページによる広報
- マイバッグ持参に関するアンケート調査協力者へのマイバッグ抽選会の実施
(おかやまエコ&フードフェア2010(平成22年11月6日(土)～7日(日)))
- 岡山県もったいない運動推進ポスターコンクール(マイバッグ部門)優秀作品の展示及び表彰
(「おかやま・もったいない」晴れの国フォーラム(平成22年11月20日(土)))

【写真等】



おかやまエコ&フードフェア2010



「おかやま・もったいない」晴れの国フォーラム

【連絡先】

岡山県環境文化部循環型社会推進課資源循環推進班 主任 大森理恵

2. 31 山口県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン(マイバッグ持参運動)

【実施主体】山口県容器包装廃棄物削減推進協議会

《構成団体》消費者団体:7団体(山口県地域消費者団体連絡協議会等) 小売事業者:スーパー等181事業者1110店舗 行政:全19市町・山口県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

※レジ袋無料配布中止(H21.3 から実施)による、マイバッグ持参運動は、通年実施

【目的・趣旨】

消費者・事業者・行政が連携し、3R推進月間を中心にキャンペーンを展開し、レジ袋等容器包装廃棄物削減の削減に向けた取組を推進し、ごみ減量化を図る。

【主な活動内容】

①ポスター、のぼり旗の掲示(通年)

店舗や公共施設に掲示した。

②マイバッグ持参キャンペーン(通年)

県下で開催された環境イベントでパネル展示、チラシ配布、アンケート調査等を実施した。

③広報による啓発(通年)

広報誌やテレビ・ラジオ等により、マイバッグ持参を呼びかけた。

【トピックス】

10月9日、10日に開催した「やまぐちいきいきエコフェア」において、パネル展示、チラシ配布、アンケート調査(1,500人)、苗木の配布(1,000株)等を行い、マイバッグ持参を呼びかけた(来場者12,000人)。

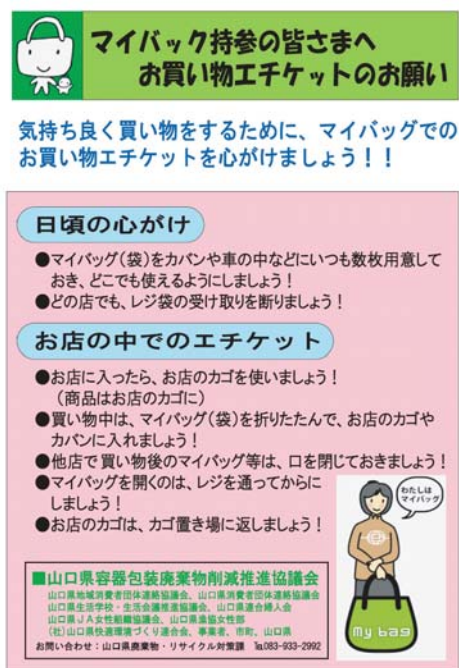
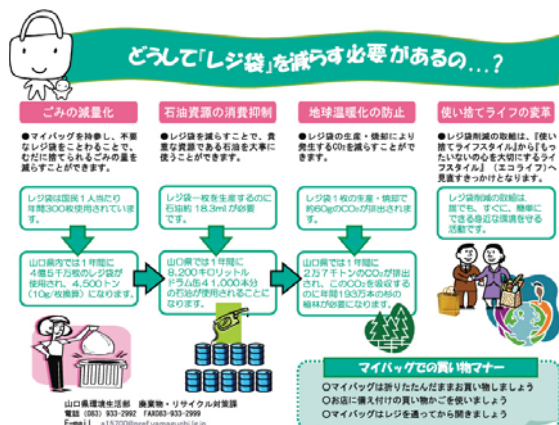
【写真・ポスター等】



啓発用チラシ(表)※スーパー用



啓発用チラシ(表)※クリーニング店用



2.32 香川県

【キャンペーン名】 買い物でエコ！キャンペーン2010

【実施主体】 環境にやさしい買い物推進協議会（愛称：ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ）

【実施期間】 平成22年10月1日～11月30日

【目的・趣旨】

地球温暖化など環境問題への関心を行動に移すきっかけ作りとして、例年取組んでいる「マイバッグ持参」「ハンガー返却」と共に、フードマイレージの観点から「地産地消」活動の推進や、「容器包装の削減」等、環境にやさしい買い物の身近な取組みの推進に関する啓発を行う。

【協力団体】 協議会会員（会員：消費者団体・グループ、事業者（スーパー等）、県市町、学識経験者）

【主な活動内容】

①店頭キャンペーンの実施

キャンペーン期間中、県内のスーパーの店頭や、地域のイベント等で消費者団体が、直接県民に対してチラシを配布してキャンペーンへの参加を呼びかけた。

②環境にやさしい商品特売ウィークの設定（キャンペーン期間中の1週間程度）

再生品、詰替品などの環境にやさしい商品の特売を実施した。

③広報活動

ラジオ、県広報誌などマスメディアを活用するとともに、ポスター、チラシなどによる広報を行った。

④買い物袋持参率全県調査の実施

1）持参率の算出方法

「持参率」＝「マイバッグを持参しレジ袋を断った人の数」÷「レジで精算した買い物客の数」

2）調査日時

原則平成22年10月5日（火） 午前10時から午後8時まで 一部店舗午後7時まで）

3）調査対象店舗

協議会会員店舗で協力可能店舗（16事業者、69店舗の協力が得られた。）

【写真等】

消費者団体による店頭呼びかけ風景



配布したチラシ





高松市のキャンペーンと合同で呼びかけ実施
(右 エコちゃん 左 バッグくん)



エコちゃんによる呼びかけ風景

【連絡先】

香川県総務部県民活動・男女共同参画課内
ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ事務局 阿部 和美

2. 33 愛媛県

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施主体】愛媛県

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進することを目的として、県民（消費者）、事業者及び行政が連携し、ごみ減量化のための買い物袋持参や環境にやさしい商品の販売・購入などを推進する。

【協力団体】量販店等事業者、市町

【主な活動内容】

(1) 県内事業者、商店街振興組合、市町に対する文書による協力要請

＜参加事業者等＞

〔百貨店、スーパーマーケット、ホームセンター等 27 事業者(313 店舗)
商店街振興組合 5 組合〕

※ 参加事業者等では、県民（消費者）に対して買い物袋（マイバッグ）の持参の呼び掛け、簡易包装の推進、詰め替え商品・再生品などの販売促進等を実施。

(2) 県ホームページを通じた周知（別紙のとおり）

(3) 「愛媛の3R企業展」(10月16日(土)、17日(日)開催)での啓発活動
ポスターの掲示、啓発グッズ(マイタンブラー)の配布

【写真等】



「愛媛県の3R施策」ブースにポスター掲示



愛媛の3R企業展開催案内チラシへの掲載

〇県ホームページ「環境にやさしい買い物キャンペーン」

『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施中

掲載日：平成22年10月1日

県では、「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進することを目的として、ごみ減量化のための買い物袋持参や環境にやさしい商品の販売・購入などを推進する「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施します。

期間中、下記参加事業者等の店舗では、マイバッグ持参者への特典や、環境にやさしい商品などの販売促進のほか、店内放送によるお客様への呼びかけなど、環境に配慮したそれぞれの取り組みが行われます。

皆様もこの機会に、マイバッグを持参する、地元産品を購入する、過剰包装は断わる、再生品や詰め替え製品を選ぶなど、「環境にやさしい買い物」を始めてみませんか。

実施期間	平成22年10月1日（金曜日） から 10月31日（日曜日） まで
リーフレット	キャンペーン用リーフレット（PDF：104KB）
その他	全国の状況は、3R活動推進フォーラムのホームページをご覧ください。

〇参加事業者等

【百貨店、スーパーマーケット、ホームセンター等 27事業者（313店舗）】

今治立花農業協同組合（くみあいマーケット）	（株）伊予鉄高島屋	（株）エコープえひめ
A-MAX 愛南店	（株）大見屋 しんぱし	（株）木村チェーン
（株）サニーマート	（有）サンエース	（有）ショッピングセンター保内
（株）新鮮館	生活協同組合 コープえひめ	（株）セブンスター
（株）そごうマート	（株）トミナガ	日本ディーアルシステム（株）（グリーンセンターてんとうむし）
西村ジョイ（株）朝生田店	（株）波止浜スーパー	（株）フジ
ホームセンター タイム伊予三島店	マックスバリュ西日本（株）	（株）松山生協
（株）ママイ	（株）マルナカ	（株）マルヨシセンター
（株）松山三越	（株）リッチ	（株）レディ薬局

【商店街振興組合 5組合】

西条中央商店街振興組合	松山銀天街第一商店街振興組合	松山河原町商店街振興組合
宇和島袋町商店街振興組合	宇和島恵美須町2丁目商店街振興組合	



PRキャラクター コマメちゃん（出典：環境省）

【参考】平成21年度キャンペーン、平成20年度キャンペーン

〒790-8570
愛媛県松山市一番町四丁目4-2
愛媛県 県民環境部 環境局
循環型社会推進課（計画推進係）
電話番号：089-912-2356
E-Mail：junkan-shakai@pref.ehime.jp

【連絡先】

愛媛県県民環境部環境局循環型社会推進課 計画推進係 節安

2. 34 福岡県	【キャンペーン名】マイバッグキャンペーン
	【実施主体】ごみと資源を考える福岡県民会議 (事務局:福岡県環境部循環型社会推進課)
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日(強化月間)

【目的・趣旨】

買い物袋の持参、レジ袋を断る、簡易包装の商品を選択するなど具体的な行動を促すことで容器包装廃棄物の排出抑制を啓発するとともに、ごみ減量化に係る県民の意識高揚を図る。

特に10月を「買い物袋持参運動(マイバッグキャンペーン)」の強化月間とし、九州7県(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)共同による「九州統一マイバッグキャンペーン」として実施する。

【主な活動内容】

(1)九州統一マイバッグキャンペーン「標語」の募集

- ・募集期間 平成22年5月14日(金)～6月30日(水)
- ・応募資格 九州7県に在住される方
- ・表彰区分 最優秀賞 1点
優秀賞 小学生の部、中学生・高校生の部、一般の部 各4点
- ・応募数 2,292点(九州7県:11,070点)

(2)九州統一マイバッグキャンペーンポスター、ステッカーの作成

- ・九州統一ポスター及びステッカーを作成し、市町村、県民会議会員(消費者団体、業界団体等)、事業者等に配付(福岡県:ポスター約6,000枚、ステッカー約1,300枚配付)

(3)九州統一マイバッグキャンペーン

「一斉行動参加店」の募集

- ・募集期間 平成22年5月28日(金)～7月30日(金)
- ・参加対象店舗 九州7県に所在する店舗
- ・募集内容 平成22年10月1日～10月31日に実施する具体的内容を以下の①～⑦項目の中から選択して店舗の所在する県に申し込む。

- ① レジ袋辞退者に対し、シール、スタンプ等の付与による特典制度を実施する。
- ② レジ袋辞退者に対し、キャッシュバックを実施する。
- ③ レジ袋の有料化を行う。
- ④ チラシでの表示、店内放送、レジ袋不要カードなどによる買い物袋持参の呼びかけを行う。
- ⑤ 「レジ袋が必要ですか」の声かけを行う。
- ⑥ 詰め替え商品、簡易包装の販売を促進する。
- ⑦ その他、創意工夫によるレジ袋削減の取組を実施する。

-
- | | |
|--------|--|
| ・参加店舗数 | 2,076店（九州7県:6,245店）
福岡県平均マイバッグ持参率（※2010年12月15日現在集計中）
レジ袋削減枚数（※2010年12月15日現在集計中） |
| ・広報、周知 | 参加店の取組内容は、九州各県のホームページ等で広報
消費者団体などへ取組内容を紹介し、県民へ協力を呼びかけ
参加店は、県から配付されたポスター、ステッカーを掲示 |
| ・実績の報告 | 参加店は、10月の取組状況について、キャンペーン実施報告書でマイバッグ持参率及びレジ袋節約枚数を報告する。 |
-

【トピックス】

○市町村の取組

- ・ポスターの掲示、広報誌による周知、環境イベントでのマイバッグ、ちらしの配布、マイバッグの展示、アンケートの実施等

○ごみと資源を考える福岡県民会議会員

- ・ポスターの掲示、会報・広報誌、会議等による傘下会員への周知

【連絡先】

福岡県環境部循環型社会推進課企画係 藤本樹理

2.35 佐賀県

【キャンペーン名】 佐賀県マイバッグキャンペーン
(九州統一マイバッグキャンペーン)

【実施主体】 各市町 佐賀県

【実施期間】 平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

ごみの減量化及び地球温暖化対策のため、身近な生活の中で誰もが実践できる「買い物時にはレジ袋を自粛し、買い物袋を持参する」という行動に取り組んでいただくとともに、環境保全に対する意識の高揚につなげる。

【協力団体】 九州統一マイバッグキャンペーン「一斉行動参加店参加店」 548 店

【主な活動内容】

- ・店舗での啓発活動
- ・チラシ・ポスター・ポップシールの作成、配布、ラジオ放送
- ・パネル・幟を店舗や公共施設で展示、呼びかけ等を実施
- ・エコチャレンジシートの配布
- ・第5回3R推進全国大会の開催(各市町ではイベント開催)

【トピックス／写真等】

9月23日	第15回伊万里リサイクルフェア	環境保全・美化に関する功労者表彰、リサイクルバザー、パネル展示等による啓発
10月2～3日	佐賀市店頭キャンペーン	アンケート調査、エコバッグプレゼント
10月6日	鹿島市店頭キャンペーン	市長、職員、環境衛生推進協議会役員による店頭啓発キャンペーン
10月18～22日	佐賀市マイバッグ・ノーレジ袋実施率調査	20店舗で計測(平均実施率40%)
10月21～22日	武雄市店頭キャンペーン	着ぐるみ(オシクラマン)でのPR マイバッグ持参の方に粗品進呈
11月2～7日	第5回3R推進全国大会	式典(ホテルグランデはがくれ)及び環境展(佐賀インターナショナルバルーンフェスタ会場内)の実施

【写真】



佐賀市店頭キャンペーン



伊万里リサイクルフェア



鹿島市店頭キャンペーン



3R推進全国大会(佐賀市ブース)



武雄市店頭キャンペーン(オシクラマン)



3R 推進全国大会記念マイバッグ



第 5 回 3R 推進全国大会
マスコットキャラクター ピコピコ



九州統一マイバッグ
キャンペーンシンボルマーク



佐賀県マイバッグ・ノーレジ袋
推進店ステッカー

2.36 長崎県

【キャンペーン名】マイ・バッグ・キャンペーン

【実施主体】ゴミゼロながさき推進会議、長崎県、市町及び趣旨に賛同する事業者及び消費者

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日(強化月間)

【目的・趣旨】

近年の経済社会の発展は生活様式を多様化させ、豊かな暮らしをもたらしたが、反面、使い捨てのライフスタイルは大量消費・大量廃棄を定着させ、ごみの排出量を増大させている。今や、ごみの排出抑制は地球環境にとって温暖化対策にもつながる重要な課題のひとつであり、近年、環境問題に対する住民・事業者の意識は高揚しつつあるものの、必ずしも実践が伴っているわけではない状況にある。

このような中で、家庭から排出されるごみの大半を占める容器・包装類、スーパー等で渡される「レジ袋」については消費者及び事業者の自主的努力により削減することが可能である。中でも、「レジ袋」に代えて「買い物袋」を持参することによる意識改革を推し進めることが、ごみ減量化の第一歩である。

このため、10月を買い物袋持参運動の強化月間としてマイ・バッグ・キャンペーンを実施する。

【主な活動内容】

(1) 長崎県生活学校連絡協議会の取り組み

○「レジ袋減らし隊」運動

県内の生活学校における「レジ袋減らし隊」キャンペーンの取組として、各地域で行われるイベントにおいてマイバッグ普及の啓発活動の実施。

○大型店舗の対話集会の実施

長崎市内の大型店舗の代表者及び県や長崎市の関係機関と対話集会を実施し、議題の1つとして簡易包装とマイバッグの取り組みについて取り上げ、県内のレジ袋削減の取り組みや課題等について意見交換を実施。

(2) 事業者の取り組み

○キャンペーンへの参加協力

※ 九州統一マイバッグキャンペーン協力店数(長崎県) 564店

【協力店の取組内容】

- ・レジ袋辞退者に対し、シール、スタンプ等の付与による特典制度実施
- ・レジ袋辞退者に対し、キャッシュバックを実施
- ・レジ袋の有料化実施
- ・チラシでの表示、店内放送、レジ袋不要カードの作成などによる買い物袋持参呼びかけを実施
- ・会計時の声かけ実施
- ・詰め替え商品の販売促進
- ・簡易包装の推進 等

(3) 県及び市町の取り組み

- 九州統一マイバッグキャンペーンポスターを事業者等へ配布及び掲示依頼。
(ポスター:3,000枚)、(ステッカー:900枚)

【九州統一マイバッグキャンペーン:九州7県統一のキャンペーン】

活動主旨:平成18年10月に合意した九州地方知事会政策連合の一環として「ごみ減量化に向けた啓発活動の実施」を掲げており、九州7県(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県及び鹿児島県)が平成19年度から共同して同キャンペーンを実施。

活動内容:同キャンペーンで使用する「標語」及び同キャンペーンの一斉行動に参加する「事業者」の募集。

標語の最優秀作品を掲載した九州7県統一ポスター、ステッカーを作成。

活動結果:(標語応募作品数)1,487点(九州7県 11,070点)
(参加店申込店舗数)564店(九州7県 6,254店)

- のぼりや横断幕の掲示、広報誌やホームページ等を利用した広報の実施。

- 各地域において、事業者等と連携したマイバッグ持参率の調査やイベントにおける啓発活動(チラシの配布、マイバッグの配布・展示等)を実施。

※10の市町、3ヶ所の保健所で18の取組を実施。

総参加人員 45,518名。

【写真等】

- 各地域でのキャンペーンの様子



○九州統一マイバッグキャンペーンポスター



【連絡先】

長崎県環境部未来環境推進課 循環・快適環境班 浅岡

2.37 熊本県

【キャンペーン名】 熊本県マイバッグキャンペーン

【実施主体】 熊本県、熊本県ごみゼロ推進県民会議

【実施期間】 平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

県民、事業者、行政が一体となってレジ袋の削減等に取り組み、ごみの減量化を推進する。

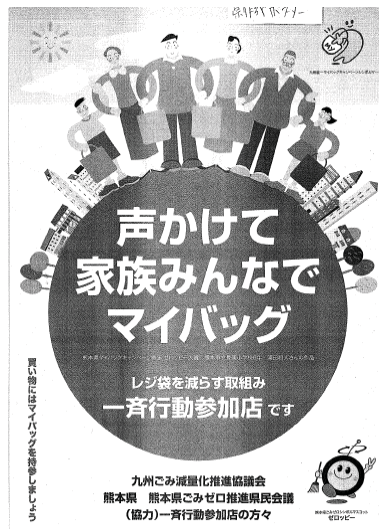
【主な活動内容】

- ・マイバッグキャンペーンをアピールするための「標語」の募集
募集総数 2,770点
- ・マイバッグキャンペーン期間中に一斉にレジ袋削減を目指した取組みを行う「一斉行動参加店」の募集
参加店総数 1,004店
- ・10月1日から10月31日までの1ヶ月間、レジ袋の削減を目指した取組みを実施。

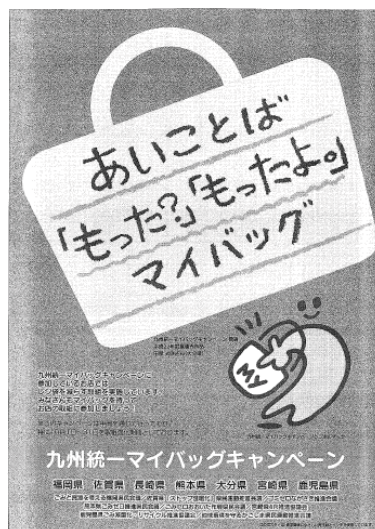
【トピックス】

9月28日の熊本県ごみゼロ推進県民大会にて、「標語」の入賞者を表彰。併せて「一斉行動参加店」の広報、3Rに関する講演、取組事例の発表、取組事例の展示等を実施（別添フリーペーパー掲載記事参照）。

【写真等】



県作成ポスター



九州統一ポスター



フリーペーパー
すばいす 掲載記事

【連絡先】

熊本県環境生活部廃棄物対策課企画調整班 高木秀和

2. 38 大分県

【キャンペーン名】大分県マイバッグキャンペーン

【実施主体】大分県、ごみゼロおおいた作戦県民会議

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

県民、事業者、行政が一体となってレジ袋の削減等に取り組み、ごみの減量化を推進するため、九州7県共同でマイバッグキャンペーンを実施する。

【主な活動内容】

(1)九州統一マイバッグキャンペーン

ごみの減量化を推進するために、九州7県の県民・事業者・行政が一体となってレジ袋の削減に取り組んだ。

【活動内容】

- ①標語の募集(大分県応募総数: 973作品)
- ②統一ポスター・ステッカーの配布・掲示(約2,300枚)
- ③一斉行動参加店(700店舗)で様々な方法によるレジ袋削減の取組を実施

(2)大分県農林水産祭でのマイバッグキャンペーン

県内最大の展示即売イベントであり、大量のレジ袋が消費されている大分県農林水産祭において、ポスターやチラシでマイバッグの持参を呼びかけ、「環境にやさしいイベント」、「環境にやさしい買い物」の普及啓発を行った。

【活動内容】

実施日:平成22年10月16日(土)～17日(日)(水産部門)

平成22年10月23日(土)～10月24日(日)(農林部門)

実施場所:別府市 別府公園(農林部門)、亀川漁港(水産部門)

(3)レジ袋無料配布中止の取組

地球温暖化の防止やごみの減量化を目的に、消費者・事業者・行政が協定を締結し、レジ袋無料配布中止によるレジ袋の削減に取り組んだ。(H21.6 から実施)

【活動内容】

実施店舗数:29事業者213店舗(主に県内の食品スーパー)

【効果】

マイバッグ持参率:85.0% レジ袋削減枚数:7,679,535枚

C O 2 削減量:476トン ごみ削減量:約77トン 石油削減量:約141KL

【連絡先】

大分県 生活環境部地球環境対策課 リサイクル推進班 坂野

2. 39 宮崎県	【キャンペーン名】九州統一マイバッグキャンペーン
	【実施主体】九州ごみ減量化協議会、宮崎県、宮崎県4R推進協議会
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【参加事業者】643店舗

【主な活動内容】

(1) 事業者等に対する支援

- ① ポスターの配布 事業者800枚(その他県庁各課、市町村に配布)
- ② ステッカーの配布 事業者約900枚

(2) 地区協議会等に対する支援

- ① マイバッグの配布 約2,500枚を各地区協議会等に配布
- ② のぼり旗の貸し出し

(3) 広報

- ① 新聞広告 10月1日 宮崎日々新聞5段
- ② テレビCM 15秒CM 64本
5秒CM 23本
- ③ 県政掲示板 各紙新聞 標語募集及び参加店募集
- ④ 県庁HP 標語募集、標語決定、参加店募集、参加店決定時

(4) 標語募集

- ① 募集期間 5月15日～6月30日
- ② 応募総数 11,070点
- ③ 最優秀賞
あいことば「もった?」「もったよ。」 マイバッグ
- ④ 宮崎県の入賞者
うすいけど あついしごとの マイバッグ
津奈木 勇輔さん(宮崎県 五ヶ瀬町立三ヶ所小学校 1年)
いりません 私は今日から マイバッグ
長濱 綾乃さん(宮崎県 高鍋町立高鍋西中学校 3年)

【連絡先】

宮崎県環境森林部循環社会推進課 企画・リサイクル担当 岩下

2. 40 鹿児島県

【キャンペーン名】九州統一マイバッグキャンペーン

【実施主体】鹿児島県、鹿児島県ごみ減量化・リサイクル推進協議会、地球環境を守るかごしま県民運動推進会議

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

ごみの排出抑制・減量化・リサイクルを推進するための具体的な行動のひとつとして、買物袋に着目し、買い物の際にレジ袋等をもらわず、自ら買い物袋を持参する運動を広げることで、ごみの減量化を推進するとともに、県民一人ひとりの意識を高揚させることを目的とする。

【主な活動内容】

■内 容

- (1) 九州統一マイバッグキャンペーンの実施
 - ① 標語の募集(5月14日～6月30日)
 - ② 一斉行動参加店の募集(6月1日～7月31日)
 - ③ ポスター、ステッカーの作成
- (2) 九州ごみ減量化推進協議会で作成したポスター等を消費者団体等の関係機関に配布することにより、県民に対し広く周知・啓発を行う。
- (3) 広報誌等の広報媒体を活用することにより、消費者や事業者に呼びかけを行う。
- (4) 各市町村に対し、市町村広報誌への掲載及び地元商工会等への協力を依頼する。

■啓発内容

- (1) 県民
 - ・買物袋を持参し、レジ袋等を辞退するよう努める。
 - ・もらったレジ袋等は繰り返し使用する。
 - ・商品購入の際にリサイクル商品や簡易包装商品を選択する。
 - ・不要な包装、過剰包装を辞退する。
- (2) 事業者
 - ・マイバッグキャンペーンの呼びかけを店内放送やレジ周りのPOP表示等で行う。
 - ・チラシ、店内放送など買物袋持参の呼びかけを行う。
 - ・詰め替え商品等の販売を促進し、簡易包装に努める。
 - ・ポスター・ステッカー等の掲示

■実施内容

期間中にレジ袋の削減等に取り組む一斉行動参加店に県内725店舗が参加し、レジ袋辞退者に対するポイント、シール、スタンプ等の特典制度などを実施した。

■そ の 他

「地球を守るかごしま県民運動」において、毎月5日を「エコフライデー」に設定。
この中で10月のテーマを「環境にやさしい買い物」とし、マイバッグの利用をはじめ
とした環境に配慮した買い物の実践に取り組んでいる。

【ポスター等】



ポスター



ステッカー

【連絡先】

鹿児島県環境部廃棄物・リサイクル対策課 京田， 地球温暖化対策課 南田

2. 41 沖縄県	【キャンペーン名】環境に優しい買い物運動
	【実施主体】沖縄県
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】ごみの減量とレジ袋辞退率 80%

【協力団体】県内市町村、マスコミ

【主な活動内容】パネル展示等

【トピックス】

レジ袋有料化実施 2 年後のレジ袋辞退率平均は 80.6%

レジ袋辞退率※1の推移

(単位:%)

	店舗名	有料化 導入前※2	1週間後	H20 年度	H21 年度	H22 4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
1	Aコープ 全店舗	13.9	72.6	79.5	79.0	79.1	78.7	79.0	78.4	78.5	78.5	78.8
2	金秀 全店舗	18.7	72	78.4	78.1	78.4	78.2	78.3	77.3	77.4	77.5	78.1
3	沖縄三越豊崎マイキッチン	未把握	83.3	86.3	85.7	85.5	84.9	85.1	84.1	83.4	83.8	85.6
4	サンエー 食品売り場全店舗	26.5	82.4	81.6	79.9	79.3	79.1	78.8	78.4	78.8	78.4	80.1
5	ジミー (那覇店・大山店)	2.4	62.2	74.7	76.5	78.6	77.9	77.3	77.7	77.6	79.4	76.4
6	ユニオン 全店舗	23.0	78.3	79.9	79.6	78.7	78.3	77.8	77.4	77.2	77.7	79.3
7	丸大 全店舗	20.7	75.5	80.6	80.6	80.9	80.7	80.8	80.1	80.1	80.4	80.6
8	リウボウストア 全店舗	未把握	75.4	79.0	78.7	83.6	78.6	78.8	79.8	78.0	78.6	79.0
9	コープおきなわ 全店舗	39.7	84.5	86.1	84.3	83.4	83.2	83.1	83.1	82.7	82.6	84.5
10	ジャスコ 食品売り場全店 マックスバリュ 全店舗 ザ ビッグ	21.2	77.2	79.5	77.2	76.8	76.4	76.7	75.8	75.3	75.5	77.6
11	ドラッグイレブン			84.1	87.6	87.0	86.6	86.2	85.4	85.1	86.3	86.7
	平均		76.3	80.9	80.7	81.0	80.2	80.2	79.8	79.5	79.9	80.6

※1 レジ袋辞退率・・(来店者数－使用枚数)÷来店者数 ×100

※2 有料化導入前は、正確な使用枚数等を把握できていないため、参考値となります。

※3 平成20年10月1日レジ袋有料化開始

【パネル展写真】



【連絡先】

沖縄県文化環境部環境整備課 一般廃棄物班 仲宗根猛智

第3部 流通事業者等実施報告詳細

3.1 (株)伊勢丹	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】本支店6店舗 (三越伊勢丹グループ企業も参加)
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】マイバッグ使用の啓蒙活動とレジ袋の削減

【主な活動内容/トピックス/写真】

- 各店のエスカレータ脇にキャンペーンポスターを掲出
- 館内放送にてキャンペーンのご案内と、スマートラッピング(*)や手付き袋のおまとめなどを呼びかけている。(通年) (*スマートラッピングとはお客さまのご用途に応じたラッピング方法をお選びいただくこと。)
- 食品集中カウンター等では、レジ袋がご入用かお声がけを徹底。またレジ袋不要札を導入し、削減に努めている。(通年)
- オリジナルのショッピングバッグを販売し、啓蒙活動を行っている。(通年)

【トピックス】

- 新宿区 3R 推進協議会・新宿区主催の「3R 協働宣言」に参加。小売店・区民団体・新宿区そして区民が一同となってゴミの削減に取り組んでいる。
- 10月に行われた周知イベントにも積極的に参加しお客さまに呼びかけを行った。

【写真】



「環境にやさしい買い物キャンペーン」の推進ポスター



スマートラッピング推進のPOP



食品カウンターに設置したレジ袋不要札

【連絡先】

(株)三越伊勢丹ホールディングス
管理本部業務部施設管財グループ施設環境
小谷 広子

3.2 (株)小田急百貨店	【キャンペーン名】マイバッグキャンペーン
	【参加店舗数】3店舗(新宿店、町田店、藤沢店)
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

当社が通年で実施している「マイバッグキャンペーン」(小田急ポイントカードをご利用の上、手提げ袋をご不要とされたお客さまに、1日1回5ポイントを付与)をもとに、3R(環境にやさしいお買い物)及び日本百貨店協会が提唱しているスマートラッピングを呼びかけ一層の推進を図る。

【主な活動内容】

- ①当社宣伝媒体(新聞折込み、ホームページ等)による告知。
- ②日本百貨店協会作成のポスターを館内に掲示。
- ③館内放送及びお買い物時におけるお客さまへの呼びかけ。

【トピックス】

- ①通常5ポイント付与しているマイバッグポイントを、3R推進月間の10月は、1ポイントアップし、6ポイント付与しました。
- ②オンワード樫山と共同で、当社新宿店において「衣料品引き取りキャンペーン」を9月29日(水)～10月5日(火)の期間で実施、お引取りした衣料品は、オンワード樫山で可能な限りリユースまたはリサイクル対応しています。

【その他】 小田急ポイントカードクレジット会員向け情報誌への掲載

新宿店 町田店 藤沢店

10月は「3R推進月間」です。
3Rとは、リデュース(減らす)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化)の頭文字です。

みなさまにご好評をいただいているマイバッグポイント
10月はマイバッグポイントが6ポイント!

10月1日(金)→31日(日) ■新宿店・町田店・藤沢店 各売場

小田急ポイントカードをご利用のうえ、お買い上げの際に手提げ袋を不要とされた方にお付けするマイバッグポイント。通常5ポイントのところ「3R推進月間」の10月は**6ポイント**お付けします。

※マイバッグポイントは本会員と家族会員合わせて、1日1回付与いたします。
※一部除外売場がございます。詳しくは売場係員におたずねください。

【連絡先】

株式会社小田急百貨店 総務部 CSR担当 麻田智彦

3.3 (株)近鉄百貨店	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】13店舗
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

「環境にやさしい買い物キャンペーン」は、環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的として各自治体により毎年実施されており、本年度もこれに協力する。

【主な活動内】

- ・簡易包装の推進、マイバッグのご利用促進などについて積極的に取り組むよう従業員への再周知（各店舗担当者・従業員への文書による通達実施）
- ・店内放送による「簡易包装」「買い物袋の持参」についての呼びかけ

【連絡先】

近鉄百貨店 総務本部CSR推進部 枝廣 真理子

3.4 (株)京急百貨店	【キャンペーン名】マイバッグご持参キャンペーン
	【参加店舗数】1店舗(上大岡店のみ)
	【実施期間】平成22年10月8日～10月31日

【目的・趣旨】

10月には、「3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間」。

環境省、経済産業省、全国の都道府県等が共同で「環境にやさしい買物キャンペーン」を実施し、「買い物」における3R行動に実践を呼びかけている。

当社においても、これまでと同様、この環境月間に、環境を意識した取組みを実施する。

【主な活動内容】

①朝礼時の社内放送や社内イントラネットを活用

- ・「包装ルール」の確認
- ・「一声お声がけ運動」の推進
- ・スマートラッピングバッグ、リユース袋の活用徹底
- ・従業員の買物包装をワンラッピング徹底

②お客様へのマイバッグご持参のご案内強化

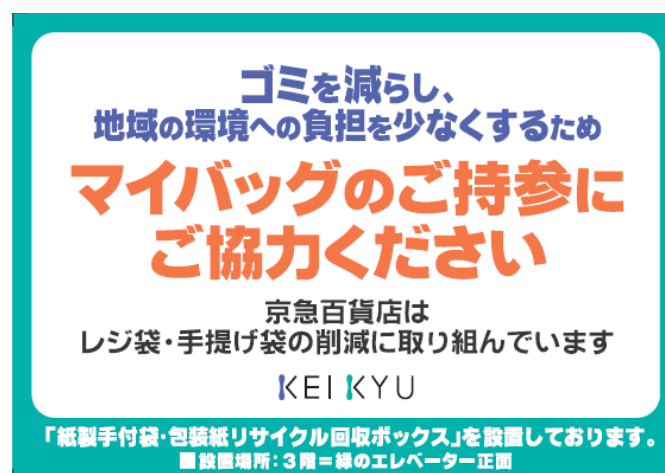
- ・各階の店内掲示板にマイバッグ利用促進の啓発ポスターを掲出
- ・店内放送によるマイバッグ持参の呼びかけ強化

③紙製手付袋・包装紙回収ボックスのご案内強化

- ・店内放送による回収ボックス設置のご案内強化
- ・マイバッグ利用促進の啓発ポスターへの併記による、店内掲示板での掲示

※ 当社ホームページ

(<http://www.keikyu-depart.com/enviroment/index.html>) もご覧ください。



(マイバッグ利用促進の啓発ポスター)

【連絡先】 経営計画部(環境事務局) 山下健介

3. 5 (株)山陽百貨店	【キャンペーン名】マイバッグキャンペーン
	【参加店舗数】1店舗
	【実施期間】通年
【目的・趣旨】適正包装の推進とレジ袋の削減	
【主な活動内容】	
店内にポスターを掲出しお客様へ周知を図ると共に、スマートラッピングへのご協力と、マイバッグ持参のお声掛けを実施。	
【トピックス】	
平成 20 年 11 月に姫路市及び姫路市消費者協会とレジ袋削減に関する協定を締結し、以降、レジ袋削減に向けて継続的に取り組んでいる。	
【連絡先】	
株式会社山陽百貨店 総務部 高島正明	

3.6 (株)下関大丸	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】1店舗
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【主な活動内容】

①マイバッグ持参のPR

目的・趣旨:ビニール袋、紙袋などの資材の削減のため。

活動内容:カーボンオフセット付エコバッグの販売とポスター、店内放送による推進キャンペーンの実施。

百貨店協会作成ポスターを掲示。

②レジ袋ご不要キャンペーン

目的・趣旨:レジ袋使用量の削減のため。

活動内容:「レジ袋ご不要 お申し出札」を食品集中レジカウンターへに設置。

百貨店協会作成の「レジ袋ご不要お申し出札」を設置。

③環境配慮型商品の積極的な販売

目的・趣旨:再資源化可能な商品など環境に優しい商品を増やすことによる資源の有効活用のため

活動内容:環境にやさしい商品を6品目新規取扱を開始した。(本年3月からの累計は68品目となった。)

商品にそれぞれマーク表示を実施。

④包装の簡素化(簡易包装)

目的・趣旨:包装紙などの使用量を削減のため。

活動内容:ポスター、店内放送および店頭販売員の声掛けの徹底によるキャンペーン実施。

毎日7回店内放送による啓発/百貨店協会作製ポスターの掲示。

⑤リターナブル容器、はかり売りによる販売。

目的・趣旨:食品廃棄物削減のため。

活動内容:食品売り場において、お取引先の協力により、量り売りを推進した。

新聞折込広告に「100g ○○円」と掲載する品目を増やした。

【トピックス】

毎週、日曜日は環境保全の朝礼を各売場・事務所で実施し、下関大丸勤務者の環境保全意識の向上と取り組みの強化を啓発した。

【連絡先】

事務統括部 環境推進事務局 永野裕二

3.7 (株)大丸松坂屋百貨店	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】大丸松坂屋百貨店18店舗(大丸関係百貨店各社においても実施)
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

「3R推進月間」を契機として、「Reduce(リデュース:消費する資源を減らす)」「Reuse(リユース:再使用する)」「Recycle(リサイクル:再生利用する)の「3R活動」を中心として百貨店らしい環境保全活動を展開する。

【主な活動内容/トピックス/写真】

全社環境推進事務局より、全店に「環境にやさしい買い物キャンペーン」の下記実施要領を通達するとともに、各店が創意工夫して「環境にやさしい買い物キャンペーン」を展開しました。

1. スマートラッピングの積極的なアピール

- 日本百貨店協会「スマートラッピング」の周知ポスターの掲示と「マイバッグ運動」、「ワンバッグ運動」、「簡易包装」などのお客様への呼び掛けの徹底。
- 当社オリジナル「エコバッグ」をはじめとするマイバッグの販売強化。
- 内閣府作成のポスターおよび店内放送による告知および周知。
- 日本百貨店協会作成の「レジ袋ご辞退札」の食品集中レジへの設置。

2. 環境配慮型商品コーナーの設置や環境配慮型商品の積極的な販売

- 「環境にやさしい商品・サービスの選定・提供のためのガイドライン」に沿った商品・イベント等の実施

3. 当社従業員に対する周知及び啓発。

- ・従業員のマイバッグ持参の奨励。
- ・10月1日(金)店長朝会による従業員への呼びかけ。

【事例1】大丸京都店10月度「ISOニュース」による通達

3R推進月間「環境にやさしい買い物キャンペーン」の取り組みについて

10月は、『環境にやさしい買い物キャンペーン』の推進月間です。政府・自治体および日本百貨店協会が、3R(スリーアール)※1の環境保全活動を、共同してお客様にお呼び掛けし、地球環境保護に取り組みます。それに合わせて、私たちも、お客様へのお声掛けだけでなく、自分にできる環境にやさしい取り組みをしていただきますよう、ご協力をお願いします！

1. 実施期間 10月1日(金) ～ 10月31日(日)
2. 活動内容
 - ①「3R推進月間」ポスターの店内掲示。
 - ②店内放送による「スマートラッピング※2」の告知および周知。
 - ③「レジ袋ご不要お申し出札」の食品集中レジへの設置。
 - ④オリジナルエコバッグの販売。(1階案内所にて500円(税込)で販売。黒・ベージュの2種類)
 - ⑤従業員自身の省資源への取り組み。(マイバッグ持参、不要用品の回収)

※1・・・『3R』とは 「リデュース：消費する資源を減らす」、「リユース：再使用する」、「リサイクル：再生利用する」ことです！

※2・・・『スマートラッピング』とは お客様にお伺いした上で、「贈答品はきちんと包む」・「ご自宅用品はシール のみ」・「まとめて入れる」といった、メリハリのある包装を、お客様自身にお選びいただくための呼びかけのこと。

3. 皆さんに取り組みのお願い

1：お客様へお声掛けをしましょう

- ★皆さんが商品を販売する際、お客様に「簡易包装でよろしいですか？」「お買上げシールを貼らせていただくだけでよろしいですか？」とお声掛けをしてください。
- ★同様に、小さなものを販売する際、お客様が袋やバッグ等をすでにお持ちの場合、「お持ちの袋にお入れしてもよろしいでしょうか？」とお声掛けをしてください。
- ★また、お客様が複数個の袋をすでにお持ちの場合、「袋をおまとめいたしましょうか？」とお声掛けをし、余った袋は物入れや商品の移動用など、売場内で有効に再利用してください。
- ★食品集中レジに「レジ袋ご不要お申し出札」を設置します。(11月以降も継続)
担当の売場の方は、札を取ってレジ袋をご辞退されたお客様に、「レジ袋削減にご協力いただきまして、ありがとうございます。」と丁寧にお礼の言葉をお伝えください。

2：自分の買い物にはマイバッグ持参を！

- ★ 皆さん自身の普段のお買い物についても、マイバッグを持参し、環境にやさしい買い物を心がけましょう！

【事例2】「レジ袋ご不要お申し出札」の全店食品集中レジへの設置

「環境にやさしい買い物キャンペーン」月間を契機として、「レジ袋ご不要お申し出札」を各店の食品集中レジへ設置してお客様のマイバッグご持参のご協力を呼びかけました。

また、大丸浦和パルコ店では、レジ袋ご辞退お申し出の都度「エコバッグカード」にスタンプを押印し、スタンプ100個でエコバッグ(小)、150個でエコバッグ(大)をプレゼントする特典を昨年秋より導入し、レジ袋削減の取り組みを推進しております。



【事例3】

当社社内報「ISOニュース」で、「容器包装リサイクル法」について解説し、容器包装の使用合理化の取り組みを奨励しました。

ISO NEWS

10月度-VOL.2 本社ISOニュース

2010/10/15

本社環境推進事務局



いつも環境保全にご協力を頂きまして有難うございます。

本月は3R推進月間にちなみ、循環型社会を形成するための法律の内、百貨店業務に密接な関係のある法律の一つである『容器包装リサイクル法』についてご説明します。

『容器包装リサイクル法』ってどんな法律なの？

平成19年4月1日より、指定容器包装利用事業者（小売業を営む当社は含まれます。）には、国が定める判断の基準となるべき事項に基づき、容器包装の使用の合理化のための取り組みを行うことが義務づけられました。

また年間50トン以上の容器包装を用いた容器包装多量利用事業者は、事業所所管省庁に、義務の実施状況を定期的に報告する必要があります。

ではどんなことが義務づけられているの？

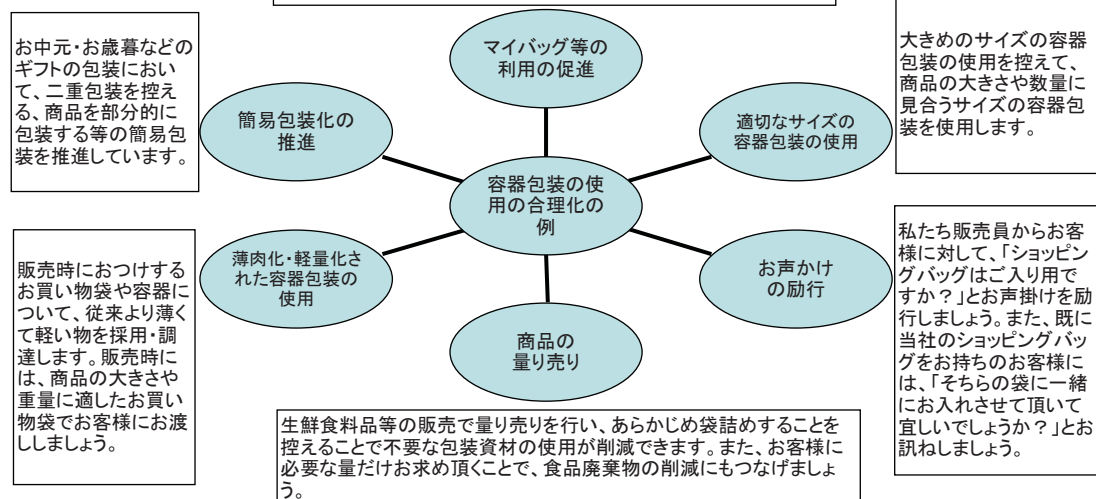
指定容器包装利用事業者は、容器包装の使用原単位の低減に関する目標*を定め、その目標を達成するための取り組みを計画的に行うことが義務づけられます。

*当社は、全社目的・目標で2009年度を基準年として、2012年度に基準年比5%削減することを目標に掲げています。またそのための取組を目標プログラムに定めて計画的に実行しています。

さらに、当社は容器包装を使用して事業を行う事業者として、使用した容器包装に応じた再商品化委託料（年間約18百万円）を容器包装リサイクル協会に支払い、再商品化義務を果たしています。

目標の設定と容器包装の使用の合理化のための取り組みとは？

例えば・・・



【連絡先】

本社CSR推進室 社会活動推進担当 岡田 康夫

3.8 (株)高松三越	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】高松本店1店
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

お客様の購買目的に合わせた包装を提案させていただくことで包装紙の節減を図るとともに、お買物をまとめさせていただくことで、手提げ袋の節減を図る三越マイバッグを提案する。

【主な活動内容/トピックス/写真】

香川グリーンコンシューマーのポスター掲示(マイバッグ持参の呼びかけ)及びチラシの配布
マイバッグに関する店内放送、環境にやさしい買い物キャンペーンの店内放送の実施(毎日5回)

【連絡先】

総務部 業務・品質管理 金子 実

3.9 (株)東急百貨店	【キャンペーン名】エコスタンプ ダブルプレゼントキャンペーン
	【参加店舗数】7店舗
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室及び経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課が実施する平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」に当社も趣旨に賛同し、参加・協力する。

【主な活動内容】

レジ袋不要とお申し出いただいたお客様を対象に実施しているエコスタンプの捺印を、期間内に限り通常の2倍とする。

【トピックス】

実施によりエコスタンプカード、通常月3,000枚程度の回収が6,200枚以上の回収となった。

【連絡先】

株式会社東急百貨店 総務部環境担当 三浦光則

3. 10 (株)東武宇都宮百貨店	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】2店舗
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

『環境省、及び日本百貨店協会より環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的とした『環境にやさしい買い物キャンペーン』についての協力依頼をいただきました。

当店では毎月5日をスマートラッピングの日として、容器包装の削減の活動を行なっておりますが、キャンペーン期間中については、さらなる容器包装の削減にむけて、エコ包装マニュアルをご参考に、お客様への積極的なエコ包装のご案内を行ない、容器包装の削減に努めていただくようご協力をお願いいたします。』（社内周知文書転記）

【主な活動内容】

- お客様へのエコ包装の案内（エコ包装マニュアル参考）
- 生鮮総合レジでのマイバッグスタンプカード等の案内
- 店内放送による呼びかけ
- ポスターの掲出

【連絡先】

総務部業務監理課 庄司 秀一

3. 11 (株)東武百貨店	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】2店舗(池袋本店・船橋店)
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日 ※一部は年間活動もあり

【目的・趣旨】

ごみを少なくし、エコバッグのご紹介などを通して、環境に配慮したライフスタイルをご提案する。

【主な活動内】

- ①店内放送(お客様への呼び掛け・1日数回)
- ②レシート印字
- ③立看板掲出(船橋店正面入口)
- ④「エコ包装マニュアル」を販売員に配布(常時携帯)
- ⑤東武オリジナルエコバッグの販売(年間)
- ⑥「スマートラッピング」(エコ包装)の推進「毎月5日はスマートラッピングの日」
- ⑦ホームページ「環境・社会への取り組み」で、環境活動及び環境配慮型商品の紹介
- ⑧周知徹底 月例会議で廃棄物排出状況及び容器包装の使用量(部門別)を報告

【トピックス】

平成22年度3R推進キャンペーン

「豊島区役所本庁舎ロビーパネル展」に参加(10月1日～10月14日)

当社のテーマ「3Rを通して廃棄物を減らす百貨店としての取り組み」

【その他】

買い物キャンペーン実施のご案内とオリジナルエコバッグのご紹介看板設置(船橋店)



【連絡先】

池袋本店 総務部業務監理担当 マネージャー
前田康行

3. 12 (株)新潟三越伊勢丹	【キャンペーン名】 スマートラッピング(簡易包装)の推進 および エコバッグの販売推進
	【参加店舗数】 2店舗(新潟伊勢丹・新潟三越)

【実施期間】

通年で取り組んではいますが、①6月1日～8月31日、②10月1日～12月31日、は中元・歳暮ギフト期間でもあるため、日本百貨店協会ならびに(株)三越伊勢丹と連携を図りながら推進を強化しています。

【目的・趣旨】

当社へのご来店ならびに商品お買い上げのお客さまに対して、店内ポスターやPOPの掲示、店内放送を通じて環境資源の保護の推進に取り組む。

【主な活動内容/トピックス/写真】

- ・店内用ポスターの掲示 … 店内階段および中元・歳暮ギフトセンター会場内に「スマートラッピング」、「マイバッグキャンペーン」推進ポスター等を掲示
- ・店内POPの掲示 … 「スマートラッピング」POPを歳暮ギフトセンター内のカウンターなどに設置
- ・店内放送の実施 … 上記強調月間を中心に営業時間中に1日3回、店内放送を実施
- ・スマート・クール・バッグの販売(7月～8月)
 - ①新潟伊勢丹:200個(完売)、②新潟三越:150個(完売)
- ・エコバッグの販売 … ①新潟伊勢丹:90個、②新潟三越:144個 ※4～9月迄の実績

【写真】



歳暮ギフトセンター：掲示ポスター



通年掲示ポスター(新潟三越)



エコバッグ(新潟三越)

【連絡先】

株式会社 新潟三越伊勢丹 総務部総務担当庶務 渡部 勝(ワタナベ マサル)

3. 13	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
(社)日本フランチャイズチェーン協会	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

レジ袋の削減に取り組む。

【参加店舗数】

12 社 44,884 店舗(平成 22 年 10 月末現在)

会 社 名	店 舗 数
国分グローサースチェーン(株)	156 店舗
(株)ココストア	821 店舗
(株)サークルKサンクス	6,256 店舗
(株)スリーエフ	635 店舗
(株)セイコーマート	1,086 店舗
(株)セブン-イレブン・ジャパン	12,942 店舗
(株)デイリーヤマザキ	1,632 店舗
(株)ファミリーマート	8,015 店舗
(株)ファミリーマート ampm 事業・統合本部	701 店舗
(株)ポプラ	695 店舗
ミニストップ(株)	2,032 店舗
(株)ローソン	8,942 店舗
小 計	43,913 店舗
(株)九九プラス	971 店舗
合 計	44,884 店舗

【主な活動内容】

レジ袋削減の取り組み

- ①お客様に対する声かけの実施
- ②適正サイズのレジ袋使用の徹底
- ③協会統一ポスターを全店舗に掲示し、お客様へのPRを実施。等



協会統一ポスター

【連絡先】

CSR推進部 島村 真司

3. 14 (株)浜屋百貨店	【キャンペーン名】マイバッグ キャンペーン
	【参加店舗数】2店舗(長崎店・大村店)
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

家庭からのゴミ排出抑制に向けて、レジ袋に代えて「お買物袋」(マイバッグ)をご持参いただくことや簡易包装により、包装資材の削減にご協力いただくなど地球環境保護へのご理解を呼びかける。

【主な活動内容】

- ◇店内放送の実施
- ◇百貨店協会制作「スマートラッピング」ポスター掲示
- ◇店内販売員による簡易包装ご協力の呼びかけ

【トピックス】

年間の中で開催する「お得意様特別招待会」案内DM封筒をご持参いただいたお客様の中から抽選で毎回 200 名様に浜屋オリジナルマイバッグを進呈。・・・5 年前より実施。

※創業 70 周年の 1 年間は、毎回 700 名様に進呈

【連絡先】

株式会社 浜屋百貨店 営業推進部 店舗運営担当 田賀農 聡

3. 15 (株)阪急阪神百貨店	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】14店舗
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

店頭のお客様に対し、ご家庭でのごみの 60%をしめるといわれる包装資材のごみを減らし、省資源にも貢献するために、簡易包装をはじめ適正包装のご協力をお願いした。

【主な活動内容/トピックス/写真】

店内放送でのよびかけ、ポスター掲示、従業員からのお声がけ

【連絡先】

総務室総務部 木下 京子

3. 16 (株)藤崎

【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン

【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【主な活動内容】

(1)お客様へ簡易包装とマイバッグ持参の呼びかけを行なった。

①ポスターの掲示

本館地下1階 菓子セレクション、本館地下2階 生鮮食品、店内案内所(大町玄関・青葉通り玄関)、フードマーケット、各営業店、サテライト部各店

(ポスター内容)

ポスター製作 : 環境省 経済産業省 3R活動推進フォーラム

PR キャラクター : こまめちゃん

サイズ : A4判サイズ・タテ型

②店内放送

連日13時、16時に放送

(2)従業員へ周知をはかった。

①連絡票にてキャンペーンの取り組み内容や従業員がお客様にお渡しする時の目安とするための手付き袋破袋強度試験結果の周知をはかった。

②社内の環境委員会メンバーが、キャンペーン実施前に各部門の朝礼を利用し趣旨等の説明を行なった。

(3)マイバッグの10月販売実績

①本館玄関口 112枚 (前年比130.7%)

②B2F生鮮食品 74枚 (前年比246.7%)

③フードマーケット 11枚 (前年比40.9%)

※ フードマーケット(泉区に展開している食料品のみを取扱う別店舗)においては、平成21年4月よりレジ袋を有料化し、マイバッグ持参率が高くなっていることから、マイバッグの販売数は落ち着いた傾向にある。

【トピックス】

リビング売場においては、従来通り手付き袋におまとめする呼びかけやセール品等は包装せず直接袋に入れて袋の間口をシールで止める等、過剰包装防止に努めた。

今後も引き続き、店内案内所で商品の入れ替えによって余った袋があった場合は、総務担当や販促担当で社内用として、店内掲示物、印刷物や用度品の運搬等に再使用をしていく。

3. 17 (株)水戸京成百貨店	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】1店舗
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

従業員ならびにお客様への容器包装の削減と環境保全・社会貢献活動の周知徹底

【主な活動内】

店内へのポスターの掲示。

【連絡先】

株式会社水戸京成百貨店 総務部総務担当 平松

3. 18 (株)ヤマトヤシキ	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】2店舗(姫路・加古川)
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

環境に配慮した生活・経済活動を促進すること

【主な活動内容】

ポスター・統一デザイン使用による告知とともに、インナーキャンペーンとして簡易包装の推進、顧客向けキャンペーンとしてエコバッグ持参の呼びかけ・販売、簡易包装への協力呼びかけ、等を実施。

【連絡先】

総務部 伊角賢一

3. 19 (株)ユニバース	【キャンペーン名】環境にやさしい買い物キャンペーン
	【参加店舗数】47店舗
	【実施期間】平成22年10月1日～10月31日

【目的・趣旨】

マイバッグ持参運動、簡易包装の推進、資源物の店頭回収等を通じて省エネルギー、廃棄物の発生抑制・分別・再資源化促進の啓蒙を推進する。

【主な活動内】

- (1) マイバッグ持参促進
 - ・ PRポスターの掲示、持参率掲示(月毎)
 - ・ 店内放送・BGM、折込チラシでマイバッグ持参を呼びかけ
 - ・ マイバッグ持参者へのポイント付与サービス(レジ袋無料配布店舗)
- (2) 環境にやさしい商品の品揃えとPR
 - ・ 商品が判別しやすいようにPOP表示をし、折込チラシでPR
- (3) アイドリングストップのPR
 - ・ 店内放送、折込チラシで協力を依頼
- (4) 店内の掲示板に環境コーナーを設け、ごみ減量やリサイクルの取り組み

内容、資源物の回収量をポスターやPOPで紹介し、お客様にご理解を呼びかけている。
- (5) ホームページによる環境関連の情報開示

【トピックス】

イベント参加者へエコバッグを無料配布

サッカー教室参加者(10/2 実施) 200 個

もりおか岩手ウォーク参加者(10/3 実施) 750 個

ちびっ子健康マラソン大会参加者(10/10 実施) 1,250 個

南部山ウォーク参加者(10/31 実施) 450 個

【連絡先】

店舗運営部 店舗運営サポートグループ長 盛田正洋

3. 20	(株)良品計画	【キャンペーン名】 FUKU-FUKUプロジェクト
		【参加店舗数】 297店舗
		【実施期間】 平成22年10月1日～10月12日

【目的・趣旨】

FUKU-FUKU プロジェクトは、日本環境設計株式会社が保有する綿繊維をバイオエタノールとして再生する新しい技術を中心に繊維製品の100%リサイクルをめざし、今年6月に発足した企業連携プロジェクトです。無印良品は事業化開始前の実験段階からのメンバーであり、今年度は事業化開始時に第1回の回収キャンペーンを行いました。環境にやさしい買い物キャンペーン時の実施は2回目の実施となります。

【主な活動内容/トピックス/写真】

- 参加店舗店頭における不要になった繊維製品の回収
- リリースにて環境にやさしい買い物キャンペーンへの参加表明
- ホームページでリサイクルに関する情報を発信

【トピック的な事例、その他】

- キャンペーンポスター、リリース



●ホームページ発信情報

実際にリサイクルを行っている現場をレポートした記事を掲載



【連絡先】

株式会社良品計画 企画室 環境広報担当課長 赤峰 貴子

4.1 キャンペーン実施方針

平成22年8月6日
環境省大臣官房・廃棄物リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室

平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施方針

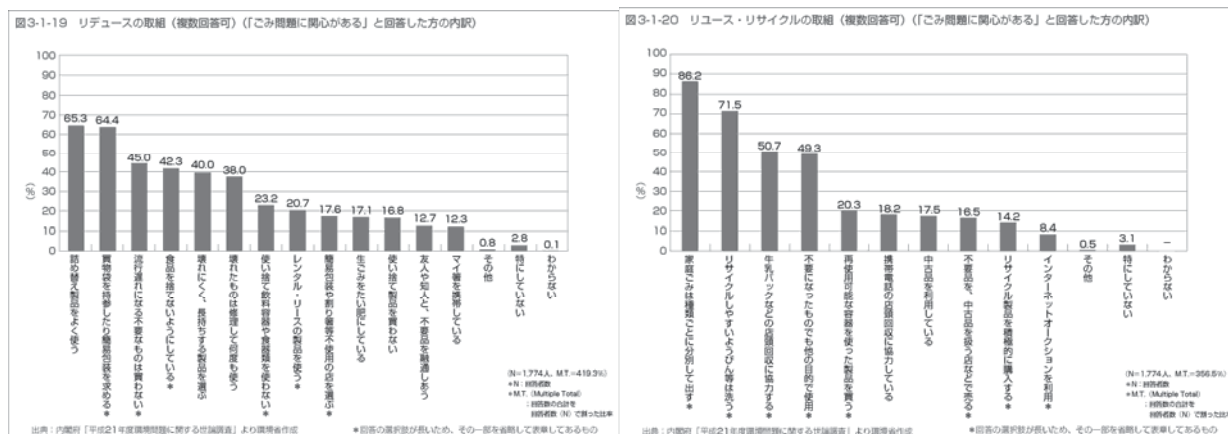
【目的】

循環型社会形成推進基本法(平成12年法律第110号)に基づく第2次循環型社会形成推進基本計画(平成20年3月閣議決定。以下「循環基本計画」という。)において、「循環型社会の構築には国民一人一人に循環に配慮した持続可能なライフスタイルへの変革が重要」であり、それを実現するための国の取組として、地方公共団体等の各関係主体と連携を図りながら環境教育等を総合的に推進することとされております。

また、平成22年3月に閣議報告がなされた循環基本計画の進捗状況の第2回点検結果では、循環基本計画の取組指標に関する目標「循環型社会形成に向けた意識・行動の変化(※)」について、ごみ問題への意識については、「ごみ問題に関心がある」との回答率は82.1%と高いレベルにあるものの、「使い捨て製品を買わない」、「リサイクル製品を積極的に購入している」といった具体的行動については低い回答率のものも見られ、国民の高い意識を実際の行動につなげるため、消費の実態をより一層把握した上での行動につながる情報発信も引き続き重要とされたところです。

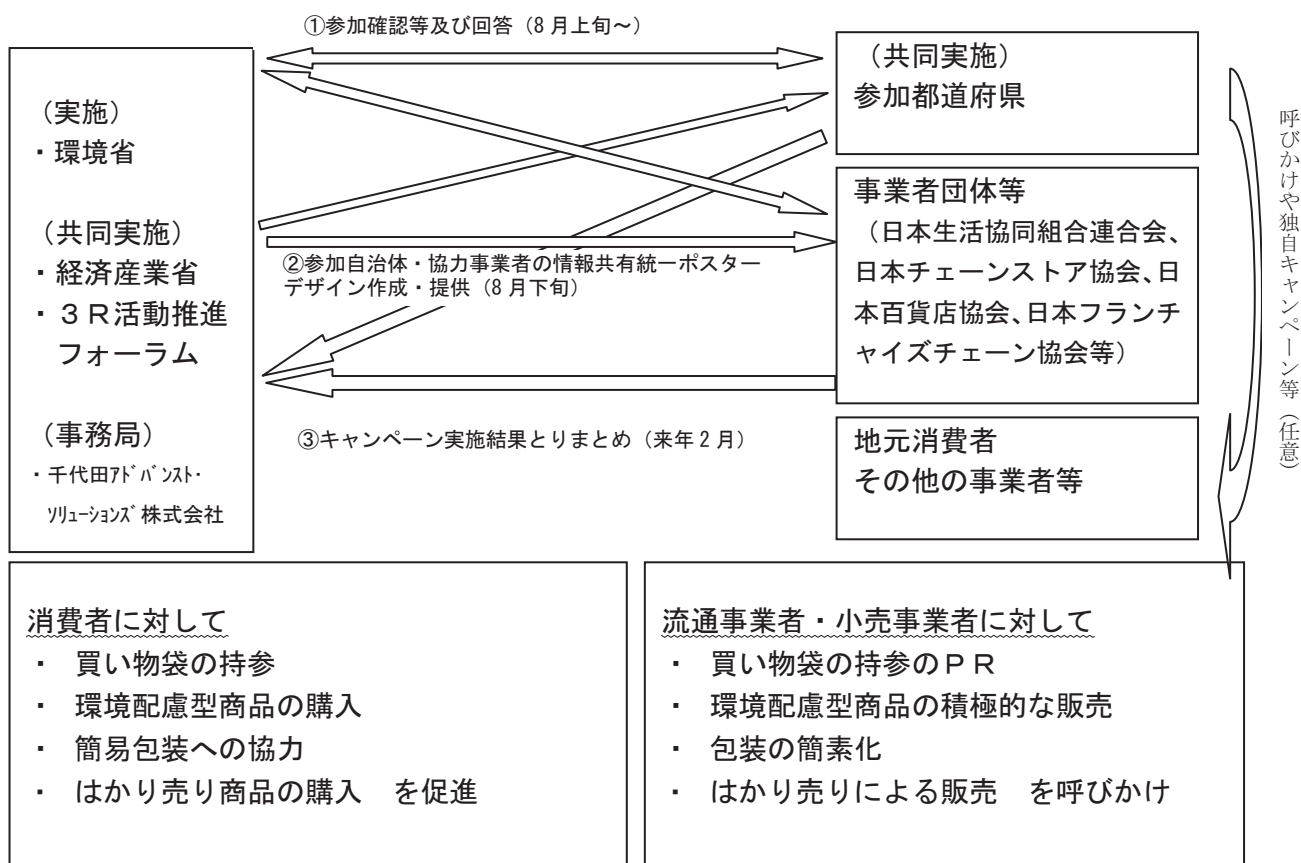
これらを踏まえ、消費者、事業者(主として流通業)、行政、消費者団体、NPO等の連携による地域活動を推進し、国民に環境に配慮した消費行動を促すことにより、地域レベルでの循環型社会の形成を図るため、本年度も引き続き「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施することとします。

※循環型社会形成に向けた意識・行動の変化(平成22年版環境白書より抜粋)



4.1 キャンペーン実施方針

【実施体制】



【実施期間】

平成22年10月1日～平成22年10月31日

【環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部の実施内容】

- 各都道府県の独自性を尊重しつつ、全国的な統一感を保つため、経済産業省、3R活動推進フォーラムと連携して、以下を実施します。
- ・全国組織等との連絡調整（流通事業者への協力要請等）
- ・キャンペーン実施に向けた参加都道府県との連絡調整（実施内容等の調査、とりまとめ等）
- ・普及啓発資材の作成・配布（統一ポスターデザイン等の作成・配布（電子媒体））
- ・PR活動（記者公表、HPへの掲載、政府広報を通じてのPR等（9月～10月））
- ・キャンペーンの実施結果のとりまとめ（平成23年2月頃）

○各都道府県におかれましては、本キャンペーンにご賛同いただき、国が呼びかけを行う事業者団体に所属していない地元事業者への呼びかけや、国の取組との整合性を保ちつつ独自のキャンペーンの実施など、取組の促進をいただきたく、お願い申し上げます。

(参考)

【平成21年度の都道府県等の参加状況】

①参加都道府県

45都道府県が参加

②参加流通事業者数

全国で87社、約4万7千店舗

4. 2 都道府県協力依頼

平成22年8月6日

各都道府県

「環境にやさしい買い物キャンペーン」ご担当者 様

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室
経済産業省産業技術環境局
リサイクル推進課

平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」への協力依頼について

循環型社会形成の推進につきましては、平素から格別のご協力を賜り、感謝申し上げます。

『環境にやさしい買い物キャンペーン』は、環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的として、平成12年度に東京都をはじめ14都府県による共同キャンペーンとして開始され、現在は、ほぼ全ての都道府県が参加したところであり、自治体における取組が一層拡大しているところです。これらの状況を踏まえ、昨年度から環境省において全国参加自治体の取りまとめを実施することとしました。

つきましては、「平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施方針」（添付資料2）をご覧頂くとともに、本キャンペーンの実施意向につきまして、誠に勝手ながら**8月20日(金) 12:00**までに、「平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施意向について」（添付資料3）を、ご記入の上、以下の提出先宛にメールまたはFAXにて提出下さいますよう、よろしくお願い致します。

なお、本キャンペーンは、各都道府県独自の取組みを尊重しつつ、都道府県間で連携できるものは共同実施し、全国的な統一感を保っていきこうという基本方針のもとで展開しております。

また、本キャンペーンの実施に際しては、3R活動推進フォーラムと共同で実施する予定ですので、念のために申し添えておきます。

※ポスターデザイン及び統一デザインにつきましては、近日中に確定する予定であります。

確定次第、電子データを郵送にてお送り致しますので、ご承知おき下さいますよう
よろしくお願い致します。

【提出期限】平成22年8月20日(金)12:00

【提出先】千代田アドバンス・ソリューションズ株式会社

環境・戦略コンサルティングユニット 武田宛

FAX : 045-441-1208

E-mail : kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

4. 3 キャンペーン実施意向回答書(都道府県)

【提出期限】平成22年8月20日(金)12:00

【提出先】千代田アドバンス・ソリューションズ株式会社

環境・戦略コンサルティングユニット 武田宛

FAX :045-441-1208

E-mail :kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施意向について

下記のⅠ及びⅡについては、全ての都道府県においてご回答をお願い致します。

また、Ⅲ及びⅣについては、Ⅱで「1. 実施する」又は「3. 検討中」とご回答頂いた都道府県のみご回答をお願いいたします。

記

Ⅰ 連絡先

都道府県名	
部 課 名	
担 当 者 名	
T E L	
E - m a i l	

Ⅱ 平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』への実施意向について、
該当番号を回答欄に記入して下さい。

1. 実施する 2. 実施しない 3. 検討中 回答

Ⅲ 実施される場合の実施主体名

--

Ⅳ 実施される場合のキャンペーンの名称 (昨年度ご登録頂いた名称は、添付資料4を参照下さい)

--

Ⅳ その他ご意見等 (実施方針(素案)に対するご意見がございましたら、こちらにご記入いただいても結構です。)

--

4. 4 キャンペーン趣旨書

平成22年8月6日
環境省大臣官房・廃棄物リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室

平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』趣旨書

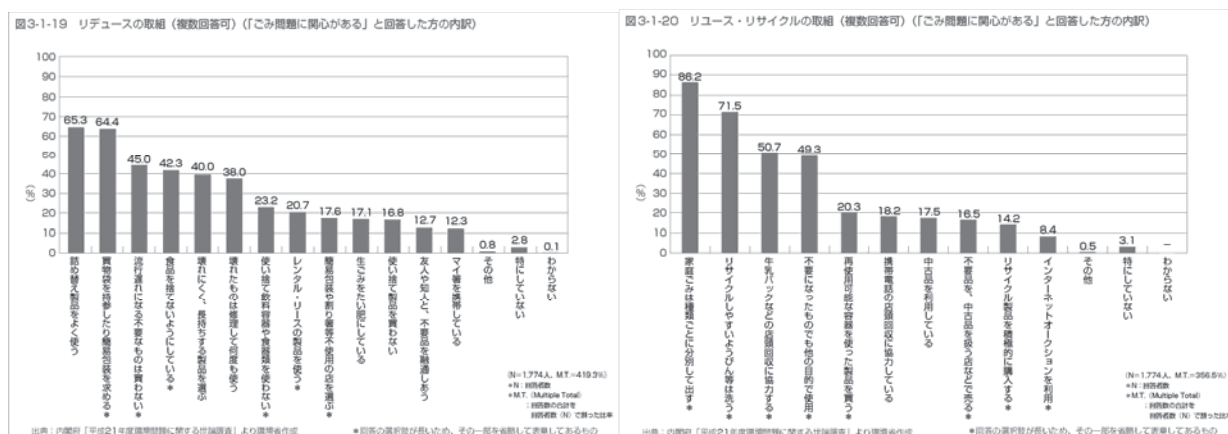
【目 的】

循環型社会形成推進基本法(平成12年法律第110号)に基づく第2次循環型社会形成推進基本計画(平成20年3月閣議決定。以下「循環基本計画」という。)において、「循環型社会の構築には国民一人一人に循環に配慮した持続可能なライフスタイルへの変革が重要」であり、それを実現するための国の取組として、地方公共団体等の各関係主体と連携を図りながら環境教育等を総合的に推進することとされております。

また、平成22年3月に閣議報告がなされた循環基本計画の進捗状況の第2回点検結果では、循環基本計画の取組指標に関する目標「循環型社会形成に向けた意識・行動の変化(※)」について、ごみ問題への意識については、「ごみ問題に関心がある」との回答率は82.1%と高いレベルにあるものの、「使い捨て製品を買わない」、「リサイクル製品を積極的に購入している」といった具体的な行動については低い回答率のものも見られ、国民の高い意識を実際の行動につなげるため、消費の実態をより一層把握した上での行動につながる情報発信も引き続き重要とされたところです。

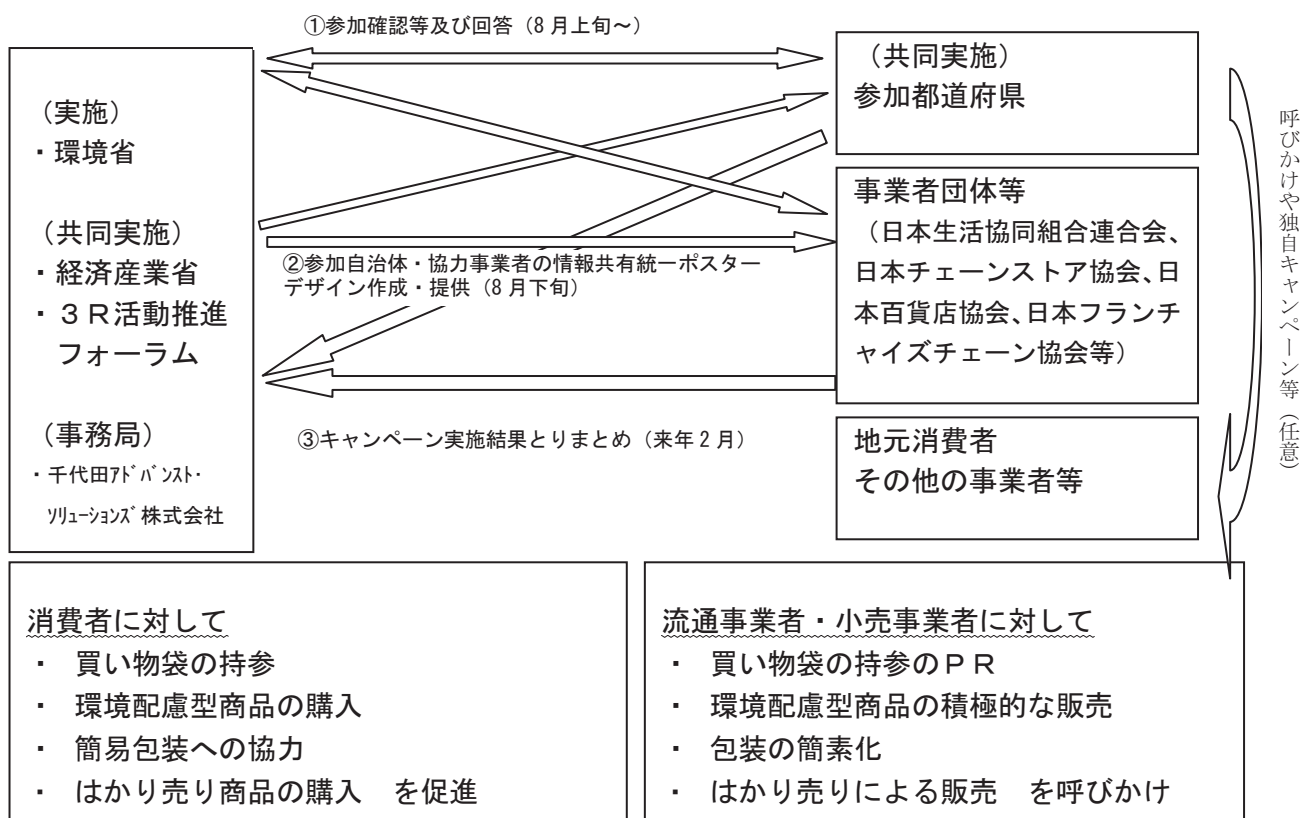
これらを踏まえ、消費者、事業者(主として流通業)、行政、消費者団体、NPO等の連携による地域活動を推進し、国民に環境に配慮した消費行動を促すことにより、地域レベルでの循環型社会の形成を図るため、本年度も引き続き「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施することとします。

※循環型社会形成に向けた意識・行動の変化(平成22年版環境白書より抜粋)



4. 4 キャンペーン趣旨書

【実施体制】



【実施期間】

平成22年10月1日～平成22年10月31日

【事業者等の実施内容】

貴社のご判断により、以下の例にならない、それぞれの店舗においてご協力いただけるものを実践して頂きます。

(例)

- 消費者に対し、「買い物袋の持参」、「環境配慮型商品の購入」、「簡易包装への協力」、「リターナブル容器、はかり売り商品の購入」等について、以下のような方法で呼びかけ
 - ・貴社の広報媒体やチラシ(*)、店内放送、レジでの呼びかけ
 - ・買い物袋持参者へのスタンプ押印や特典の実施 等※内閣府作成のポスターデザイン・統一デザインを是非ご活用下さい (添付資料3 参加申込書内2項参照)
- 環境配慮型商品コーナーの設置や環境配慮型商品の特売等、環境配慮型商品の積極的な販売
- 包装の簡素化
- はかり売り等による販売
- その他、本キャンペーンの目的にかなった各事業者独自の取組み

【本キャンペーン参加事業者の消費者への周知】

国や自治体の広報により、参加事業者名と、参加店舗数についてご紹介させていただきます。

【参加方法】

参加申込書 (添付資料3) に必要事項を記入の上、以下、お問い合わせ先・参加申込み先にて8月20日 (金) 12:00までにお申し込みください。

4. 4 キャンペーン趣旨書

【お問い合わせ先・参加申し込み先】

千代田アドバンス・ソリューションズ株式会社 環境・戦略コンサルティングユニット 武田宛
TEL 045-441-1489 / FAX 045-441-1208 e-mail: kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

【参 考】

○環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部の実施内容

- ①各都道府県の独自性を尊重しつつ、全国的な統一感を保つため、経済産業省、3R活動推進フォーラムと連携して、以下を実施します。
 - ・全国組織等との連絡調整（流通事業者への協力要請等）
 - ・キャンペーン実施に向けた参加都道府県との連絡調整（実施内容等の調査、とりまとめ等）
 - ・普及啓発資材の作成・配布（統一ポスターデザイン等の作成・配布（電子媒体））
 - ・PR活動（記者公表、HPへの掲載、政府広報を通じてのPR等（9月～10月））
 - ・キャンペーンの実施結果のとりまとめ（平成23年2月頃）
- ②各都道府県におかれましては、本キャンペーンにご賛同いただき、国が呼びかけを行う事業者団体に所属していない地元事業者への呼びかけや、国の取組との整合性を保ちつつ独自のキャンペーンの実施など、取組の促進をいただきたく、お願い申し上げます。

③平成21年度の都道府県等の参加状況

参加都道府県：45都道府県が参加

参加流通事業者数：全国で87社、約4万7千店舗

4.5 流通事業者協力依頼

平成22年8月6日

各 位

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室
経済産業省産業技術環境局
リサイクル推進課

平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』への協力依頼について

貴社におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

『環境にやさしい買い物のキャンペーン』は、環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的として、平成12年度に東京都をはじめ14都府県による共同キャンペーンとして開始され、現在は、ほぼ全ての都道府県が参加したところであり、自治体における取組が一層拡大しているところです。これらの状況を踏まえ、昨年度から全国参加自治体の取りまとめを実施することとしました。（今年も47都道府県への呼びかけを、現在実施しております。）

本キャンペーンを成功させるためには、行政だけの取り組みでなく、実際に環境に配慮した商品・サービスを取り扱っている事業者等の皆様方のご参加・ご協力が不可欠であります。平成22年度も、事業者の皆様方にご協力頂きながら、さらにその輪を拡大させて参りたいと考えております。

つきましては、「平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』趣旨書」（添付資料2）をご覧頂くとともに、本キャンペーンにご参加・ご協力頂ける場合には、誠に勝手ながら8月20日(金) 12:00までに、「参加申込書」（添付資料3）を以下の問合せ先宛にお送り頂きますようお願い申し上げます。お送り頂きました参加申込書は、下記問合せ先において内容を取りまとめ、参加都道府県に周知するとともに、国や自治体の各種広報等において、事業者名等を広く国民の皆様にご紹介させていただきます。

なお、本キャンペーンは、各都道府県独自の取組みを尊重しつつ、都道府県間で連携できるものは共同実施し全国的な統一感を保っていかうという基本方針のもとで展開していますので、参加都道府県から個別のご依頼がございましたら、可能な限りご協力頂きますよう、併せてお願い申し上げます。

また、本キャンペーンの実施に際しては、3R活動推進フォーラムと共同で実施する予定ですので、念のために申し添えておきます。

問合せ先

千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社

環境・戦略コンサルティングユニット 武田宛

TEL:045-441-1489/ FAX:045-441-1208

e-mail: kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

4. 6 キャンペーン参加申込書(流通事業者)

送付先：《メール》 kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp 《FAX》 045-441-1208

1・2枚目をご記入の上、メール又はFAXください。

千代田アドバンスト・ソリューションズ(株) 環境・戦略コンサルティングユニット武田宛

TEL 045-441-1489

◆申込締切 平成22年8月20日(金) 12:00

平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」

参加申込書

貴社名	
所在地	〒
担当者 連絡先	役職・お名前:
	TEL :
	FAX :
	E-mail :
ポスター・統一デザイン送付先(下記2をご覧の上、ポスター・統一デザインの送付をご希望される場合にご記入下さい)	

本キャンペーンへの参加にあたり、下記1～2についてお答えください。

1. 店舗数について

貴社の各都道府県別の店舗数を下表にご記入ください。

(ホームページ等による広報において、参加事業社名と参加店舗数の紹介に使用します。)

県名	店舗数	県名	店舗数	県名	店舗数
北海道	店舗	富山	店舗	鳥取	店舗
青森	店舗	石川	店舗	島根	店舗
岩手	店舗	福井	店舗	岡山	店舗
宮城	店舗	山梨	店舗	広島	店舗
秋田	店舗	長野	店舗	山口	店舗
山形	店舗	岐阜	店舗	徳島	店舗
福島	店舗	静岡	店舗	香川	店舗
茨城	店舗	愛知	店舗	愛媛	店舗
栃木	店舗	三重	店舗	高知	店舗
群馬	店舗	滋賀	店舗	福岡	店舗
埼玉	店舗	京都	店舗	佐賀	店舗
千葉	店舗	大阪	店舗	長崎	店舗
東京	店舗	兵庫	店舗	熊本	店舗
神奈川	店舗	奈良	店舗	大分	店舗
新潟	店舗	和歌山	店舗	宮崎	店舗
				鹿児島	店舗
				沖縄	店舗
				全国計	店舗

H22 年度も、47 都道府県への呼びかけを実施しております。



(次ページへ続く)

4. 6 キャンペーン参加申込書(流通事業者)

2. ポスターデザイン及び統一デザインについて

(1) ポスターデザイン及び統一デザインの活用

環境省では、貴社の広報媒体やチラシなどで、本キャンペーンに参加していることのPR等に活用していただけるように、政府広報キャラクターを用いたポスターデザイン及びポスターデザインと同一キャラクターによる統一デザインの電子データをご用意しております(下図は前年度版で、本年度版は現在作成中ですが、基本的なデザインの変更予定はありません)。

ご要望に応じてポスターデザイン及び統一デザインの電子データを、電子媒体(CD-R)にて配布させていただきます。

※誠に申し訳ございませんが、1事業者につき「電子媒体(CD-R)」1部とさせて頂いておりますので、各店舗でのご活用につきましては、コピーにてご対応願います。



コマメに買い物袋を持ち歩きましょう。



包装はできるだけ少ないものを選びましょう。



容器は再使用できるものを選びましょう。



長く使えるものを選びましょう。



資源やエネルギーを浪費しないものを選びましょう。



再生品を選びましょう。

貴社の広報媒体・チラシ等へのポスターデザイン・統一デザインの活用について
(貴社で対応いただける事項に○を付けてください。)

- ・ ポスターデザイン・統一デザインを活用する → 下記の「(2)送付先」へ
- ・ 参加はするが、ポスターデザイン・統一デザインは活用しない

4. 6 キャンペーン参加申込書(流通事業者)

(2) 送付先 (ポスターデザイン・統一デザインを活用される場合)

ポスターデザイン・統一デザインの電子データを、電子媒体(CD-R)にて送付いたしますので、下記の項目を含んだ「送付先」(様式自由。既存のもので可)を参加申込書の所定欄にご記入ください。

(送付先の注意事項)

電子媒体(CD-R)の送付につきましては、1事業者につき1部とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

【送付先の必要項目】(様式自由。既存のもので可)

(1) 名称(宛先名) (2) 郵便番号、住所 (3) 電話番号

※ 参加申込書の所定欄にご記入ください。

※ 参加申込書の担当者情報と同様の場合は、その旨をご記入下さい。

(ご協力ありがとうございました。)

環境にやさしい 買い物キャンペーン



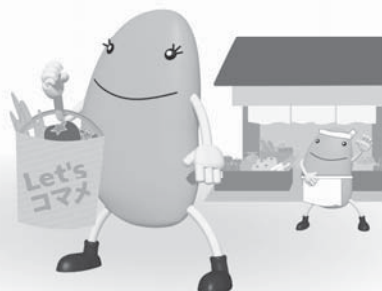
10月は3R推進月間です。RRR
環境にやさしい買い物をしましょう。

資源や
エネルギーを
浪費しないものを
選びましょう。



コマメに買い物袋を
持ち歩きましょう。

買い物袋やふろしきを使って
レジ袋を減らそう。



再使用できる容器や
つめかえ製品を
選びましょう。



マイバッグ キャンペーンです

平成22年

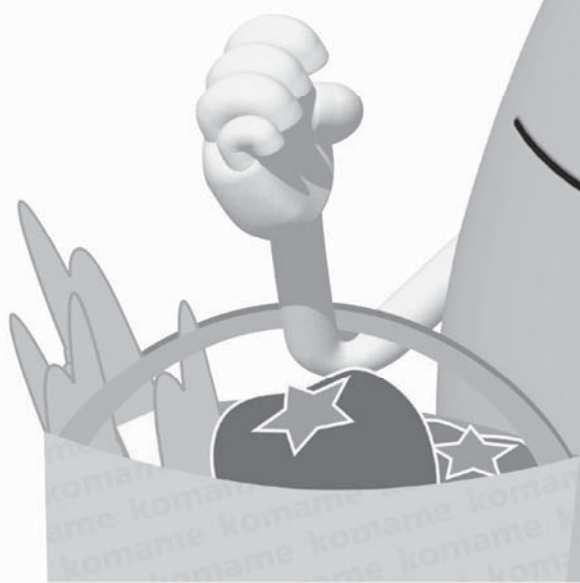
10月1日(金)



10月31日(日)

10月は3R推進月間です。 
環境にやさしい買い物をしましょう。

コマメに買い物袋を
持ち歩きましょう。



再使用できる容器や つめかえ製品を選びましょう。

平成22年

10月1日(金)



10月31日(日)

10月は3R推進月間です。 **RRR**
Reduce Reuse Recycle
環境にやさしい買い物をしましょう。

リターナブルびん



水筒・タンブラー



つめかえ製品



平成22年度

「環境にやさしい買い物キャンペーン」グラフィックマニュアル

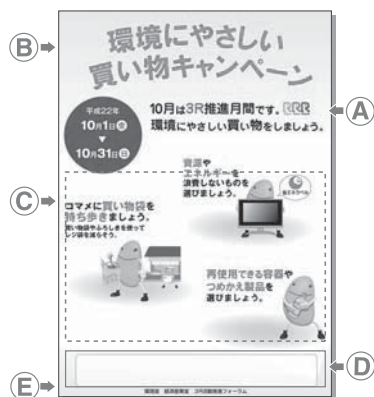
このデザインは、平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」のために制作されたものです。

当キャンペーンのPRのためのポスター・チラシ等の原図としてご活用ください。

また、広報記事等に添えるイラストとしてもご活用ください。

ポスター・チラシの原図として使用する場合は、以下のルールをお守りください。

<パターン①>



<パターン②>



<パターン③>



A 3R推進月間の告知について

リデュース・リユース・リサイクル(3R)キャンペーンマークと、「10月は3R推進月間です」を必ず入れてください。

B 標語について

- 標語は原則として「環境にやさしい買い物」を含むものとします。(パターン①)
- 他の標語とする場合は、副題として「環境にやさしい買い物」が入ったサブコピー(文言)を併記するか、もしくは、余白に記載することとします。(パターン②、③)

標語例1 環境にやさしい買い物キャンペーン
平成22年10月1日～10月31日

例2 10月は、環境にやさしい買い物キャンペーン月間です。

例3 ○～○月は、環境にやさしい買い物キャンペーンです。

例4 ○月はマイバッグキャンペーンです。
(副題もしくは余白に)環境にやさしい買い物をしましょう。
(と併記する)(パターン②、③)

C 統一デザインの使用について

- 6点のデザインの中から使用するデザインを自由に選んでください。(複数使用可)(パターン①、②)
- パターン③についてはABDE以外デザインを変更しないでください。
- 基本的に、各デザインに付随するコメント(例:コマメに買い物袋を持ち歩きましょう。)を添えてください。
※ コメントの位置や字体、大きさは変更可能です。

D その他

必要に応じて、文字情報を追加して下さい。

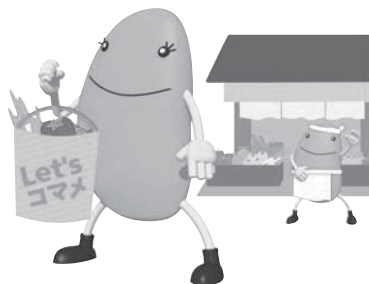
例1 (主催者名として)○○県・○○協会(を入れる)
例2 10月○日～10月○日は「キャンペーン強調週間」です
例3 「○日はレジ袋 NO Dayです」

E 主催団体の表記について

「環境省 経済産業省 3R活動推進フォーラム」を必ず入れてください。

平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」用清刷り(色見本)

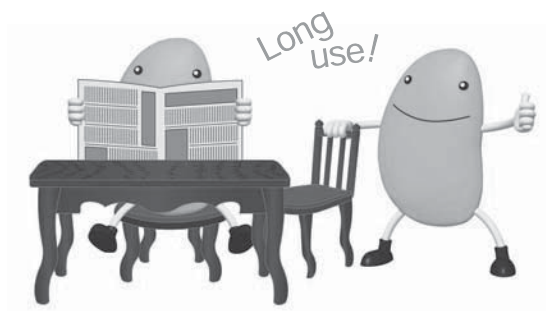
コマメに買い物袋を持ち歩きましょう。



包装はできるだけ
少ないものを選びましょう。



長く使えるものを選びましょう。



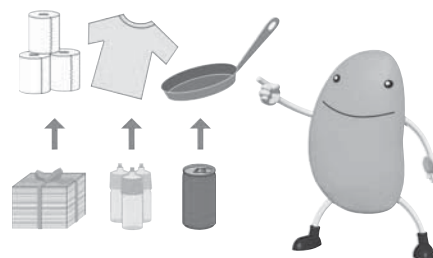
容器は再使用できるもの
を選びましょう。



資源やエネルギーを
浪費しないものを選びましょう。



再生品を選びましょう。



〈ご使用の際の留意点〉

●本清刷りを反射原稿として使う場合(ちらし等)

本清刷りは線数200線で印刷した細密原稿です。反射原稿としてカラーまたはモノクロでご使用になる場合は、そのまま原画として印刷会社にお渡しください。その際、制作印刷物内のイラストのサイズは、原画の120%拡大までを限度とし、それ以上に拡大してご使用になる場合(ポスター等)は別途データCD-Rをご使用ください。

●データCD-Rを使う場合(ポスター等)

CD-R内の各データは、埋め込み画像付きのイラストレーターデータです。ご使用にはアドビ社のイラストレーターソフト(バージョン 10.0 以上)が必要となります。ご使用の際は、各画像を(パスデータ・埋め込み画像をセットで)コピーしてお使いください。

必ず、色調、デザインは変えずにそのままお使いください。

4. 8 キャンペーン参加団体一覧

平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』参加都道府県一覧

都道府県	キャンペーン名称	実施主体名
1 北海道	3R推進キャンペーン	北海道
2 青森県	レジ袋削減キャンペーン	青森県
3 岩手県	環境にやさしい買い物キャンペーン	岩手県
4 宮城県	マイ・バッグ・キャンペーン	宮城県
5 秋田県	レジ袋削減・マイバック推進運動	秋田県
6 山形県	環境にやさしい買い物キャンペーン	ごみゼロやまがた推進県民会議
7 福島県	環境にやさしい買い物推進キャンペーン	福島県
8 茨城県	レジ袋削減運動	茨城県、環境保全茨城県民会議、県内市町村
9 栃木県	マイ・バッグ・キャンペーン	栃木県
10 群馬県	ストップ温暖化！県民アクション	群馬県
11 埼玉県	マイバッグ・キャンペーン	埼玉県、県下の市町村
12 千葉県	ちばレジエコキャンペーン	千葉県
13 東京都	環境にやさしい買い物キャンペーン	東京都、都内区市町村
14 神奈川県	マイバッグキャンペーン	神奈川県
15 新潟県	3Rキャンペーン	新潟県、環境にやさしい買い物運動実行委員会
16 富山県	環境にやさしい買い物キャンペーン	富山県
17 石川県	環境にやさしい買い物キャンペーン	石川県、市町
18 福井県	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境ふくい推進協議会
19 山梨県	環境にやさしい買い物キャンペーン	山梨県
20 長野県	環境にやさしい買い物キャンペーン	信州豊かな環境づくり県民会議、長野県
21 岐阜県	環境にやさしい買い物キャンペーン	岐阜県
22 静岡県	環境にやさしい買い物キャンペーン	静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会
23 愛知県	環境にやさしい買い物キャンペーン	愛知県
24 滋賀県	環境にやさしい買い物キャンペーン	滋賀県、買い物ごみ減量推進フォーラムしが
25 京都府	買い物でエコ！キャンペーン2010	京都グリーン購入ネットワーク、京都府
26 大阪府	環境にやさしい買い物キャンペーン	豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府リサイクル社会推進会議、大阪府
27 兵庫県	地球環境時代！新しいライフスタイル展開キャンペーン	地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会、兵庫県
28 奈良県	環境にやさしい買い物キャンペーン	奈良県
29 和歌山県	環境にやさしい買い物キャンペーン	和歌山県
30 鳥取県	環境にやさしい買い物キャンペーン	鳥取県
31 島根県	しまねレジ袋削減キャンペーン	島根県
32 岡山県	環境にやさしい買い物キャンペーン(岡山県統一ノーレジ袋デー)	岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
33 広島県	「今すぐecoじゃけん広島」～広島発・ストップ地球温暖化県民運動～	広島発・ストップ地球温暖化県民運動推進会議
34 山口県	環境にやさしい買い物キャンペーン(マイバッグ持参運動)	山口県容器包装廃棄物削減推進協議会
35 徳島県	マイバッグでお買い物キャンペーン	とくしま環境県民会議、徳島県
36 香川県	買い物でエコ！キャンペーン2010	ネットワークグリーンコンシューマーかがわ
37 愛媛県	環境にやさしい買い物キャンペーン	愛媛県
38 高知県	マイバッグでお買い物キャンペーン	高知県、環境活動支援センター えこらぼ
39 福岡県	九州統一マイバッグキャンペーン	ごみと資源を考える福岡県民会議
40 佐賀県	九州統一マイバッグキャンペーン	佐賀県、各市町、佐賀県「ストップ温暖化」県民運動推進会議
41 長崎県	九州統一マイバッグキャンペーン	長崎県、ゴミゼロながさき推進会議、各市町、趣旨に賛同する事業者及び消費者
42 熊本県	九州統一マイバッグキャンペーン	熊本県、熊本県ごみゼロ推進県民会議
43 大分県	大分県マイバッグキャンペーン(九州統一マイバッグキャンペーン)	大分県、ごみゼロおおいだ作戦県民会議
44 宮崎県	九州統一マイバッグキャンペーン	宮崎県、宮崎県4R推進協議会
45 鹿児島県	九州統一マイバッグキャンペーン	鹿児島県
46 沖縄県	環境に優しい買い物キャンペーン	沖縄県

平成22年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』参加流通事業者等

企業名等 参加・賛同企業数(参加店舗数)

(一部を除き50音順)

日本チェーンストア協会 2社(223店舗)

(株)イトーヨーカ堂

(株)ユニバース

日本百貨店協会 37社(132店舗)

(株)伊勢丹
(株)一畑百貨店
(株)井上
(株)うすい百貨店
(株)岡山高島屋
(株)沖縄三越
(株)小田急百貨店
(株)金沢名鉄丸越百貨店
(株)岐阜高島屋
(株)近鉄百貨店
(株)近鉄松下百貨店
(株)京王百貨店
(株)京急百貨店
(株)高知大丸
(株)さいか屋
(株)山陽百貨店
(株)静岡伊勢丹
(株)下関大丸
(株)ジェイアール西日本伊勢丹

(株)大丸松坂屋百貨店
(株)高崎高島屋
(株)高島屋
(株)高松三越
(株)津松菱
(株)鶴屋百貨店
(株)東急百貨店
(株)東武宇都宮百貨店
(株)東武百貨店
(株)ながの東急百貨店
(株)新潟三越伊勢丹
(株)函館丸井今井
(株)浜屋百貨店
(株)阪急阪神百貨店
(株)藤崎
(株)水戸京成百貨店
(株)ヤマトヤシキ
(株)米子高島屋

(社)日本フランチャイズチェーン協会 12社(44,787店舗)

国分グローサースチェーン(株)
(株)ココストア
(株)サークルKサンクス
(株)スリーエフ
(株)セイコーマート
(株)セブン-イレブン・ジャパン
(株)デイリーヤマザキ

(株)ファミリーマート
(株)ファミリーマート ampm事業・統和本部
(株)ポプラ
ミニストップ(株)
(株)ローソン
(株)九九プラス

その他 2社(457店舗)

(株)良品計画

(株)マイカル

合計53社(45,599店舗)

4.9 都道府県実施報告書提出依頼

平成22年11月12日

各都道府県

「環境にやさしい買い物キャンペーン」ご担当者様

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室
経済産業省産業技術環境局
リサイクル推進課

平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」
実施報告書の提出について（ご依頼）

循環型社会形成の推進につきましては、平素から格別のご協力を賜り、感謝申し上げます。

また、平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施につきましては、ご協力頂きありがとうございました。

環境省、経済産業省では、各都道府県様で実施されました活動内容を取りまとめ、今後の取組の参考として幅広く活用していくこととしております。

つきましては、別記実施内容について取りまとめの上、メールにてお送りいただきたくお願い申し上げます。また、キャンペーンの写真やチラシなどがございましたら画像データを添付してください。

なお、本キャンペーンを共同で実施している3R活動推進フォーラムホームページ(<http://3r-forum.jp/mybag.html>)で昨年度の報告書がご覧いただけますので、ご参照ください。

ご多忙の中、大変恐縮ではありますが、12月15日（水）までに以下の提出先宛にご提出いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【担当／提出先】

千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社
環境・戦略コンサルティングユニット 武田・武吉・今岡
TEL : 045-441-1489
FAX : 045-441-1208
E-mail : kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

■実施報告の項目

1. 都道府県名
2. キャンペーンの内容
3. 目的・趣旨
4. 実施主体
5. 実施期間
6. 協力団体
7. 主な活動内
8. トピックス的な事例
9. その他 写真、チラシ、ポスターなどの画像と説明
10. 報告書作成ご担当者の所属・氏名

■様式

A 4判縦用紙に横書きで作成（2枚以内、画像等は別／Microsoft Word 形式）

■キャンペーンに関するご意見

キャンペーンを実施された上で苦勞された点や、改善すべきと思われた点、その他のキャンペーンに関するご意見等ございましたら、上記のご報告とは別にA 4用紙1枚程度（Word 形式）でお知らせ下さい。（お寄せ頂いたご意見は、本年度作成する実施報告書には記載致しません）

■提出期限

平成22年12月15日（水）

■送り先

E-mail : kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

4. 10 流通事業者実施報告書提出依頼

平成22年11月12日

流通事業者

「環境にやさしい買い物キャンペーン」ご担当者様

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室
経済産業省産業技術環境局
リサイクル推進課

平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」
実施報告書の提出について（ご依頼）

循環型社会形成の推進につきましては、平素から格別のご協力を賜り、感謝申し上げます。

また、平成22年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施につきましては、ご協力頂きありがとうございました。

環境省、経済産業省では、各事業者様で実施されました活動内容を取りまとめ、今後の取組の参考として幅広く活用していくこととしております。

つきましては、別記実施内容について取りまとめの上、メールにてお送りいただきたくお願い申し上げます。また、キャンペーンの写真やチラシなどがございましたら画像データを添付してください。

なお、本キャンペーンを共同で実施している3R活動推進フォーラムホームページ(<http://3r-forum.jp/mybag.html>)で昨年度の報告書がご覧いただけますので、ご参照ください。

ご多忙の中、大変恐縮ではありますが、12月15日（水）までに以下の提出先宛にご提出いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【担当／提出先】

千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社

環境・戦略コンサルティングユニット 武田・武吉・今岡

TEL : 045-441-1489

FAX : 045-441-1208

E-mail : kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

■実施報告の項目

1. 事業者名
2. キャンペーンの内容
3. 目的・趣旨
4. 実施期間
5. 参加店舗数
6. 主な活動内容
7. トピックス的な事例
8. その他 写真、チラシ、ポスターなどの画像と説明
9. 報告書作成ご担当者の所属・氏名

■様式

A 4 判縦用紙に横書きで作成（1 枚以内、画像等は別／Microsoft Word 形式）

■キャンペーンに関するご意見

キャンペーンを実施された上で苦勞された点や、改善すべきと思われた点、その他のキャンペーンに関するご意見等ございましたら、上記のご報告とは別に A 4 用紙 1 枚程度（Word 形式）でお知らせ下さい。（お寄せ頂いたご意見は、本年度作成する実施報告書には記載致しません）

■提出期限

平成 22 年 1 2 月 1 5 日（水）

■送り先

E-mail : kaimono2010@chas.chiyoda.co.jp

リサイクル適性の表示: 紙へリサイクル可

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。